Panasonic

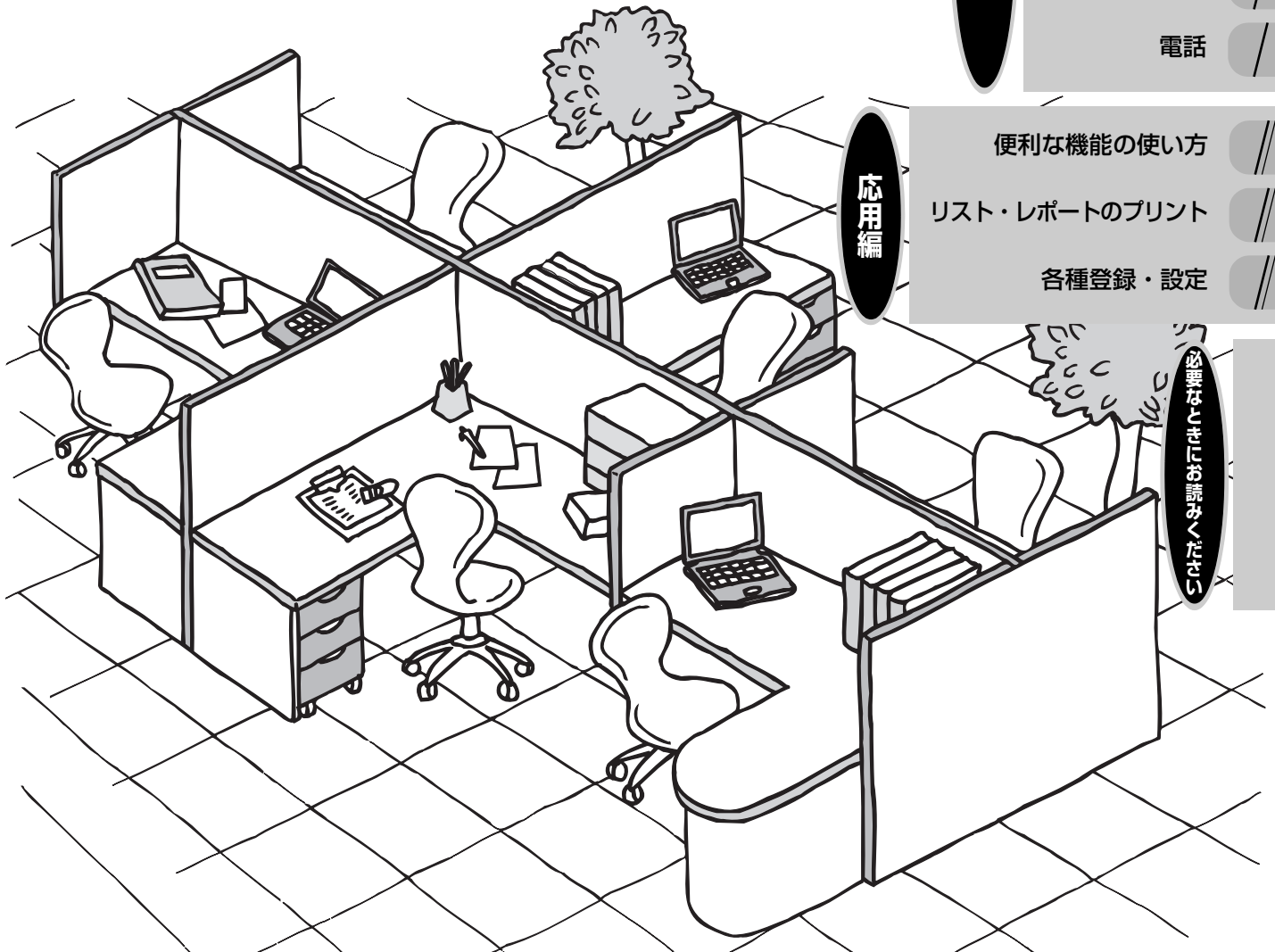
取扱説明書
（ファクス編）
レーザー普通紙ファクシミリ

品番 UF-A800/UF-A700

Panafax A800 A700

お使いになる前に

基本編
原稿
ファクス
コピー
電話

応用編
便利な機能の使い方
リスト・レポートのプリント
各種登録・設定

必要なときにお読みください

このたびはレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

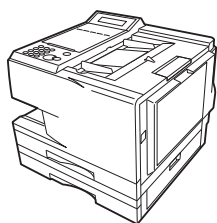
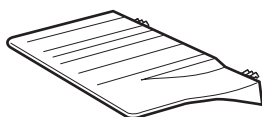
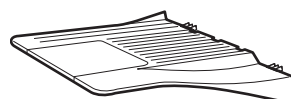
保証書別添付

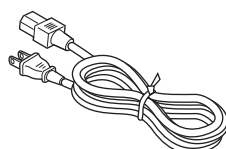
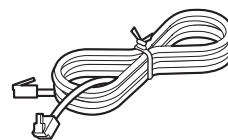
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■**特に「安全上のご注意」（7 ～ 10 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

本体・付属品・添付品の確認

セットの内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお申し付けください。

本体・付属品

本体

用紙トレイ. . . 1 個

原稿トレイ. . . 1 個

取扱説明書CD-ROM. . . 1 枚

電源コード. . . 1 本

回線コード. . . 1 本

添付品

取扱説明書. . . . . 1 部
用紙（テスト用）. . . 1 包
用紙サイズシール. . . 2 セット
保証書. . . . . 1 部

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効率的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

UF-A700/A800 を使う

各機種の特徴

● UF-A700
増設メモリキット対応、インターネットFAX ユニット対応の標準機です。

● UF-A800
増設メモリキット対応、G3/G4 増設通信ユニット対応、72 時間メモリーバックアップ対応、1020 か所同報通信が可能な機種です。

送信する

受信する

その他の機能

文字を入力する

消耗品の交換

トラブル

もくじ

リスト・レポートのプリント

各種登録・設定

必要なときにお読みください

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠警告

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご相談ください。

■本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■高温部に触れない

高温注意

高温部にさわるとやけどの原因になります。

■接点部に触れない

感電注意

感電の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

万一、漏電した場合に、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

火災や感電の原因になります。

■雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

● 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

● 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■プロセスカートリッジは火中に投げ入れない

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

火災、感電の原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

● 紙づまりは確実に取り除いてください。

■管理責任者へのお願い

機器の機密保持のため、管理責任者はセキュリティー機能の作動、機器の交換・廃棄時にいたるまで、下記３項目を行うことを推奨いたします。
本製品の設置、ネットワークへの接続、ネットワークの構築につきましては、以下の内容を推奨いたします。

1. 管理責任者は、サービス技術者がメーカーまたはその関連会社、販売会社の社員であることを確認するために身分証明書の提示を求めることをおすすめします。

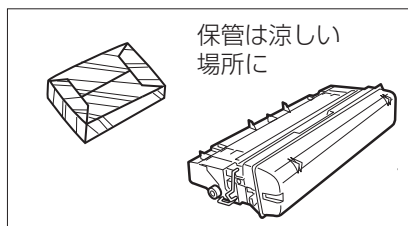
2. 本機を接続するネットワークから外部ネットワークに接続する際には、ファイアーウォールを介して接続するこを推奨いたします。
   また、本機とクライアント PC またはｻｰﾊﾞｰを接続する際には、盗聴されないネットワーク環境の構築、たとえば、スイッチングハブを利用したネットワーク環境の構築をおすすめします。

3. 管理者パスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。
   管理者パスワードの初期値より変更することをおすすめします。
   管理責任者は、パスワードが漏洩しないように、自らパスワードの秘密を保持することを推奨いたします。
   管理者パスワードの変更方法については、『取扱説明書（ファクス編）』を参照し、「自局情報の登録」＞「管理者パスワード」の設定をしてください。

※ 本機のセキュリティー設定には、管理責任者が設定するパスワード（８桁）の入力が必要です。
初期値は００００００００（８桁）です。パスワードを設定することにより、管理責任者以外によるセキュリティー設定の変更を防護します。また、パスワードは任意に設定することができます。

管理責任者の選定には十分にご考慮ください。取扱説明書の記述内容を理解し、上記対応を確実に実行していただける方をおすすめします。

取り扱い上のお願い

●用紙・プロセスカートリッジに関するお願い

■用紙、プロセスカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

●用紙は 60 ～ 90g/m^2 の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
●プロセスカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■プロセスカートリッジに関するお願い

●プロセスカートリッジは直接日光を避ける
　コピー画像に異常が出ることがあります。
●プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
　プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。
●使用済みのプロセスカートリッジは捨てない
　回収にご協力ください。
●プロセスカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
　コピー画像に異常が出ることがあります。

●法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの
1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、官製はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類

●注意を要するもの
1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

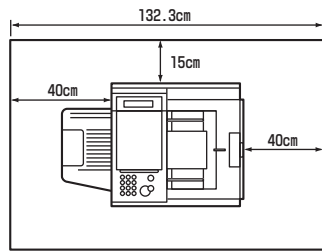
●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

取り扱い上のお願い

●設置上のお願い

■次の様な場所への設置は避けてください。

●高・低温、低・多湿な場所
●温度変化の激しい場所
●冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
●加湿機の近く
●テレビ、ラジオなど電子機器の近く
●直射日光のあたる場所
●ほこり、アンモニアガスが発生する場所
●シンナー、ガソリンなどの近く
●換気の悪い場所
●床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

●設置スペースについて

●換気についてのお願い

■本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

●操作時のお願い

■動作中に電源プラグを抜いたり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因となります）

■誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。

●相手先のファクス番号、ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
●大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
1.まず受話器を上げて、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
2.相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたらスタートボタンを押してください。

●注意ラベルについて

■本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。
（ラベルは本体右側面の受信開閉部を開け、プロセスカートリッジを引き抜いた箇所及び本体左側面の用紙排出口付近にあります。）

各部の名前と働き

正面・右側面図

左側面・背面図

節電機能について

本機には、機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える節電機能（省エネ運転、または節電運転）が備わっています。省エネ運転では操作パネル以外の電源をオフに、節電運転では定着器のヒーターをオフにします。これらの節電機能が働いてないときは、ヒーターがオンの状態となります。
お買い上げ時の設定（常時）では、本機を約 4 分間使用しないと省エネ運転に移行するように設定されています。

●常時設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「常時」にしている場合は、約 4 分間使用しないと省エネモードに移行します。

●時刻指定設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「時刻指定」にしている場合は、指定された開始時刻になると省エネモードに移行し、終了時刻になると通常のモードに戻ります。

お知らせ

- 省エネモードの設定はシステム登録の「034 省エネモード」で変更できます。
(142 ページ、145 ページ)
- 省エネモード運転中はディスプレイに「省電力中です」と表示されます。
（「節電」設定時はヒーターオフとなるだけで、表示はされません。）お使いになる場合は操作パネルのいずれかのボタンを押すことで通常のモードに戻ります。

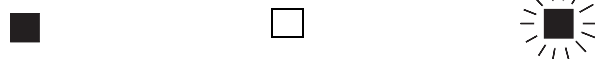
操作パネルの名前と働き

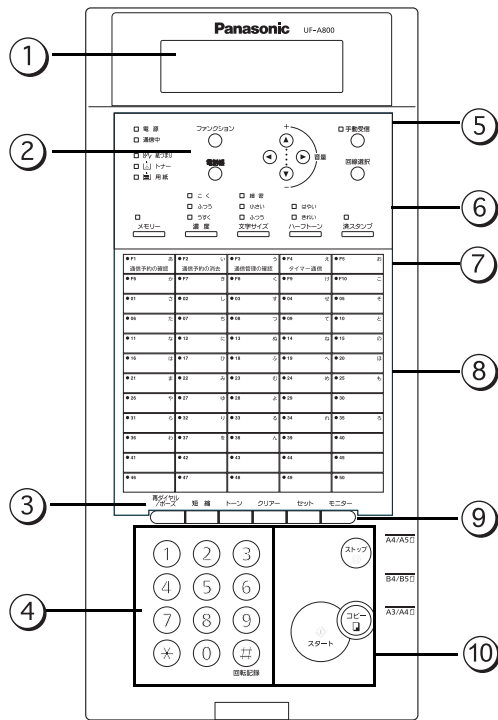
ランプ表示

□電源　ランプ
□通信中　ランプ
□紙づまり　ランプ
□トナー　ランプ
□用紙　ランプ
□メモリー　ランプ
□こく　ランプ
□ふつう　ランプ
□うすく　ランプ
□細密　ランプ
□小さい　ランプ
□ふつう　ランプ
□はやい　ランプ
□きれい　ランプ
□手動受信　ランプ
□済スタンプ　ランプ
エラー　ランプ
Doing　ランプ

■ランプの表示について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯　　ランプの消灯　　ランプの点滅

ランプの種類	ランプのつき方（色）	ファクス本体の状態
電源ランプ	点灯 ■ （緑）	本体の電源が入っているとき
通信中ランプ	点滅 （緑）	通信中および受話器（オプション）を上げたとき
紙づまりランプ	点灯 ■ （赤）	用紙がつまったとき
トナーランプ	点灯 ■ （赤）	トナーが無いとき
	点滅 （赤）	トナーが残り少なくなったとき
用紙ランプ	点灯 ■ （赤）	すべてのカセット（および、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
	点滅 （赤）	いずれかのカセット（または、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
手動受信ランプ	点灯 ■ （緑）	手動受信が選択されているとき
メモリーランプ	点灯 ■ （緑）	メモリー送信をするとき
こくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「こく」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「ふつう」に選択されているとき
うすくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「うすく」に選択されているとき
細密ランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「細密」に選択されているとき
小さいランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「小さい」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「ふつう」に選択されているとき
はやいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「はやい」に選択されているとき
きれいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「きれい」に選択されているとき
済スタンプランプ	点灯 ■ （緑）	済スタンプが選択されているとき
エラーランプ	点灯 ■ （赤）	全カセットの用紙がない／全カセットが確実にセットされていない／原稿または用紙がつまったときなど
	点滅 （赤）	一部のカセットの用紙がない／一部のカセットが確実にセットされていないとき
Doing ランプ	点滅 （緑）	読み取り中、記録中

各種ボタン

① ディスプレイ
日、時刻、宛先、電話番号、装置の状態などを表示します。

② ファンクション ボタン
各種の機能を選ぶときや、登録するときに押します。

電話帳 ボタン（☞29 ページ）
電話帳を検索するときに押します。

③ 再ダイヤル／ポーズ ボタン
再ダイヤルするとき（☞31 ページ）、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。

短縮 ボタン（☞27 ページ）
短縮ダイヤルするときに押します。

トーン ボタン
回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに押します。

④ テンキー ボタン
ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。

回転記録 ボタン
回転記録の設定を手動で切り替えるときに押します。（☞43 ページ）

⑤ 音量 ／ ∨∧＜＞ ボタン
モニターおよび呼出音量を大きくしたり、小さくします。（☞48 ページ、49 ページ）
また、文字などの入力のときカーソルを左右に移動させたいときに押します。

手動受信 ボタン
手動受信するときに押します。

回線選択 ボタン
内線と外線を切り替えます。

⑥ メモリー ボタン
原稿をメモリーに読み込んでから送信するときにランプを点灯させます。

濃度 ボタン（☞24 ページ）
原稿の濃さに合わせて選びます。

文字サイズ ボタン（☞24 ページ）
原稿の文字の大きさに合わせて選びます。

ハーフトーン ボタン（☞24 ページ）
ハーフトーンを選ぶときに押します。

済スタンプ ボタン（☞24 ページ）
済スタンプを選ぶときに押します。

⑦ 機能 ボタン（☞126 ページ）
通信予約などの 4 種類の機能を、ボタン 1 つで選べます。また、10 種類まで機能を登録することができます。

⑧ ワンタッチダイヤル ボタン（☞28 ページ）
ワンタッチダイヤルするときに押します。
また、プログラムに登録した通信をするときに押します。

⑨ クリアー ボタン
入力した文字や数字を訂正するときに押します。

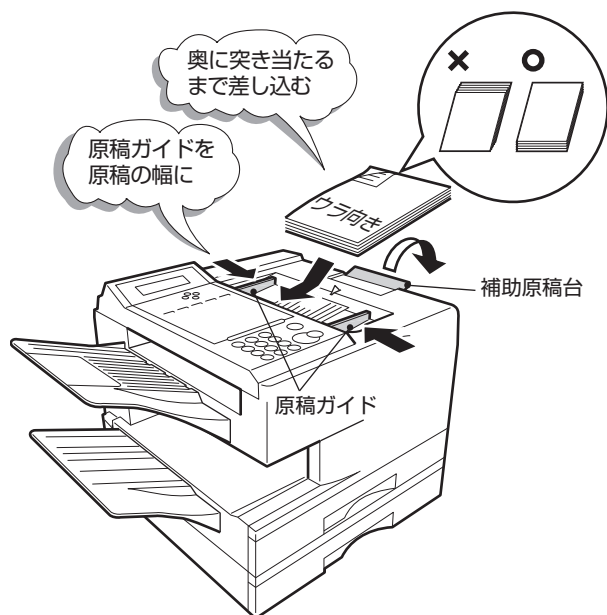
セット ボタン
選択した内容を確定するときに押します。

モニター ボタン
受話器（オプション）を置いたまま、ダイヤルするときに押します。

⑩ ストップ ボタン
送信やコピー、登録などを途中でやめるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー ボタン（☞43 ページ）
コピーするときに押します。

スタート ボタン
ファクスの送信や受信をするときに押します。

原稱のセットのしかた

原稿をセットする

原稿は正しくセットしてください。原稿づまりなどのトラブルの原因になります。

1 原稿ガイドを合わせる

・原稿ガイドをスライドさせて、原稿の幅に合わせます。

2 送る面をウラ向きにする

3 奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

● B4 サイズ以上の原稿をセットするときは、補助原稿台を開いて使います。

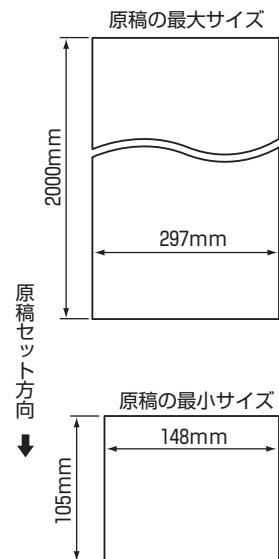
原稿について

原稿のサイズ

送信またはコピーできる原稿は、次のサイズのものに限ります。次のサイズ以外の原稿は、複写機でコピーしてから送信、またはコピーしてください。

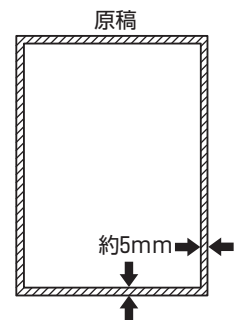
	1 枚だけセットするとき	複数枚の原稿をセットするとき
最大	297 × 2000mm （最大読み取り幅は 292mm）	297 × 420mm （最大読み取り幅は 292mm）
最小	148mm × 105mm	148mm × 105mm
1 度にセットできる枚数	-------------------------	30 枚
原稿の紙厚	0.05 ～ 0.15mm	0.06 ～ 0.1mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

お知らせ

- 複数の原稿をセットするときは、同一サイズで同質の原稿をセットしてください。
- 原稿の厚さが 0.1mm を越え、0.13mm 以下のときは最大 20 枚までしかセットできません。

有効読み取り画面について

原稿の端に文字などを記入すると、相手の記録紙にプリントされない場合があります。
右図の斜線部分には、文字などを記入しないようにしてください。

お知らせ

- 最大の有効読み取り幅は 292mm です。セットした原稿の幅が、292mm より大きい場合は、読み取ることができない範囲があります。
- ファクス送信するときに、システム登録の「007 発信元印字」が“原稿内”に設定されている場合は、先端および後端から 10mm まで文字などを書かないでください。発信元情報を送るため、相手の記録紙にプリントされません。

相手機種との送信について

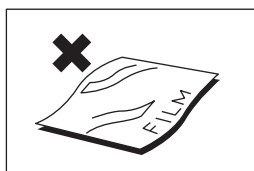
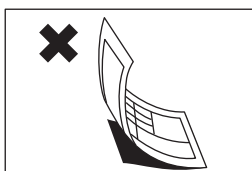
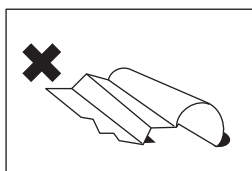
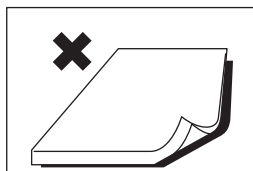
送信する相手にセットされている用紙のサイズに応じて、自動的に縮小して送信します。

送信原稿 ＼ 相手機	A3	B4	A4
G3　A3 機	そのまま	そのまま	そのまま
G3　B4 機	B4 に縮小	そのまま	そのまま
G3　A4 機	A4 に縮小	A4 に縮小	そのまま

原稿についてのご注意

原稿をセットするときは、次のようなことにご注意してください。

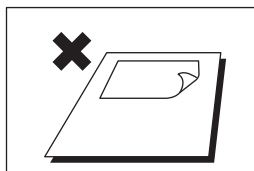
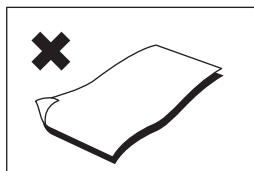
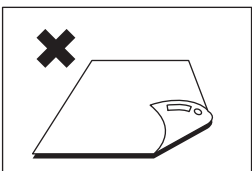
■インクなどの乾いていない原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。（読み取り部の汚れの原因）
■原稿にクリップやホチキスの針を付けたままセットしないでください。（故障の原因）

次のような原稿は、複写機でコピーしてから、送信またはコピーするか、専用の「キャリアシート」をお使いください。

フィルム状の原稿、トレーシングペーパーのような透明な原稿

感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理をした原稿

破れ、しわ、カールや折り目のついた原稿

紙厚の厚すぎる（0.15mm　を超える）原稿、布地、金属シート、印画紙

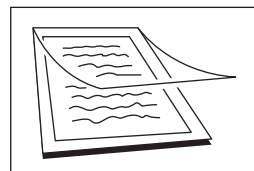
貼り合わせた原稿

→

複写機

これらの原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを、送信してください。

紙厚の薄すぎる（0.05mm 未満）原稿

表または裏がコーティングされている原稿

A6

A6（148mm×105 mm）より小さい原稿

キャリアシート

● キャリアシートは当社指定のものをお使いください。（品番　A4：UG-1100A4　B4：UG-1100B4　A3：UG-1100A3）
● キャリアシートのお求めは、お買い上げの販売店またはサービス実施会社にお問い合わせください。
● 複数枚のキャリアシートをセットして、送信、コピーすることはできません。
● キャリアシートをお使いになるときは、済スタンプを使わないでください。

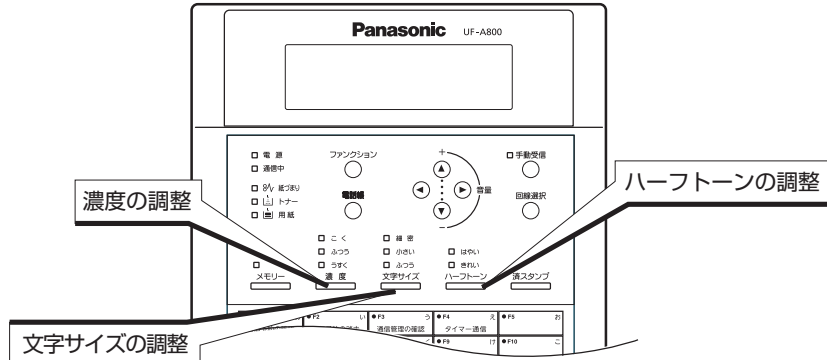
原稿サイズとセット方向について

本機ではセットされた原稿のサイズと向きを自動で検知するセンサーが原稿挿入口と原稿台についています。
A4 原稿の長辺側を原稿挿入口にセットすると、原稿長検出センサー（☞16 ページ）により A4▯ と認識し自動的に画情報を 90° 回転して A4▭として等倍送信します。

お知らせ

- 回転送信した場合、定型サイズの部分しか送ることはできません。
- しわやカールのきつい原稿は原稿台のセンサーが誤動作しますので、しわやカールを伸ばしてからご使用ください。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は A5 として検知します。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。

画質の選び方

セットした原稿に合わせて、濃度・文字サイズ・ハーフトーンを選ぶことができます。
●濃度を選ぶとき　　　　：原稿の濃さに合わせて選んでください。
●文字サイズを選ぶとき　：原稿の文字の大きさに合わせて選んでください。
●ハーフトーンを選ぶとき：写真やカタログなどの原稿を送るときに選んでください。

濃度を選ぶ

濃　度 を押して選びます。

原稿	設定
文字が薄い原稿	■こく　□ふつう　□うすく（濃　度）
普通の濃さの原稿	□こく　■ふつう　□うすく（濃　度）
色紙などのように紙の色の濃い原稿	□こく　□ふつう　■うすく（濃　度）

文字サイズを選ぶ

文字サイズ を押して選びます。

原稿	設定
特に細かい文字の原稿	■細　密　□小さい　□ふつう（文字サイズ）
新聞などのように細かい文字の原稿	□細　密　■小さい　□ふつう（文字サイズ）
普通の大きさの文字の原稿	□細　密　□小さい　■ふつう（文字サイズ）

ハーフトーンを選ぶ

ハーフトーン を押して選びます。

原稿	設定
中間調を生かして早く送信したいとき	■はやい　□きれい（ハーフトーン）
よりきれいに送信するとき	□はやい　■きれい（ハーフトーン）
ハーフトーンを使わないで送信したいとき	□はやい　□きれい（ハーフトーン）

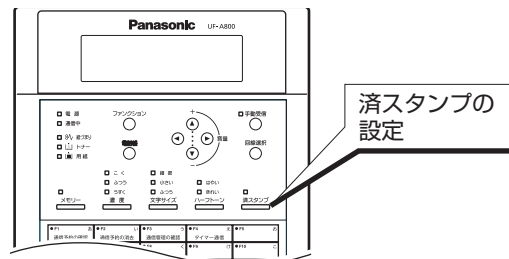
お知らせ

● よくお使いになる画質を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定を変える手間が省けます。システム登録の「001 原稿濃淡」「002 文字サイズ」「003 ハーフトーン」（☛142 ページ）

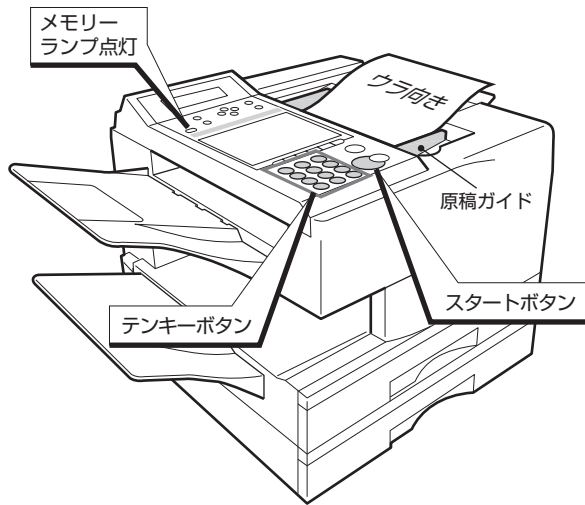
済スタンプの使い方

送信済みの原稿に㊨マークを押すことができます。

済スタンプを押して切り替えてください。

済マークを押したいとき	■ 済スタンプ
済マークを押さないとき	□ 済スタンプ

お知らせ

●済スタンプの色はピンクです。押された済スタンプは消えません。
●済スタンプをトレーシングペーパーなどの表面処理された原稿に使用すると、にじむことがあります。
●済スタンプの設定はダイレクト送信用でシステム登録の「004 済みスタンプ」と、メモリー送信用でシステム登録の「028 メモリー済スタンプ」の 2 つがあり、ダイレクト送信またはメモリー送信指定（メモリーボタンを押しての変更）に連動して、自動的に済スタンプの設定が切り替わります。工場出荷時の設定はそれぞれ“あり”になっています。（☛142 ページ）

ファクスを送る

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に電話番号の再入力（ダイヤル再入力）、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。
（☞37 ページ）
- システム登録の「136　直接ダイヤル制限」
（☞145 ページ）が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルを禁止できます。
- 宛先をまちがえたときは、［クリアー］を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、［ストップ］を押したあとに①（はい）を押してください。
- 直接ダイヤルでは、テンキーボタン (0 ～ 9、＊、#)、ポーズ (-)、トーン (/) が使えます。
- 回転ダイヤル式回線をお使いの場合で［トーン］に切り替えたいときは［トーン］を押します。
- メモリーには、A4 標準原稿で UF-A800：約 255 枚まで、UF-A700：約 120 枚まで、1 回の通信予約で読み込めます。

直接ダイヤルで送る

■［メモリー］ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする
・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
 7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ダイヤルする（最大 52 桁）

```
メモリー送信　　　宛先数:0000

0334919191_　　　　　外線
```

3 ［スタート］を押す

・電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください

_　　　　　　　　　　外線
```

4 もう一度ダイヤルして、を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。
・手順２と電話番号が一致しない場合は、手順２に戻ります。

```
メモリー送信　　　宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ⓥまたはⓐで宛先を確認する

```
メモリー送信　　　宛先数:0001

0334919191　　　　　外線
```

↓

```
メモリー送信　　　宛先数:0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート　　いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

内線の相手に ファクスを送る

本機では、「外線」用の電話回線のほかに「内線」としてもう 1 本電話回線を接続することができます。「内線」に接続した電話回線を使ってダイヤルするときは、次のようにしてください。

1 原稿をセットする

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 回線選択 を押し、「内線」を表示させる

メモリー送信　　宛先数: 0000
_　　内線

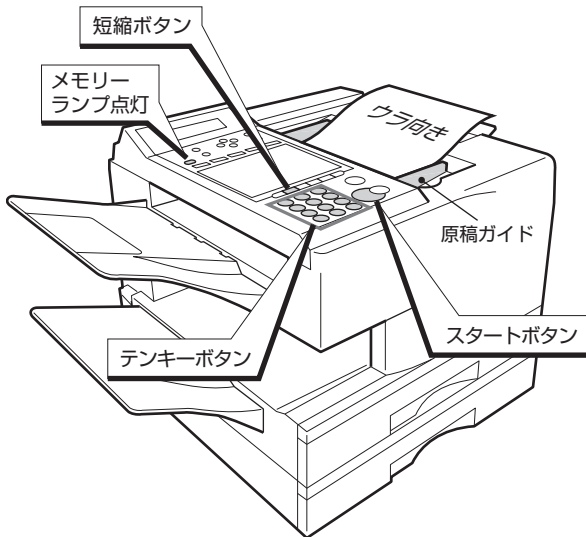
3 宛先を指定し スタート を押す

・ダイヤル再入力、および宛先確認の操作後、原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- UF-A800 では、オプションの G3 通信ユニット、または G4G3 通信ユニットを増設して、最大 4 つの回線を選んでダイヤルすることができます。
- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常にダイヤル再入力、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☞37 ページ）

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておいてください。（☛114 ページ）短縮ダイヤルは 000 ～ 999 までの任意の 1000 か所（UF-A700 は 200 か所）をお使いになれます。

メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 短縮を押す

```
メモリー送信      宛先数:0000

短縮：＿  （3桁）
```

3 短縮番号(000～999)を選ぶ

・テンキーボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信      宛先数:0001
Panasonic
短縮：001（3桁）
```

4 スタートを押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信      宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信      宛先数:0001
Panasonic
短縮：001（3桁）
```

↓

```
メモリー送信      宛先数:0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート     いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 スタートを押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

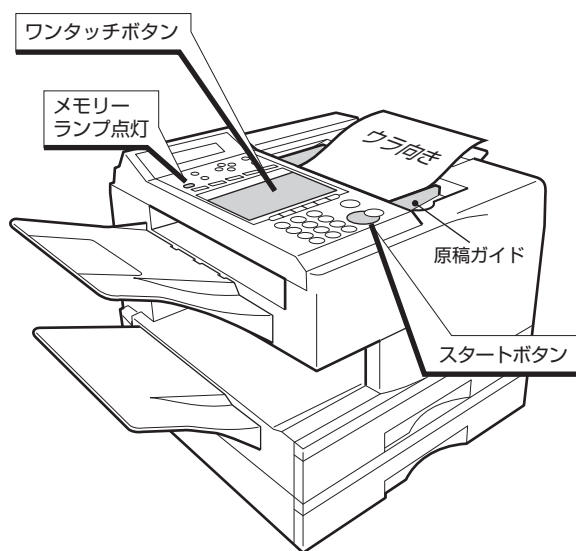
```
メモリー送信      受付 No.001
ダイヤル中（外線）
Panasonic
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛37 ページ）
- 宛先をまちがえたときは、ストップを押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに①（はい）を押してください。

ファクス 1

ワンタッチダイヤルで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（☞112 ページ）。

メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞24 ページ）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ワンタッチボタン（01～50、F1～F10）を押す（★）

```
メモリー送信        宛先数 :0001
東京本社
ワンタッチ：０１
```

3 スタート を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信        宛先数 :0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

4 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信        宛先数 :0001
東京本社
ワンタッチ：０１
```

↓

```
メモリー送信        宛先数 :0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート      いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

5 スタート を押す

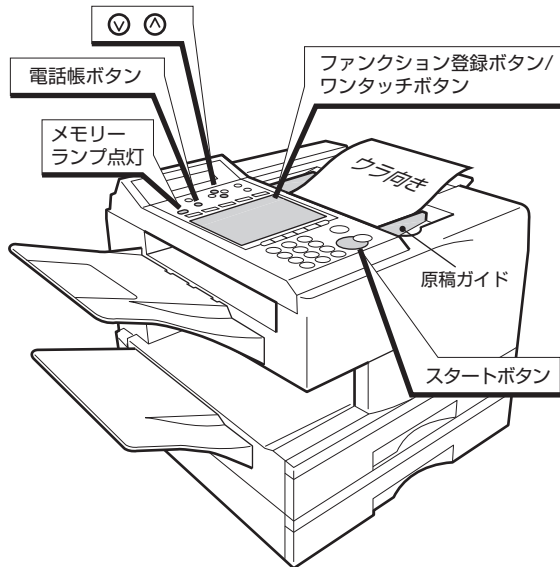
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信        受付 No.001
ダイヤル中（外線）
東京本社
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☞37 ページ）
- 宛先をまちがえたときは、を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに①（はい）を押してください。
- ★ファンクション登録ボタン[F1]～[F10]にダイヤル番号を登録して（☞112 ページ）おけば、ワンタッチボタンと同じようにしてファクスを送ることができます。
  ★複数の宛先が登録されているワンタッチボタンとスタートを選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。ただし、システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合に限ります。

電話帳ダイヤルで送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録(☞111 ページ) してある宛先を、電話帳ダイヤルを使い検索文字で探してダイヤルできます。

メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。(☞24 ページ)

```
7月 1日(金) 17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 電話帳 を押す

```
*    電話帳    *
検索文字(あ～わ)を指定して
ください
```

3 検索文字を選ぶ

・ファンクション登録ボタンとワンタッチボタンを使って検索文字を選びます。
・ファンクション F1 ～ F10 :あ～こ
　ワンタッチ 01 ～ 38 :さ～ん

```
[ と ]          短縮:012
宛先名:東北支店
```

4 ∨ ∧ を押して宛先を選ぶ

例:「東京本社」

```
[ と ]     ワンタッチ: 01
宛先名:東京本社
```

5 スタート を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信      宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

6 ∨または∧で宛先を確認し、スタート を押す

```
メモリー送信      宛先数:0001
東京本社
ワンタッチ:01
```

↓

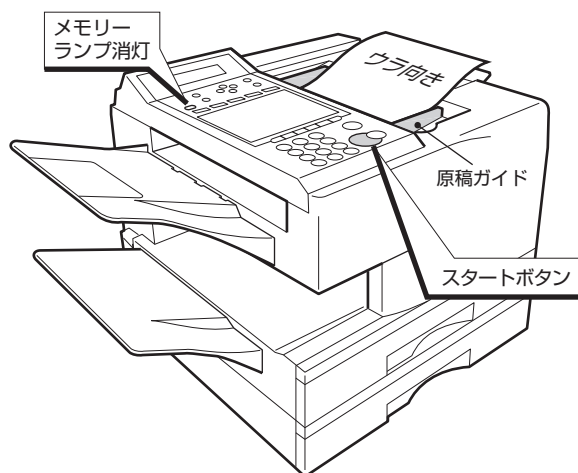
```
メモリー送信      宛先数:0001
宛先間違いはありませんか?
はい:スタート     いいえ:クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

● お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。(☞37 ページ)
● 宛先をまちがえたときは、ストップを押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに①(はい)を押してください。

ダイレクト送信をする

原稿の枚数が多いなどでメモリーに入りきらないときにお使いください。

□ メモリー **ランプ消灯状態で**

・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞24 ページ）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 宛先を指定する

```
ダイレクト通信

0334919191_           外線
```

3 スタート を押す

・直接ダイヤルで指定した場合は、電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください

_                     外線
```

4 もう一度ダイヤルして、スタート を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順2と電話番号が一致しない場合は、手順2に戻ります。

```
メモリー送信      宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認し、スタート を押す

```
ダイレクト通信

0334919191            外線
```

↓

```
ダイレクト通信
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート      いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます

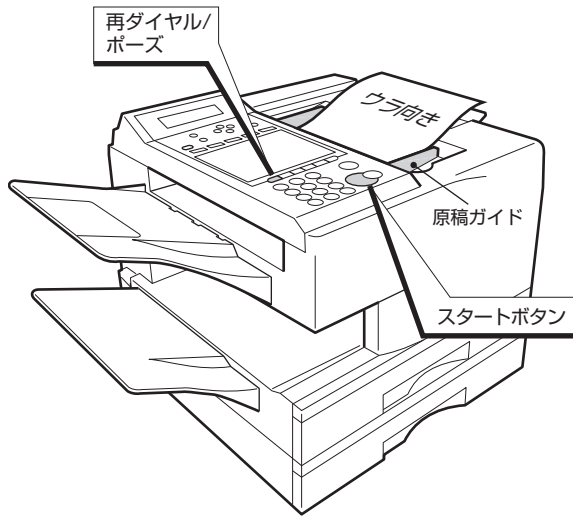
・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

```
ダイレクト通信    受付 No.001
ダイヤル中（外線）
0334919191
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤送信を防止するため、次のように設定されています。（☞37 ページ）
  - ・直接ダイヤルの場合　ダイヤル再入力、および宛先確認の操作が必要です。
  - ・短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルの場合　宛先確認の操作が必要です。
- 手順 2 では、直接ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルを利用して宛先を指定できます。
- ダイレクト送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに①（はい）を押してください。

再ダイヤルで送る

最後に通信予約をした宛先に、もう一度ファクスを送ります。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 再ダイヤル/ポーズ を押す

3 スタート を押す

・電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

・再入力では、再ダイヤル/ポーズ は使用できません。直接入力します。

```
再度入力してください

_                  外線
```

4 もう一度ダイヤルして、を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順2と電話番号が一致しない場合は、手順2に戻ります。

```
メモリー送信      宛先数 :0001
V、Λで宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 Vまたは Λで宛先を確認し、スタート を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0001

0334919191            外線
```

↓

```
メモリー送信      宛先数 :0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート    いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます
・宛先にダイヤルし送信が開始されます。

```
メモリー送信     受付 No.001
ダイヤル中（外線）
0334919191
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常にダイヤル再入力、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛37 ページ）
- システム登録の「136　直接ダイヤル制限」（☛145 ページ）が“あり”に設定されている場合、再ダイヤル機能ははたらきません。
- タイマー送信や複数宛先指定の通信予約では、再ダイヤルの情報が消えます。タイマー送信や複数宛先指定の通信予約後の再ダイヤルはできません。

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

メモリー送信　　受付 No.001
再ダイヤル待ち
P a n a s o n i c

・3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、ディスプレイに「再ダイヤル待ち」が表示されているときに ストップ 1 を押します。

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、通常どおり送信してください。

●つながらなかったときは、エラーメッセージ「相手先が使用中です」が表示されます。

ダイレクト送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

ダイレクト通信　　受付 No.001
再ダイヤル待ち
P a n a s o n i c

・3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、ストップ 1 を押して取り消してから送信してください。

●つながらなかったときは、エラーメッセージ「相手先が使用中です」が表示されます。

回転送信について

A4 原稿を「← 」方向へセットしたとき、読み取った画像を 90° 回転して送信して、相手の A4 用紙に等倍送信します。

3 回転送信の設定を選ぶ

・⓪ ⑦ ⑧ セット

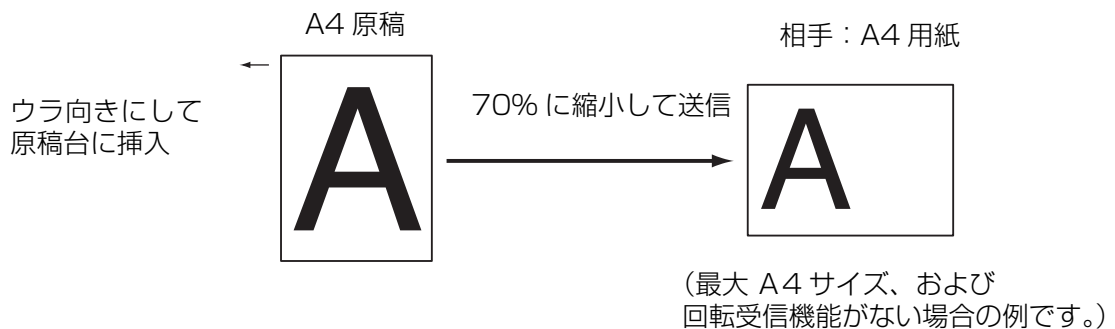
4 回転送信を有効にする

・② セット

5 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

回転送信をしない場合

（最大 A4 サイズ、および
回転受信機能がない場合の例です。）

回転送信を有効にした場合

お知らせ

- 回転送信は、メモリー送信（メモリーランプが点灯）のときにご利用できます。ダイレクト送信（メモリーランプが消灯）では、回転送信は行いません。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。

メモリーがいっぱいになると

システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛143 ページ）の設定が " あり " のときにメモリーがいっぱいになると、蓄積された部分までを自動的に送信します。メモリーに蓄積されたページの送信終了後、残りの原稿を送信し直してください。また、設定が " なし " のときにメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。

●1：実行で、完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。
●2：中止で動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。再度すべての原稿を「ダイレクト送信」してください。

1 アラームが鳴る

メモリーが一杯になりました
動作を指定してください
1：実行　　2：中止

2 ①または②を押す

お知らせ

●1 ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。
●取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。
●システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛143 ページ）の設定が " なし " の場合、宛先数が 1 つで複数枚をメモリー送信するときは、メモリー使用量が一定の値を超えると、自動的にダイレクト送信に切り替わって送信されます（メモリー使用量　A800：約 92%、A700：約 75%）。

通信結果レポート

送信やポーリング受信などをしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。

●システム登録の「012 通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。（☛142 ページ）
●お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。

01頁
UF-A800 Ver V00000

通信結果レポート

Panasonic
11年07月01日17時24分

＊＊＊　未通信があります。＊＊＊

受付番号：012
受付日時：07月01日17時15分
完了日時：07月01日17時24分

発信元情報について

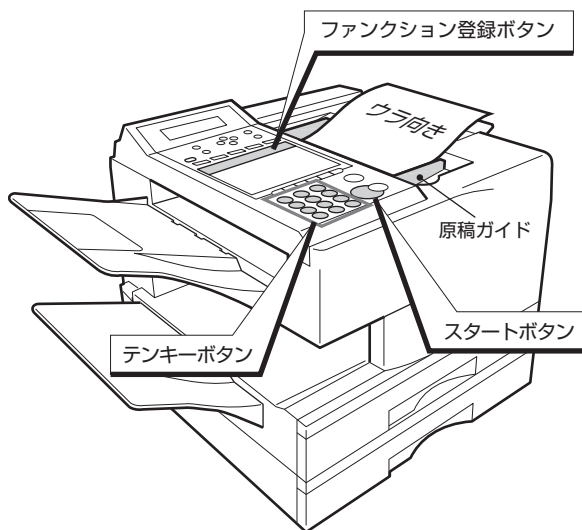
ファクスを送信したとき、発信元に登録（☛153 ページ）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。

相手用紙のプリント例

'11年07月01日(金)17時15分　宛先:Panasonic本社様　　発信：Panasonic営業　　R:204　P.01／01

電話番号を組み合わせて送る（ハイブリッドダイヤル）

ハイブリッドダイヤルを使えば、短縮ダイヤルやワンタッチボタンに登録した電話番号を組み合わせてお使いになることができます。

● あらかじめファンクション登録ボタン（F１ ～ F１0）のいずれかにハイブリッドダイヤルを登録してください。（☛125 ページ）

例：「ワンタッチボタン 02」に登録されている「0088」と、「短縮ダイヤル 001」に登録されている「0334919191」を組み合わせてダイヤルする場合

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛24 ページ）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ハイブリッドダイヤルを選ぶ

・ハイブリッドダイヤルが登録されているファンクション登録ボタンを押します。

3 組み合わせるダイヤルを選ぶ（ダイヤルの組み合わせ最大桁数:52桁）

例：「ワンタッチボタン 02」と「短縮ダイヤル 001」を組み合わせる。

ワンタッチボタン「02」を押す

```
メモリー送信        宛先数:0000
ワンタッチ：０２
0088_                  外線
```

▼

短縮ダイヤル「001」を選ぶ

```
メモリー送信        宛先数:0000
短縮：００１ （３桁）
00880334919191_        外線
```

4 スタート を押す

・電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください

_                      外線
```

ファクス

5 もう一度ダイヤルして、（スタート）を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順２と電話番号が一致しない場合は、手順２に戻ります。

メモリー送信　　　宛先数 :0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

6 ∨または∧で宛先を確認する

・宛先確認のメッセージが表示されます。

メモリー送信　　　宛先数 :0001

00880334919191　　　外線

↓

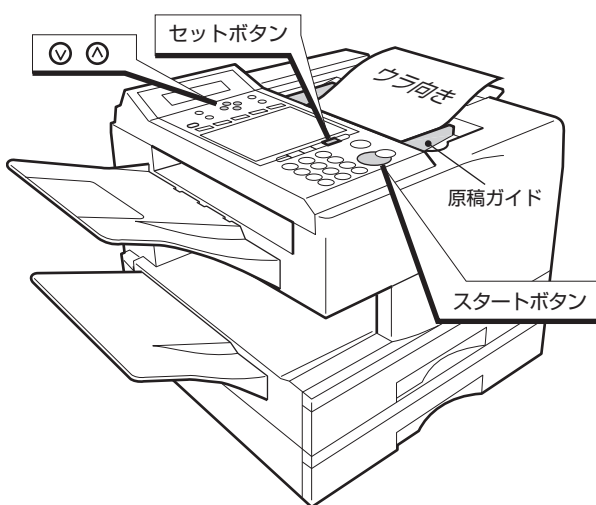
メモリー送信　　　宛先数 :0001
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ　　　いいえ：ｸﾘｱｰ

7 宛先を確認し、を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます。
・原稿読み取り開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

● お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に、ダイヤル再入力、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☞37 ページ）
● ハイブリッドダイヤルでは、電話帳ボタンで宛先を選ぶことはできません。
● 複数の宛先が登録されているワンタッチボタンをハイブリッドダイヤルの宛先に指定することはできません。
● 途中でダイヤルをやめるときは、（ストップ）を押してください。
● 電話をお使いのときは、ハイブリッドダイヤルを指定することはできません。

宛先の指定のしかた

ダイヤル再入力と宛先確認のしかた

お買い上げ時、システム登録は次のように設定されています。これらの機能によって、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止できます。

- ・システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」“あり”に設定されています。直接ダイヤルを利用すると、電話番号の再入力画面が表示されます。
- ・システム登録の「125 宛先確認」"あり"に設定されています。すべての宛先の確認が終了すると、送信が開始されます。
- ・システム登録の「117 複数宛先指定」“なし”に設定されています。複数宛先に送信する場合は、“あり”に変更してください。
  グループダイヤルは、「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合にだけ指定できます。“なし”に設定されている場合は、手順2で グループダイヤル を押すと、次のメッセージが表示されます。

```
複数宛先の選択はできません
```

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
（☞25 ページ～ 29 ページ）
・システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合に、最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）」（☞39 ページ）

3 スタート を押す

・直接ダイヤル、ハイブリッドダイヤルで指定した場合は、電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください
_　　　　　　　　　　外線
```

お知らせ

- 手順４で、スタート の代わりに セット を押すと、複数の宛先を設定できます。
（☞39 ページ）
- システム登録の「091 宛先確定」が“あり”に設定されている場合は、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを連続して指定できません。セット を押してから次の宛先を指定してください。

ファクス

4 直接ダイヤル、ハイブリッドダイヤルの場合は、もう一度ダイヤルして、を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順２と電話番号が一致しない場合は、手順２に戻ります。

メモリー送信　　　宛先数 :0001
V、Λで宛先を確認して
スタートを押してください

5 ⓥまたはⓐですべての宛先を確認する

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

お知らせ

● 手順５で、宛先に誤りがある場合は、次の手順で訂正します。
  1. ⓥ ⓐ ボタンで宛先を表示する
  2. クリアー を押す
  3. 宛先を再指定する

6 を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）

宛先は直接ダイヤルで20か所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで1000か所の、計1020か所（UF-A700は220か所）まで指定できます。複数宛先を指定するには、システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“なし”に設定されています）。

- 直接ダイヤルで選ぶ→［宛先の電話番号］＋［セット］＋［再入力］＋［セット］→次の宛先を選べる
- 短縮ダイヤルで選ぶ→［短縮］＋［指定する短縮番号］→次の宛先を選べる
- ワンタッチボタン･ファンクション登録ボタンで選ぶ
  →指定するワンタッチボタン・ファンクション登録ボタンを押す→次の宛先を選べる
- 電話帳ボタンで選ぶ
  →（電話帳）→［検索文字を選ぶ］＋［宛先を表示させる］＋［セット］→次の宛先を選べる
- ハイブリッドダイヤルで選ぶ
  →［ハイブリッドダイヤル］＋［組み合わせる短縮ボタンまたはワンタッチボタン］＋［セット］
  ＋［再入力］＋［セット］→次の宛先を選べる

例：「0334919191」「ワンタッチボタン01」「短縮ダイヤル001」を指定する。

1 原稿をセットする

2 ダイヤルする

```
メモリー送信      宛先数: 0000
0334919191_             外線
```

3 ［セット］を押す

```
再度入力してください
_                       外線
```

4 もう一度ダイヤルして、［セット］を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

5 ［●さ 01 K］を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0002
東京本社
ワンタッチ：０１
```

6 ［セット］を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

7 ［短縮］⓪⓪①を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0003
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（３桁）
```

8 ［セット］を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0003
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

9 （スタート）を押す

```
メモリー送信      宛先数 :0003
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

10 ∨または∧で、すべての宛先を確認する

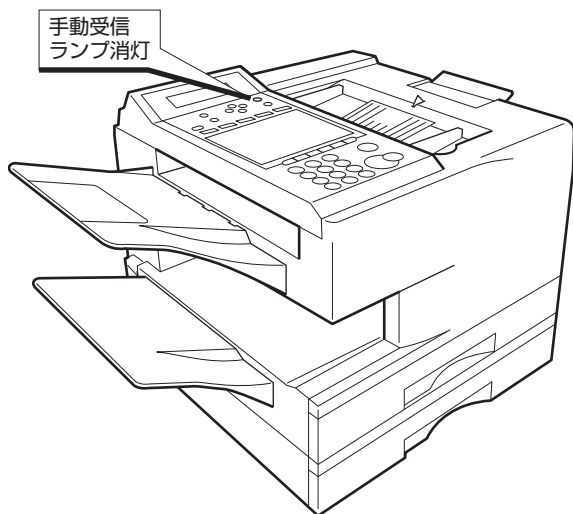
```
メモリー送信      宛先数 :0003

0334919191              外線
```

11 （スタート）を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

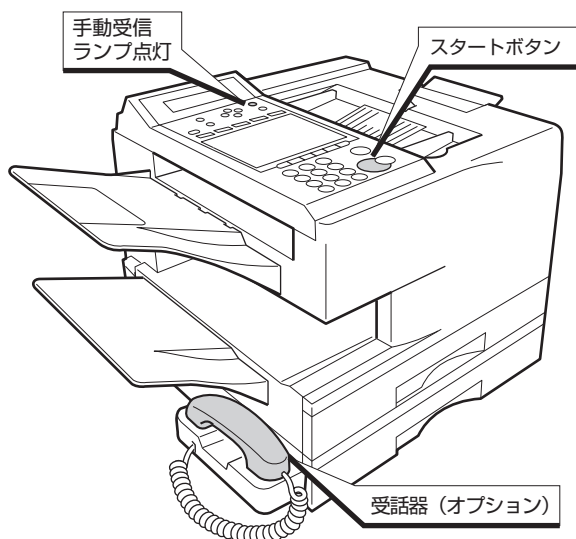
- 複数宛先指定の途中で∨ ∧ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
- まちがった宛先を指定したときは、∨∧ボタンで宛先を表示させてから［クリアー］を押してください。
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルは利用できません。
- お買い上げ時は、システム登録の「125 宛先確認」が"あり"に設定されています。すべての宛先の確認が終了すると、送信が開始されます。
- お買い上げ時は、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が“あり”に設定されています。直接ダイヤルを利用すると、電話番号の再入力画面が表示されます。
- システム登録の「091 宛先確定」が“あり”に設定されている場合は、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを連続して指定できません。［セット］を押してから次の宛先を指定してください。

ファクスを受ける

自動受信のしかた

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。

□ 手動受信 ○ ランプ消灯状態で
・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 相手がファクスを送ってくると、呼出音が一回鳴りつながる

2 自動的に受信が始まる

相手と話してから受信する（手動受信）

本機にオプションのハンドセットユニットを接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。

■ 手動受信 ○ ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 呼出音が鳴ったら受話器を上げる

2 相手と話をする（★）

3 原稿をセットしないで を押す

4 受話器を戻す（★★）

お知らせ

★受話器を上げたときに何も聞こえない場合は、手順 3 の操作をして受信に切り替えてください。

★★ (スタート) を押す前に受話器を戻すと、電話が切れます。

● オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☞ 143 ページ）

メモリー代行受信

用紙がなくなったなどでプリントできなくなっても、メモリーが代わりに受信します。

1 **用紙がなくなるとメモリーが代わりに受信する**

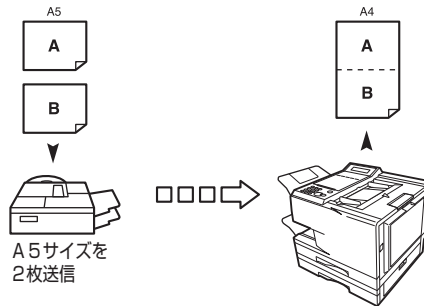
2 **受信が終わる**

3 **用紙を補給する**
・プリント開始。

お知らせ

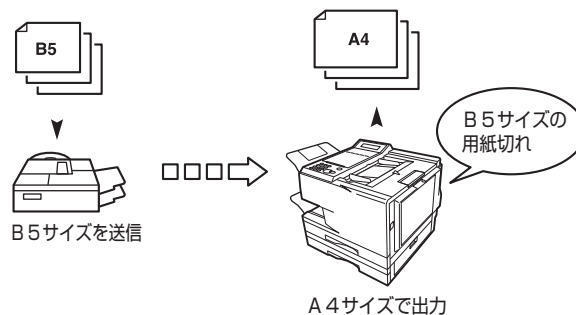
● メモリーには制限があります。用紙は早めに補充してください。(☞166 ページ)
● システム登録の「066 代行出力」の設定が“あり”になっているときは、適正サイズの用紙が無くなると、他のカセットにセットされている用紙に記録します。(☞143 ページ)
● メモリーには、A4 標準原稿(A4 サイズ 700 字程度の原稿)で UF-A800 は約 360 枚まで、UF-A700 は約 120 枚まで受信できます。

2in1 受信

相手が A5 サイズの原稿を 2 枚または、B5 サイズの原稿を 2 枚送ってきたとき、A4 または B4 サイズの用紙 1 枚にまとめてプリントします。

お知らせ

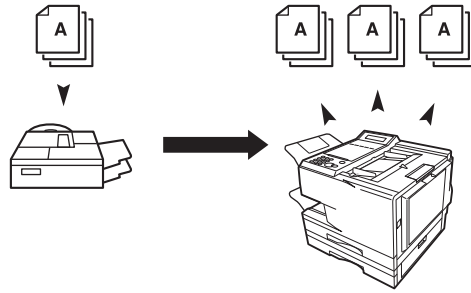
● システム登録の「067 受信 2in1 機能」の設定が“なし”になっているときは、2in1 受信できません。(☞143 ページ)

代行出力

本機は相手が送ってきた原稿に合わせて、受信した原稿を最適なサイズの用紙でプリントします。
代行出力の設定をしておけば、プリントの途中で用紙がなくなっても他のカセットにセットされている用紙を使って、受信した原稿をプリントできます。

お知らせ

● 他の用紙にはプリントしたくないときは、システム登録の「066 代行出力」の設定を“なし”にしておいてください。(☞143 ページ)

マルチプリント受信

受信したときに、あらかじめ設定した部数だけプリントすることができます。

お知らせ

- マルチプリント受信をするには、システム登録の「101 マルチプリント部数」の設定が必要です。（☞144 ページ）。
- 短縮ダイヤルに登録してある宛先からマルチプリント受信を行うには、次の設定が必要です。
  - ・特殊通信機能の登録で「マルチプリント部数」を指定する。（☞116 ページ）

正順プリント

システム登録の「065 正順プリント」の設定を“あり”にすると、複数ページの受信をしたときに、プリントする順番を上から 1・2・3…ページと順に並べられます。（☞143 ページ）

お知らせ

- メモリー使用量が約 93%になると、正順プリントをしないで、そのままプリントします。

リモート受信

システム登録の「047 リモート受信」の設定を“あり”にすると、外部電話機で話をした後、外部電話機からの操作で受信に切り替えることができます。（☞143 ページ）

1 **外部電話機の受話器を上げ、相手と話をする**

2 **ファクスの受信に切り替える**

- ・プッシュホン式回線をお使いの場合：⊛⊛
  （2 秒以内に押す）
- ・回転ダイヤル式回線をお使いの場合：⑨⑨
  （5 秒以内にダイヤルする）

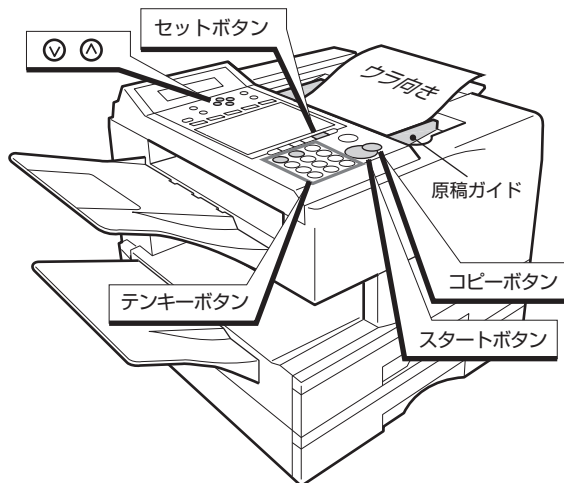
3 **受話器を戻す**

お知らせ

- 外部電話機から、電話をかけたときは、リモート受信できません。
- 手順 1 でファクス送信音「ポー・・ポー・・」が聞こえた場合、相手は自動送信のファクスです。手順 2 の操作をしてください。

コピーのしかた

コピーをするとき、次の３つの項目を選んでください。

- コピーの部数を指定する。
- ソートコピーまたはマルチコピーを選ぶ。
  - ・ソートコピー：コピーする原稿をすべて読み取り、ページの順番を合わせて、指定部数をコピー
  - ・マルチコピー：原稿を１枚ずつ読み取り、指定部数をコピー
- コピーする用紙を選ぶ。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 を押す

コピー
部数＝　1　倍率＝１００％
A4→カセット１（A4）

3 コピーする部数（最大 99 部）を入れる

・テンキーボタンでコピーする部数を入れます。

4 セット を押す

コピー
ソート指定
１．する　　　２．しない

5 ①または②を選び セット を押す

１：する　→ソートコピーをする
２：しない→マルチコピーをする

コピー
用紙選択（１－２）
１：カセット1＝Ａ４

6 用紙カセットを①〜④で選び セット を押す

・③、④はオプションカセット設定時に設定できます。

コピー
等倍
倍率＝１００％

7 Ⓥまたは Ⓐ を繰り返し押して固定倍率を選び セット を押す

・原稿を 90°回転させてコピー（回転記録）の設定を手動で切り替えるときは ＃（回転記録）を押します。

コピー
等倍
倍率＝１００％　　　回転

8 を押す

・原稿を読み取り、コピーが開始されます。

コピー

お知らせ

- コピーを途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 文字サイズは自動的に「細密」になります。
- 手順 2 で濃度、ハーフトーンを設定できます。ハーフトーンを設定したときは自動的に「きれい」になります。
- 手順 2 で原稿の大きさを認識し、原稿の大きさに合った用紙と倍率（縮小率）を自動的に選択します。認識した原稿の大きさと選択した用紙は、ディスプレイの下段に表示されます。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は、A5 サイズとして検知されます。
- 原稿と用紙の方向によって、原稿を 90°回転させてコピー（回転記録）をする場合があります。
- 異なったサイズの原稿をいっしょにセットしてコピーすると、正しくコピーできない場合があります。
- コピー中に用紙が無くなったときは、いったん読み取った原稿はメモリーから消去され、コピーは中断されます。用紙を補充し、まだコピーされていない原稿をもう一度セットして手順 1 から操作し直してください。
- 原稿を読み取り中にメモリーがいっぱいになった場合には、手順 4 で［ソートしない］を選択してコピーし直してください。
- 手差しトレイが開いている場合、手順 6 で手差しトレイの選択ができます。
- 回転ソートコピーをする場合は、システム登録の「083 回転ソート」の設定を“あり”にしてください。(☞143 ページ)
- 用紙サイズの表示に［＊＊＊＊］と表示されたときは、用紙カセットが正しくセットされていないか、手差しトレイの用紙サイズダイヤルが、表示の無いところに合わせてあります。正しくセットし直してください。
- 手順 6 で用紙を選択したときのコピー倍率は下表のようになります。手順 7 で変更します。

	用 紙						
	A3	B4	A4	A4	B5	A5	はがき
A3	等倍	86%	70%	R70%	R61%	R50%	50%
B4	等倍	等倍	81%	R81%	R70%	R57%	50%
A4	等倍	等倍	等倍	R 等倍	R86%	R70%	50%
A4	等倍	R 等倍	R 等倍	等倍	86%	70%	R50%
B5	等倍	等倍	R 等倍	等倍	等倍	81%	R57%
A5	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	R 等倍

- 「R ～%」「R 等倍」は 90°回転してコピーします。
- はがきへコピーするときは、コピーされない部分ができます。

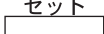
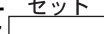
はがきサイズの原稿を、はがきにコピーするときには

1 原稿をセットする

・原稿はコピーされる面を裏（下）にしてセットする。

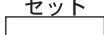
2 手差しトレイを開き、はがきをセットし、用紙サイズダイヤルを「ハガキ」に合わせる

・はがきはプリントされる面を上にしてセットする。

3 （コピー）を押す

・はがきサイズ（A6）の原稿をセットすると、A5と検知します。

```
コピー
部数＝ 1 倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ）回転
```

4 コピー部数を指定する

・例：「②」

```
コピー
部数＝ 2 倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ） 回転
```

5 セット を押してソート指定に切り替える。

1 または 2 を選択して セット を押す

```
コピー
ソート指定
１．する　　　２．しない
```

6 ＜ ＞ を押して手差しトレイを選択する

```
コピー
用紙選択（1－3）
３：テザシ＝ハガキ
```

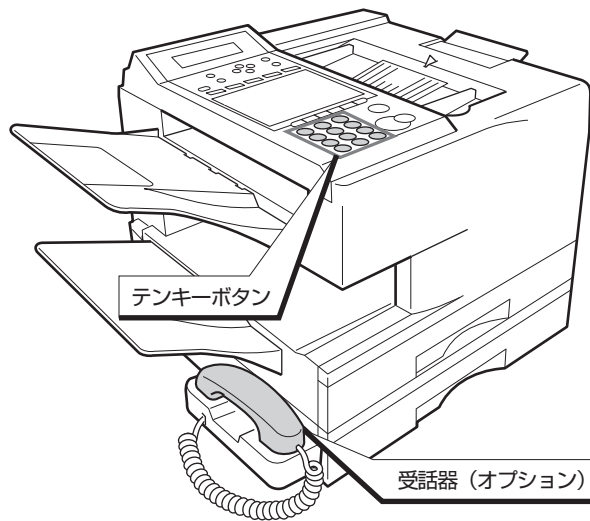
7 **を押す**

```
コピー
等倍
倍率＝１００％　　　回転
```

8 を押す

お知らせ

- 官製はがき以外の厚いはがきにコピーすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となります。
- 手差しトレイに一度にセットできる官製はがきは、最大 5 枚です。

電話をかける

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。
・《通信中》ランプが点滅する。

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています

2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳ダイヤル
・ダイヤルのしかた（☞25 ページ）

7月　1日（金）17:15　00%
ダイヤルしています
0334919191_

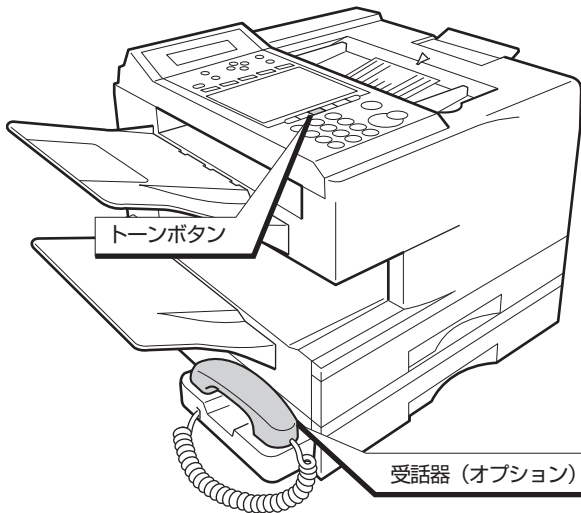
3 話をする

4 受話器を戻す

お知らせ

- オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☞143 ページ）
- 宛先をまちがえたときは、受話器を戻して、手順 1 からやり直します。
- 手順 2 でワンタッチダイヤルを使用したとき、「ピピピ」と鳴ったときは、グループダイヤル（☞120 ページ）として登録されているかまたはプログラムダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルを選んでいます。電話をかけることはできません。
- 電話の場合、「電話帳ボタン」でダイヤルするときは、（スタート）を押します。
- （モニター）を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。モニターを利用するには、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が“なし”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“あり”に設定されています）。
- ハンドセットユニットまたは外部電話機を設定することで、IP 電話サービスを利用した通話が可能になります。この場合システム登録の「123 リルート機能」が " あり " に設定されていても、リルート機能は働きません。（☞97 ページ）
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルは利用できません。

トーンボタンの使い方

回転ダイヤル式回線をお使いの方でも、プッシュホン信号（ピッポッパッ）を使って、銀行残高照会などの各種サービスをご利用になれます。

1 受話器を上げる「ツー」が聞こえる

・《通信中》ランプが点滅します。

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています
```

2 サービス提供元にダイヤルする

・サービス内容を確認します。

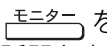
例

```
 7月  1日（金）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678_
```

3 トーン を押す

・プッシュホン信号に切り替えます。

・プッシュホン式回線の方は トーン を押す必要はありません。

```
 7月  1日（金）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678/_
```

4 案内にしたがって、番号を押す

```
 7月  1日（金）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678/123_
```

5 受話器を戻す

・受話器を戻すと、プッシュホン信号送出機能は解除されます。

電話

お知らせ

● モニター を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。
● モニターを利用するには、システム登録の「137　直接ダイヤル再入力」が“なし”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“あり”に設定されています）。

プッシュホン信号で受けられるサービス例

■JR 座席予約（※）
列車の空席状況を聞いたり、新幹線の座席予約ができます。

■航空券予約
国内航空大手の航空チケットが予約できます。

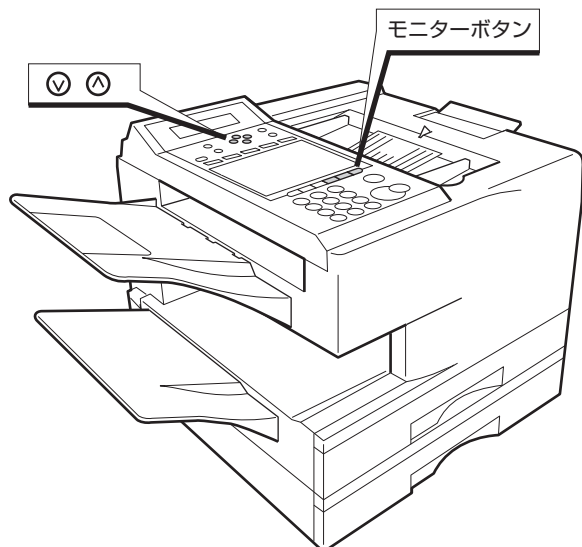
■銀行残高照会
口座の残高照会ができます。

■NTT の伝言ダイヤル（※）
待ち合わせの約束や外出中の連絡、伝言の録音／再生ができます。

（※）は、プッシュホン式回線利用者用のサービスです。ただし、「JR 座席予約」は、東京都区内とその周辺の方以外は、回転ダイヤル式回線でもご利用になれます。

音量の設定のしかた

モニター音量の設定

モニター を押したときなどに聞こえるスピーカー音の大きさを調整できます。

1 モニター を押す

```
 7月  1日（金）17:15  00%
ダイヤルしてください
```

2 ∨ または ∧ を押す

・現在、設定されているモニター音量が表示されます。

```
 7月  1日（金）17:15  00%
     モニター音量
 小[■■■        ]大
```

3 ∨ または ∧ を押して、モニター音量を調整する

・∧：モニター音が大きくなります。

・∨：モニター音が小さくなります。

・音量は８段階まで調整できます。

・∨ を押して、"■"表示を消すと、モニター音は聞こえなくなります。

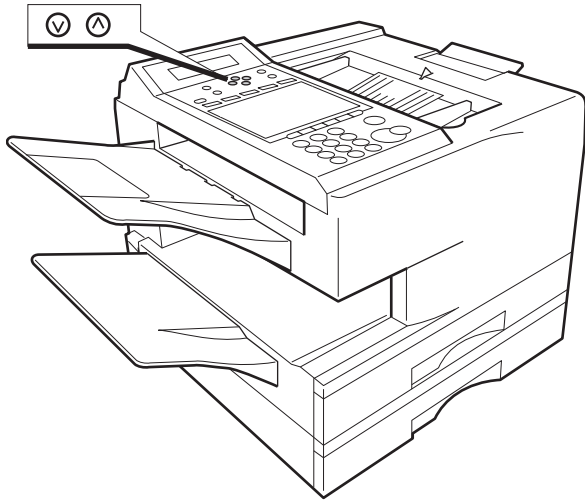
```
 7月  1日（金）17:15  00%
     モニター音量
 小[           ]大
```

4 モニター を押す

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
```

お知らせ

- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が"あり"の場合、モニターでテンキー入力（直接ダイヤル）は使用できません。ワンタッチダイヤルや短縮などは使用できます。
- システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が"あり"に設定されているときはモニターを使用できません。

呼出音量の設定

1 ⓥ または ⓐ を押す

・現在、設定されている呼出音量が表示され、1 秒間、呼出音が鳴ります。

呼出音量
<<☎>>

2 ⓥ または ⓐ を押して、呼出音を調整する

・テスト用の呼出音を聞きながら、お好みの大きさに調整します。

・ ⓐ ：呼出音が大きくなります。

・ ⓥ ：呼出音が小さくなります。

・呼出音は 3 段階まで調整できます。

ポーリング通信

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で取り出すことができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

● ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

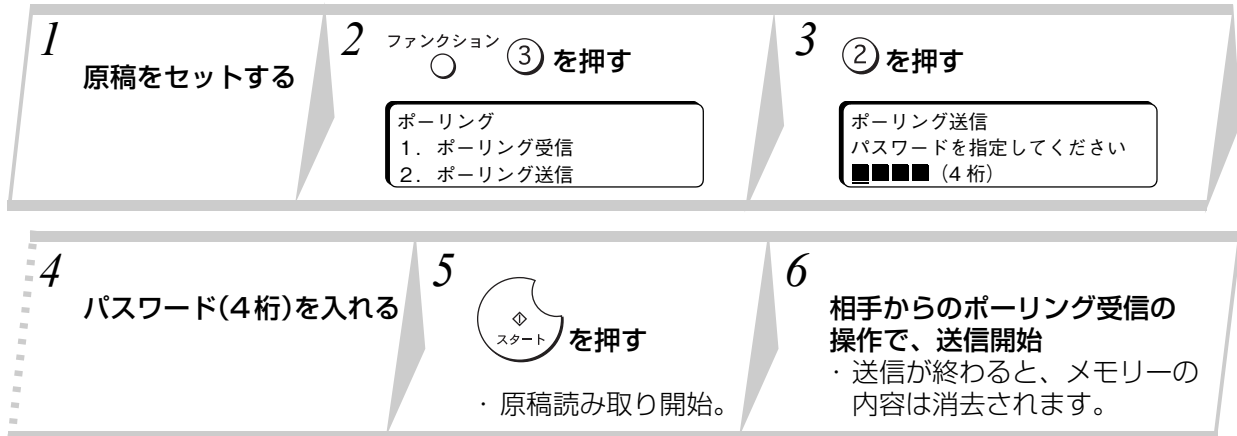
ポーリング送信

4 パスワード(4桁)を入れる

5 スタート を押す

・原稿読み取り開始。

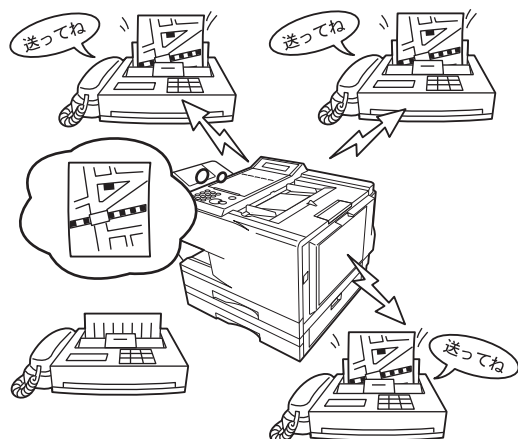
6 相手からのポーリング受信の操作で、送信開始

・送信が終わると、メモリーの内容は消去されます。

お知らせ

● ポーリング送信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● ポーリング送信は、最大 30 通信まで指定できます。
● ポーリング送信を解除するときは、「通信予約の消去」をしてください。（☞91 ページ）。
● ファンクション登録ボタンにポーリング送信の操作を登録しておけば、ファンクションボタンを押したあと、手順 4 からの操作をするだけでポーリング送信を指定できます。
● 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、ポーリング送信の登録はできません。

掲示板の使い方

システム登録の「027 ポーリング送信保存」の設定を“あり”にしておけば(☞142 ページ)ポーリング送信をしてもメモリーに読み込んだ原稿は消去されません。同じ原稿を複数の相手にポーリング送信(掲示板送信)したいときにお使いください。

●掲示板送信を選んだとき、メモリーに読み込んだ原稿を消去したいときは、(☞91 ページ)「通信予約の消去」の操作をしてください。

相手を限定しないで ポーリング送信をする

ポーリングパスワードを入れないでセットすれば、当社機以外のファクスやパスワードを使っていない相手にもポーリング送信できます。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ③ を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

3 ② を押す

ポーリング送信
パスワードを指定してください
■■■■（4 桁）

4 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。

● システム登録の「026 ポーリング用暗証番号の登録」を登録している場合は、手順 3 のあとクリアーボタンを押してから、スタートボタンを押してください。

ポーリング受信

1 ファンクション ③ を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

2 ① を押す

ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（4 桁）

3 パスワード（4 桁）を入れる

4 セット を押す

メモリー送信　　宛先数: 0000
宛先を指定してください

5 宛先を指定する

・直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☛25 ～ 35 ページ、39 ページ）
・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☛37 ページ）

6 を押す

・宛先にダイヤルし、ポーリング受信を始めます。

お知らせ

● ポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● ワンタッチボタンにポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけでポーリング受信ができます。（☛123 ページ）
● ファンクション登録ボタンにポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあと、手順 3 からの操作をするだけでポーリング受信ができます。（☛125 ページ）

タイマー通信

タイマー送信とタイマーポーリング受信、タイマー特殊通信他、通信予約を合わせて 50 タイマーまで指定できます。

タイマー送信

あらかじめ指定した時刻に自動的に原稿を送信します。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ○ ① を押す

3 ① を押し、セット を押す

4 送信時刻を入れる
- 時刻は24 時間制で入れます。

5 セット を押す

6 宛先を指定する
- 直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
- 最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25 ～ 35 ページ、39 ページ）
- 「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）

7

を押す
- タイマー送信がセットされます。

タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信を始めます。

1 ファンクション ○ ① を押す

2 ② を押し、セット を押す

3 受信時刻を入れる
- 時刻は 24 時間制で入れます。

4 セット を押す

5 パスワード（4 桁）を入れる

6 セット を押す

ポーリング受信　　宛先数: 0000
宛先を指定してください

7 宛先を指定する
- 直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
- 最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25 ～ 35 ページ、39 ページ）
- 「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）

8 スタート を押す
- タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

- タイマー送信／タイマーポーリング受信の指定を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
- すでに 50 件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、これ以上タイマー通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☞91 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

タイマー特殊通信

本機でご利用になれる様々な通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。

4 セット を押す

5 ①～⑥ または、∨ ∧ を押して通信を選ぶ
・下記「特殊通信一覧表」を参照して選びます。

6 通信を指定する

お知らせ

- タイマー特殊通信の指定を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
- すでに 50 件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、タイマー特殊通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☞91 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- ワンタッチボタンにタイマー特殊通信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー特殊通信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

テンキーボタン	特殊通信の種類		参照ページ
①	中継同報指示		55 ページ
②	親展通信	親展送信	56 ページ
		親展ポーリング受信	57 ページ
③	ファイル送信		58 ページ
④	F コード通信	F コード送信	60 ページ
		F コード取り出し	61 ページ
⑤	マルチコピー通信		63 ページ
⑥	F 網通信		63 ページ

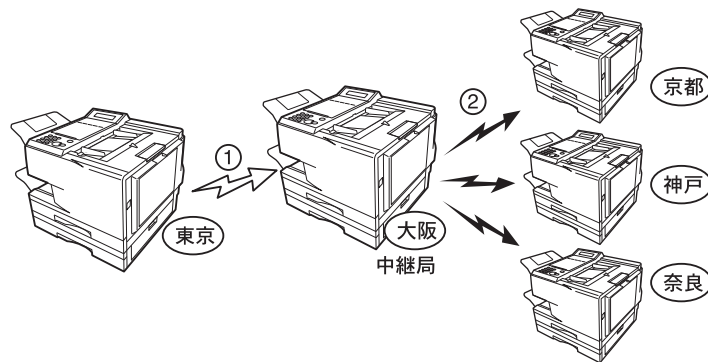
中継通信

中継通信について

メモリー機能を持つ中継局を使って、次のような中継通信を指定することができます。
- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

中継同報指示について

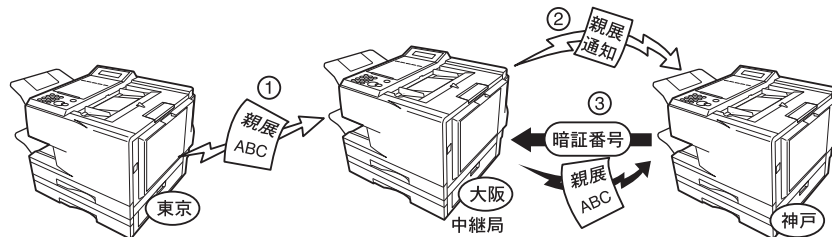
遠距離にある複数の宛先へファクスを送りたいとき、中継局に送信すれば、中継局は指定された宛先へ順次送信します。

例：東京から、大阪の中継局を経由して京都、神戸、奈良へ送信します。

①東京から大阪の中継局に中継指示します。
- 原稿は、大阪の中継局のメモリーにいったん蓄積されます。

②大阪の中継局は、東京から指示された京都、神戸、奈良へ順次送信します。
- 東京から、それぞれの宛先へ送信する手間が省け、トータルの通信料金も削減できます。

親展通信

ある特定の人に原稿を送信したいとき、中継局のメモリーに暗証番号を付けて原稿を送信することができます。受信側は、暗証番号を入力しないかぎり、原稿を受け取ることができないので、情報が他人に漏れる心配がありません。

例：東京から大阪の中継局を使って、神戸の A さんに親展文書を送信する場合

①東京から大阪の中継局に親展文書を送ります（56 ページ「親展送信」）。
- 原稿は大阪の中継局のメモリーに蓄積されます。

②大阪の中継局は神戸へ「親展通知」を送って、親展文書を受け付けたことを知らせます。
③神戸の A さんは「親展通知」の内容により、大阪の中継局へ親展ポーリング受信をします。
このとき、A さんは東京で指定された暗証番号と同じ番号を入力しないと、親展文書を受け取ることができません（57 ページ「親展ポーリング受信」）。

中継同報指示

メモリー機能を持った中継局を中心に中継ネットワークを組んで、遠方にある複数の宛先へ一度にファクスを送信できます。

中継同報送信をする前に

- 本機の登録モードの「中継情報の登録」に中継情報を登録する。（128 ページ）
- システム登録の「 104 短縮ダイヤル情報」を“あり” にして、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに中継情報を登録できるようにする。（144 ページ）
- 中継局の電話番号と中継情報を、本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する。（112 ページ ,114 ページ）
- 中継同報送信をする相手の電話番号と中継情報を、本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する。（112 ページ ,114 ページ）
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ◯ ② を押す

3 ①を押し、セット を押す

4 宛先を指定する

・直接ダイヤルを除く最大 1000 宛先まで（UF-A700 は最大 200 宛先まで）指定できます。（39 ページ）

5 スタート を押す

・中継局へダイヤルし、送信を開始します。

お知らせ

- 中継同報送信の操作を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ワンタッチボタンに中継同報指示の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（123 ページ）
- ファンクション登録ボタンに中継同報指示の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（125 ページ）

親展通信

親展通信をする前に

- 本機の登録モードの「中継情報の登録」に中継情報を登録する。（☞128 ページ）
- システム登録の「 104 短縮ダイヤル情報」を“あり”にして、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに中継情報を登録できるようにする。（☞144 ページ）
- 中継局の電話番号と中継情報を、本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する。（☞112 ページ ,☞114 ページ）
- 親展通信をする相手の電話番号と中継情報を、本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する。（☞112 ページ ,☞114 ページ）
- 中継ネットワークを構成する場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

親展送信

親展送信をすれば、個人宛で送りたい文書を中継局のメモリーに蓄積することができます。
中継局は親展文書を受け付けると、親展送信先へ「親展通知」を送って親展文書を受け付けたことをお知らせします。

お知らせ

- 親展送信の操作を途中でやめるときは、(ストップ) を押してください。
- ワンタッチボタンに親展送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
- ファンクション登録ボタンに親展送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに暗証番号と宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

親展ポーリング受信

中継局のメモリーに蓄積されている親展文書を、受信側の操作で取り出すことができます。

- 親展ポーリング受信の操作を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 親展暗証番号が分からないときは、親展送信元に確認してください。
- 自局情報の「中継情報の登録」で中継機の電話番号を登録している場合は、手順 4 までの操作をするだけで、親展ポーリング受信を始めます。
- ワンタッチボタンに親展ポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
- ファンクション登録ボタンに親展ポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに暗証番号と宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

便利な機能の使い方

親展プリント

- 親展プリントの操作を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 「中継センターユニット」オプション追加時のみ有効です。（☞190 ページ）

ファイル送信

会社までの地図など、頻繁に送る原稿を本機のメモリーに蓄積して何度でも送ることができます。
ファイル送信をお使いになれば、いちいち送信原稿をセットする手間が省けます。

ファイル蓄積

ファイル送信する原稿を本機のメモリーに蓄積します。メモリーに蓄積できるファイルは、1 ファイルのみです。

お知らせ

- ファイル蓄積を途中でやめるときは、(ストップ) を押してください。
- メモリーには、A4 標準原稿で UF-A800：約 255 枚まで、UF-A700：約 120 枚まで、1 回の通信予約で読み込めます。
- すでに蓄積されているファイルがあるときは、ファイル蓄積をすることはできません。蓄積されているファイルを消去（☞59 ページ）して、手順 1 からの操作をしてください。
- ファンクション登録ボタンにファイル蓄積の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでファイル蓄積ができます。（☞125 ページ）
- 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、ファイル送信の蓄積はできません。

ファイル送信

ファイル蓄積した内容を送信します。

3 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25 ～ 35 ページ、39 ページ）

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）

4

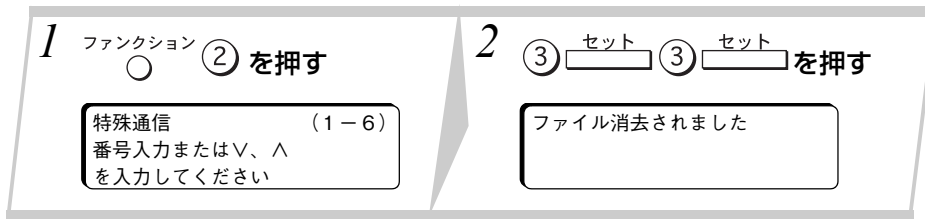
を押す

・宛先にダイヤルし、ファイル送信を始めます。

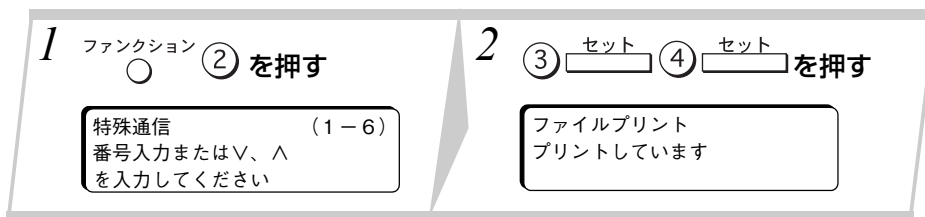
お知らせ

- ファイル送信の操作を途中でやめるときは、(ストップ) を押してください。
- ファイル送信をしても、メモリーに蓄積されている内容は消去されません。
- ワンタッチボタンにファイル送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
- ファンクション登録ボタンにファイル送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

ファイル消去

ファイル蓄積した内容を消去します。

● ファイル消去を途中でやめるときは、ストップを押してください。

ファイルプリント

ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。

お知らせ

● ファイルプリントの操作を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● ファンクション登録ボタンにファイルプリントの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでプリントできます。（☛125 ページ）
● ファイルプリントしても、メモリーに蓄積した文書は消去されません。

F コード通信

当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスやパスワードを使って機密事項を保持した通信をすることができます。

● F コード通信は、ITU-T の T30（SUB、SEP、PWD）機能を持っているファクスであれば、相手機種を限定しないで F コード通信ができます。
● F コード通信をするには、メモリー機能を持つ F コードセンター機が必要になります。

F コード送信

F コード送信は、F コードセンター機に開設されているボックスの番号をサブアドレス番号で指定し、機密保持のためパスワードを使ってボックスに文書を送ります。

お知らせ

● F コード送信の操作を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
● ワンタッチボタンに F コード送信の操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。（☞123 ページ）
● ファンクション登録ボタンに F コード送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

F コード掲示板登録の指定

あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文章を登録することができます。(☞133 ページ)

4 **ボックス No.(2 桁)を指定する**
・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

5 セット **を押す**
・掲示板登録がセットされます。

お知らせ
- 掲示板登録の指定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 掲示板登録の指定の手順 3 で開設していないボックス No. や、掲示板ボックスとして開設されていないボックス No. は指定できません。
- 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、掲示板登録の指定はできません。

F コード取り出し

F コードセンター機に開設されているボックス番号をサブアドレス番号で指定し、ボックスに保存されている文書を取り出します。
- F コード取り出しでは、F コード取り出し側が通信料金を負担します。

7 **宛先を指定する**
・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・最大 1020 宛先まで(UF-A700 は最大 220 宛先まで)指定できます。(☞25 〜 35 ページ、39 ページ)
・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」(☞37 ページ)

8 スタート **を押す**
・F コードセンターへダイヤルし、保存されている文書の取り出しを始めます。

お知らせ
- F コード取り出しの操作を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- ワンタッチボタンに F コード取り出しの操作と宛先を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで通信を指定できます。(☞123 ページ)
- ファンクション登録ボタンに F コード取り出しの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。(☞125 ページ)

F コード親展プリント

親展ボックスに登録された文書を引き出すことができます。（☞130 ページ）

1 ファンクション ◯ ② を押す

```
特殊通信　　　　　　（1－6）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ セット ④ セット を押す

```
F コード親展プリント
ボックス No. を指定してください
＿　　　　（2 桁）
```

3 ボックス No.（2 桁）を指定する

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

4 セット を押す

```
F コード親展プリント
暗証番号を指定してください
＿
```

5 暗証番号を指定する

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

6 セット を押す

・F コード親展プリントの出力がセットされます。
・暗証番号が一致すると、指定された親展ボックスに登録されている文書のプリントを始めます。

お知らせ

● F コード親展プリントの操作を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● F コード親展プリントの手順 2 で開設していないボックスや、親展ボックスとして開設されていないボックス、および文書が登録されていないボックスは指定できません。
● 親展ボックスの暗証番号を忘れると、登録されている文書の出力ができなくなります。暗証番号は忘れないようにご注意ください。
● 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
● F コード親展プリントは、他にリストのプリントや受信データのプリント動作をしているときは指定できません。

マルチコピー通信

宛先に送信するときは、受信側でプリントする部数を指定することができます。

- マルチコピー通信は、相手機種が限定されます。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- マルチコピー通信を指定できるのは、マルチコピー通信機能を持つ相手に限ります。

1 **原稿をセットする**

```
 7月 1日（金）17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ② ⑤ セット **を 押 す**

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
01    （2桁）
```

3 **受信側でプリントする部数（2 桁）を指定する**

・プリント部数を指定します（最大 99 部）。

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

例：「02」

```
マルチコピー通信
部数を指定してください
02    （2桁）
```

4 セット **を押す**

```
マルチコピー通信　宛先数:0000
宛先を指定してください
```

5 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☛25 ～ 35 ページ、39 ページ）

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☛37 ページ）

6 **を押す**

・マルチコピー通信を開始します。

お知らせ

- マルチコピー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 短縮ダイヤルを登録するときに、マルチコピー通信部数を指定できます（☛116 ページ）。
- マルチコピー通信部数が登録されているダイヤルを選択したときは、手順 3 でプリント部数を入力する必要はありません。

F 網通信

NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を利用して通信することができます。F 網通信をお使いになるときは、NTT コミュニケーションズとの利用契約が必要です。お近くの NTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

1 **原稿をセットする**

```
 7月 1日（金）17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ② ⑥ セット **を押す**

```
F網通信        宛先数:0000
宛先を指定してください
```

3 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 10 宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛39 ページ）

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☛37 ページ）

4 **を押す**

・F 網通信が開始されます。

お知らせ

- F 網通信の操作を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 使用する場合には、システム登録の「096 NTT ファクシミリ通信網」を“なし”以外に設定してください。

OMR 通信

機能や宛先をマークした OMR シート（別売品）を原稿に重ねてセット（最初のページに）すれば、複雑な通信を簡単な操作でご利用できます。
OMR 通信を指定できる宛先は、OMR 解読機能を持つ相手に限ります。詳しくはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

1 **OMR シートを原稿の一番最初のページにセットする**

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ② セット **を押す**

```
OMR 送信           設定：1
   1：オフ     2：オン
```

3 ② セット **を押す**

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

4 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
・ 最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☛25 ～ 35 ページ、39 ページ）
・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☛37 ページ）

5

を押す

・ OMR通信を開始します。

お知らせ

● OMR 通信の操作を途中でやめるときは、ストップを押します。

パスワード通信

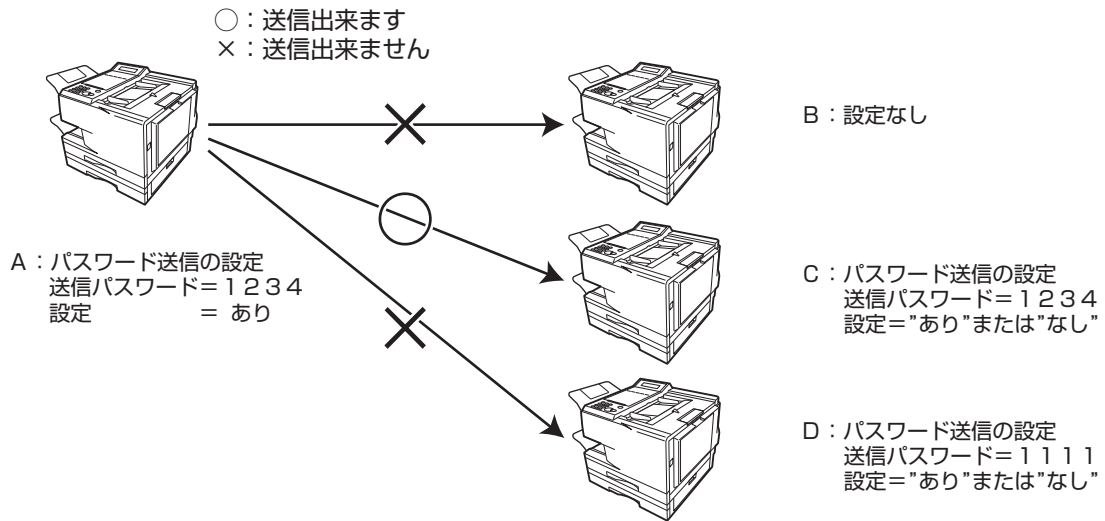
パスワード通信について

通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

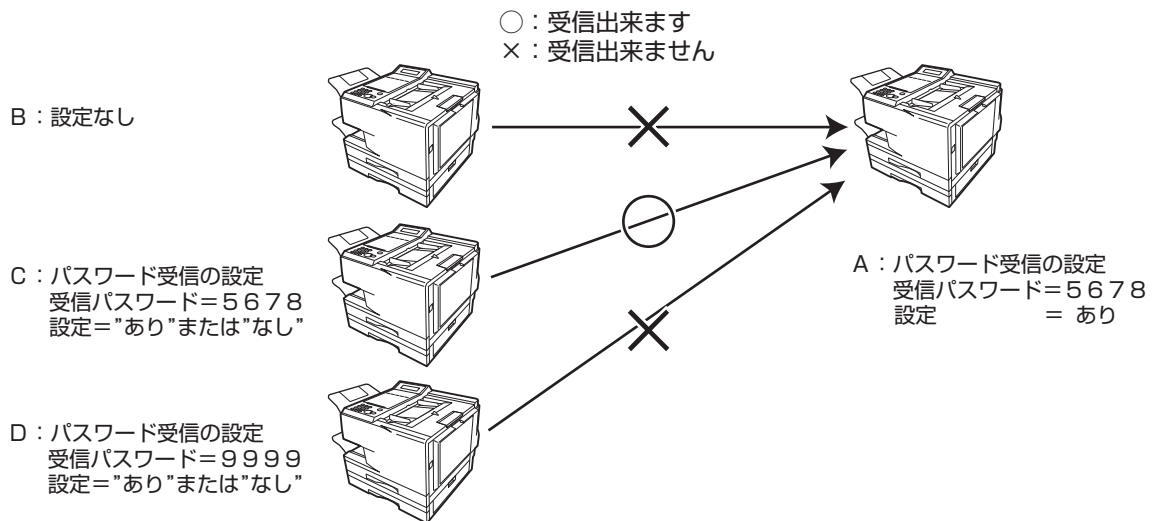
● パスワード通信では、本機または相手機が送信をする際に受信側を確認する「送信パスワード」（☛67 ページ）と、本機または相手機が受信をする際に送信側を確認する「受信パスワード」（☛69 ページ）の設定が必要です。

システム登録について

	設定状況	本機が送信時	本機が受信時
パスワード送信	送信パスワードの登録なし	通常の送信をします。	通常の受信をします。
	送信パスワードを登録して設定を“なし”にする	通常のダイヤル操作では通常の送信をします。 一時的にパスワード送信をしたい場合は、送信前の操作が必要です。（☛71 ページ）	相手がパスワード送信をしてきた場合に、相手送信機が本機の送信パスワードを照合して、一致すると受信します。 相手が通常の送信の場合には、通常の受信をします。
	送信パスワードを登録して設定を“あり”にする	通常のダイヤル操作でパスワードを使った送信をします。 相手受信機の送信パスワードを照合して、一致すると送信します。 一時的にパスワード送信をしない場合は、送信前の操作が必要です。（☛71 ページ）	
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	通常の送信をします。	通常の受信をします。
	受信パスワードを登録して設定を“なし”にする	パスワード受信の設定をしている相手に送信した場合に、相手受信機が本機の受信パスワードを照合して、一致すると送信します。 パスワード受信を設定していない相手には、通常の送信をします。	通常の受信をします。
	受信パスワードを登録して設定を“あり”にする		常にパスワードを使った受信の状態になっています。 相手送信機の受信パスワードを照合して、一致すると受信します。

パスワード送信

パスワード送信は、送信側の設定が“あり”の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

・ 送信側のパスワード送信の設定が“なし”の場合は、通常の送信と変わりありません。
・ パスワード送信の設定“あり”または“なし”は、送信時のみに機能します。

パスワード受信

パスワード受信は、受信側の設定が“あり”の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

・ 受信側のパスワード受信の設定が“なし”の場合は、通常の受信と変わりありません。
・ パスワード受信の設定“あり”または“なし”は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

1 ファンクション ⑦ ④ セット **を押す**

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録 (001-137)
No. =_          (3桁)
```

3 ⓪ ④ ③ セット **を押す**

・パスワード送信を選択します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
_           (4桁)
```

4 パスワード送信用のパスワード（4 桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「1234」の場合、① ② ③ ④ を押します。

まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043 パスワード送信      設定：1
パスワード=1 2 3 4
1．なし        2．あり
```

5 使い方に合わせて、①（なし）または②（あり）を押す

・例：「②」

```
043 パスワード送信      設定：2
パスワード=1 2 3 4
1．なし        2．あり
```

6 セット ストップ **を押す**

お知らせ

- パスワード送信の設定を取り消すときは、手順 5 で クリアー セット を押したあとに、ストップ を押します。
- パスワード送信の設定を“あり”にすると、ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されます。
- ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されているときは、通常の送信ができなくなります。パスワード送信をしたくないときは、「パスワード送信設定の一時変更」（☞71 ページ）を参照して操作してください。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- パスワード受信およびパスワード送信の設定を“あり”にするとディスプレイに「パスワード送受信設定中です」が表示されます。

パスワード送信の変更

1 ファンクション ⑦④セット を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録 (001-137)
  No. =_      (3桁)
```

3 ⓪④③セット を押す

・パスワード送信を選択します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
1234 (4桁)
```

4 パスワードを変更するときは、クリアー を4回押す

・現在設定されている内容が表示されます。

・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順6へ進みます。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
_        (4桁)
```

5 変更するパスワード（4桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「4321」の場合、④③②① を押します。

・まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043 パスワード送信   設定：1
パスワード＝4321
1．なし    2．あり
```

6 ①（なし）または②（あり）を押す

・例：「②」

```
043 パスワード送信   設定：2
パスワード＝4321
1．なし    2．あり
```

7 セット ストップ を押す

お知らせ

● 手順6で、クリアー セット を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。

● パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード受信の設定

1 ファンクション ⑦ ④ セット を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
＿
```

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録 （001-137）

  Ｎｏ．＝＿        （３桁）
```

3 ⓪ ④ ④ セット を押す

・パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
＿        （4 桁）
```

4 パスワード受信用のパスワード（４桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「1234」の場合、① ② ③ ④ を押します。

・まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044 パスワード受信     設定：1
パスワード＝１２３４
１．なし     ２．あり
```

5 使い方に合わせて、①（なし）または②（あり）を押す。

・例：「②」

```
044 パスワード受信     設定：2
パスワード＝１２３４
１．なし     ２．あり
```

6 セット ストップ を押す

お知らせ

- パスワード受信の設定を取り消すときは、手順５で クリアー セット を押したあとに、ストップ を押します。
- パスワード受信の設定を“あり”にすると、ディスプレイに「パスワード受信設定中です」が表示されます。
- ディスプレイに“パスワード受信設定中です”が表示されているときは、通常の受信ができなくなります。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- パスワード受信およびパスワード送信の設定を“あり”にするとディスプレイに「パスワード送受信設定中です」が表示されます。

パスワード受信の変更

1 ファンクション ○ ⑦ ④ セット を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録 (001-137)

  No. =_      (3桁)
```

3 ⓪ ④ ④ セット を押す

・パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
1234 (4桁)
```

4 パスワードを変更するときは、クリアー を4回押す

・現在設定されている内容が表示されています。
・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順6へ進みます。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
_        (4桁)
```

5 変更するパスワード(4桁)を入れ、セット を押す

・例:パスワード「4321」の場合、④ ③ ② ① を押します。
・まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044 パスワード受信    設定:1
パスワード=4321
1. なし    2. あり
```

6 ①(なし)または②(あり)を押す

・例:「②」

```
044 パスワード受信    設定:2
パスワード=4321
1. なし    2. あり
```

7 セット ストップ を押す

お知らせ

● 手順6で、クリアー セット を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
● パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除･一時設定を行いたい場合、次の手順で1回の通信に限り、設定を変更できます。

1 ファンクション ◯ ⑧ **を押す**

・セレクトモードを選択します。

2 ④ セット **を押す**

・パスワード送信を選択します。

```
パスワード送信          設定：1

   1：オフ      2：オン
```

3 ① **または** ② **を押し、** セット **を押す**
② **を選んだ場合はパスワードを入力する**

・次の通信設定を選択します。

・①：1回の通信に限りパスワード送信の設定を"オフ"にできます。

・②：1回の通信に限りパスワード送信の設定を"オン"にできます。

例：パスワードに
④③②①を入力

```
パスワード送信
パスワードを指定してください
4321
```

4 セット **を押す**

5 **宛先を指定する**

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大1020宛先まで（UF-A700は最大220宛先まで）指定できます。（☛25～35ページ、39ページ）

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☛37ページ）

6

を押す

・1回の通信に限りパスワード送信の設定を"なし"または"あり"にして通信を開始します。

迷惑 FAX 防止

迷惑 FAX 防止について

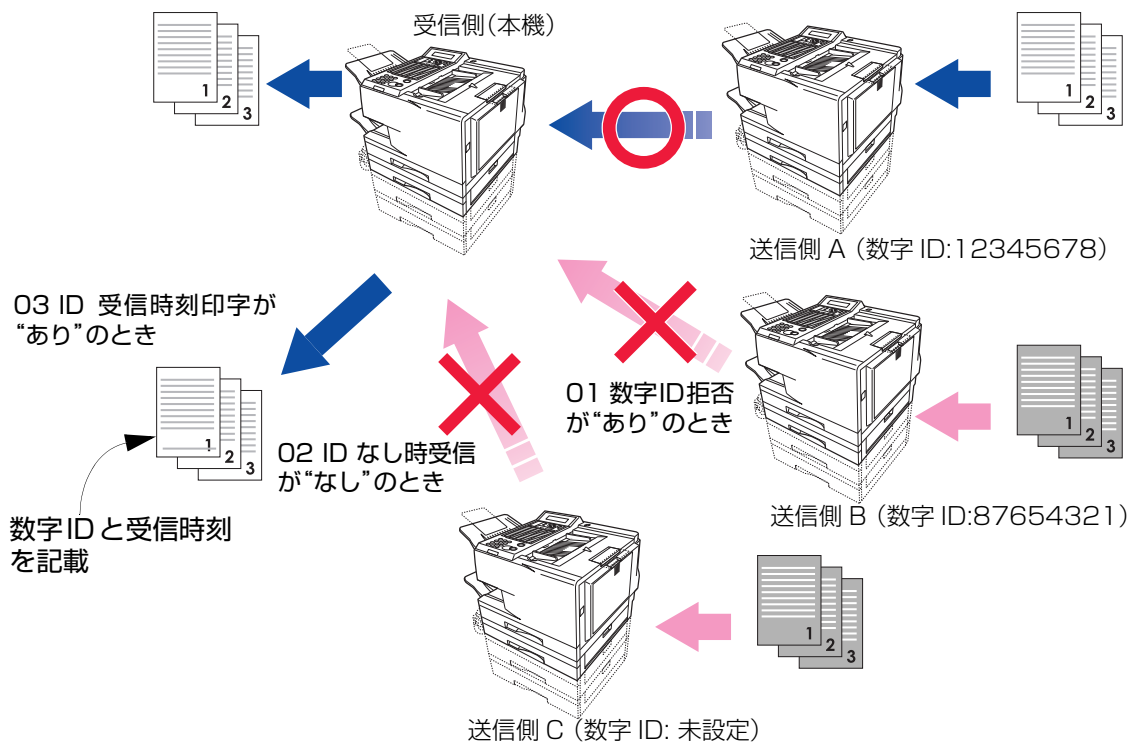
受信したくない相手から着信した場合に、受信を拒否する機能です。ダイレクトメール系のファクスや、迷惑 FAX などを受信したくない場合に設定しておくと便利です。
迷惑 FAX 防止には、数字 ID を利用した機能（☞本ページ下部）、発信者番号を利用した機能（☞78 ページ）があります。

お知らせ

- 数字 ID とは、ファクスの電話番号のことで、通常は自局情報の一部としてファクスに登録しておきます。
- 発信者番号とは、ナンバーディスプレイを契約している場合に、通信事業者から通知してくる発信者の番号のことです。通常は、相手の電話番号が通知されます。

数字 ID を利用した迷惑 FAX 防止機能

数字 ID を利用した迷惑 FAX 防止には、数字 ID 拒否、ID なし時受信、ID 受信時刻印字の 3 つの機能があります。

数字 ID 拒否	
No.	数字 ID（電話番号）
No.01	87654321
No.02	98765432

● 数字 ID 拒否

受信したくない相手の数字 ID を登録しておき、その数字 ID をもつ相手から着信した場合に、受信を拒否できます。

・ 受信を拒否する数字 ID は、30 件まで登録できます（0～9、＋（＊で入力)、スペースを使い20 桁まで)。
・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
135 迷惑 FAX 防止	1. 数字 ID 拒否機能	
	01 数字 ID 拒否	“あり”
	04 ID 番号登録（01-30）	受信を拒否する相手の数字 ID を登録

● ID なし時受信

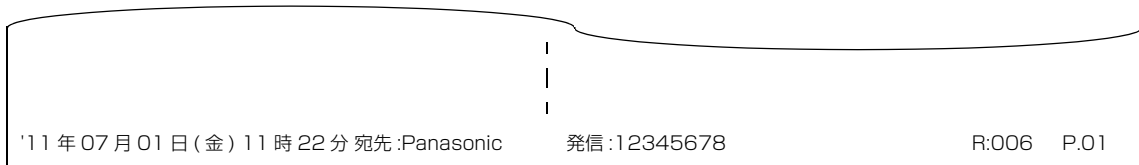
数字 ID を送出しない相手から着信した場合に、受信を拒否できます。

-「02 ID なし時受信」が“あり”の場合 .... 相手機から ID が送出されない場合も受信します。
-「02 ID なし時受信」が“なし”の場合 .... 相手機から ID が送出されない場合は、受信を拒否します。

・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
135 迷惑 FAX 防止	1. 数字 ID 拒否機能	
	01 数字 ID 拒否	“あり”
	02 ID なし時受信	“なし”

● ID 受信時刻印字

受信時刻を記載するように設定すると、受信時刻、宛先、相手機の数字 ID が、受信文書の下部に記載されます。

・ 数字 ID が送信されなかった場合は、受信時刻だけが記載されます。
・ この機能を使用する場合は、システム登録の［135 迷惑 FAX 防止］を、次のように設定します。

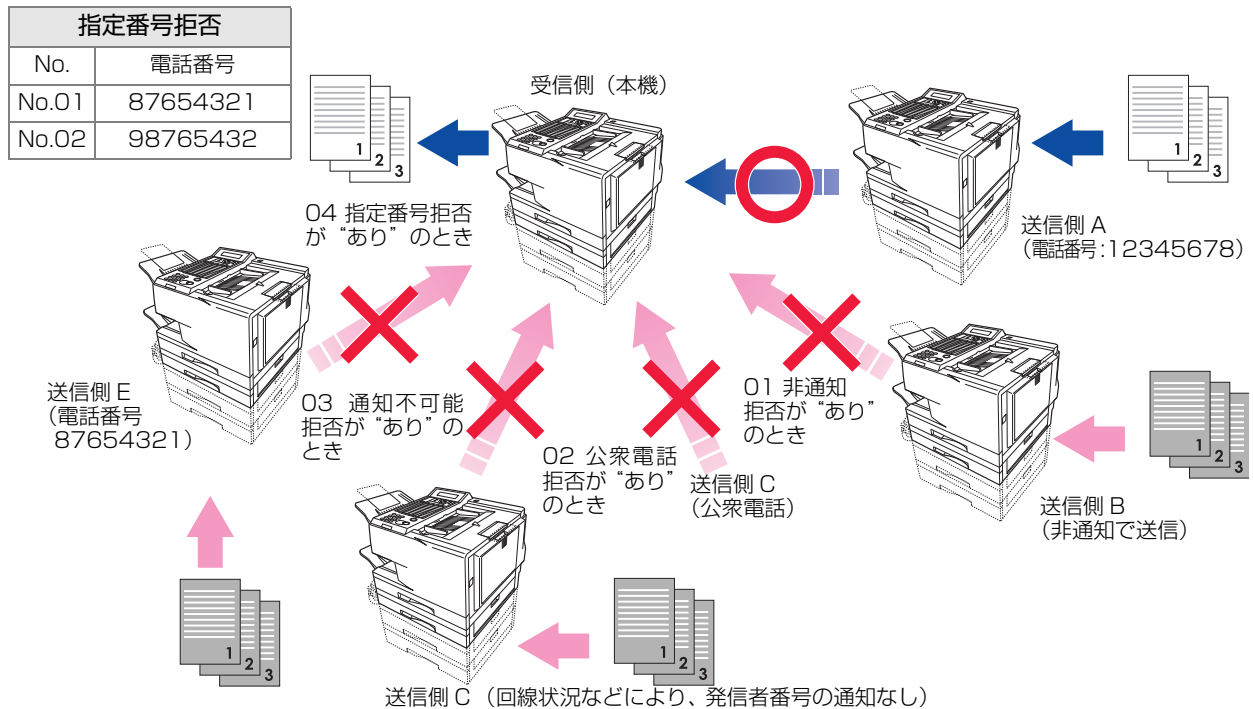
設定項目		設定値
135 迷惑 FAX 防止	1. 数字 ID 拒否機能	
	01 数字 ID 拒否	“あり”
	03 ID 受信時刻印字	“あり”

お知らせ

- 迷惑 FAX 防止機能がはたらいて受信を拒否した場合、通信エラーレポートの状況欄に、「受信拒否」が記載されます。
- システム登録の設定により、次表の優先で受信文書に受信時刻が記載されます。

135 迷惑 FAX 防止		009 受信時刻印字	受信時刻の記載	優先順位
数字 ID 拒否	ID 受信時刻印字			
なし	なし	なし	×	受信時刻は記載されません。
		あり	○	通常の受信時刻印字の順位
	あり	なし	×	受信時刻は記載されません。
		あり	○	通常の受信時刻印字の優先順位で記載されます。
あり	なし	なし	×	受信時刻は記載されません。
		あり	○	通常の受信時刻印字の優先順位で記載されます。
	あり	なし	◎	相手の数字 ID が記載されます。 情報がないときは空白になります。
		あり	◎	相手の数字 ID が記載されます。 情報がないときは空白になります。

発信者番号を利用した迷惑 FAX 防止機能

発信者番号を利用した迷惑 FAX 防止機能には、非通知拒否、公衆電話拒否、通知不可能拒否、指定番号拒否の 4 つの機能があります。

● 非通知拒否

非通知の相手から着信した場合に、受信を拒否できます。

・ この機能は、システム登録の「135 迷惑 FAX 防止」「2. 発番号拒否機能」「01 非通知拒否」の設定により、次のように動作します。

- 「01 非通知拒否」が“あり”の場合 .... 非通知の相手から着信した場合は、受信を拒否します。
- 「01 非通知拒否」が“なし”の場合 .... 非通知の相手から着信した場合も受信します。

・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
090 発番号契約		“あり”
135 迷惑 FAX 防止	2. 発番号拒否機能 01 非通知拒否	“あり”

● 公衆電話拒否

公衆電話から着信した場合に、受信を拒否できます。

・ この機能は、システム登録の「135 迷惑 FAX 防止」「2. 発番号拒否機能」「02 公衆電話拒否」の設定により、次のように動作します。

- 「02 公衆電話拒否」が“あり”の場合 ...... 公衆電話から着信した場合は、受信を拒否します。
- 「02 公衆電話拒否」が“なし”の場合 ...... 公衆電話から着信した場合も受信します。

・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
090 発番号契約		“あり”
135 迷惑 FAX 防止	2. 発番号拒否機能 02 公衆電話拒否	“あり”

● 通知不可能拒否

発信者番号を通知できない相手から着信した場合に、受信を拒否できます。

・ この機能は、システム登録の「135 迷惑 FAX 防止」「2. 発番号拒否機能」「03 通知不可能拒否」の設定により、以下の動作になります。

- 「03 通知不可能拒否」が“あり”の場合.......... 通知できない相手から着信した場合は、受信を拒否します。
- 「03 通知不可能拒否」が“なし”の場合.......... 通知できない相手から着信した場合も受信します。

・ 回線サービスの契約状況、回線網の経路などにより、通信事業者が発信者番号を通知できないことがあります。

・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
090 発番号契約		“あり”
135 迷惑 FAX 防止	2. 発番号拒否機能	
	03 通知不可能拒否	“あり”

● 指定番号拒否

受信したくない相手の発信者番号を登録しておき、その電話番号から着信した場合に、受信を拒否できます。

・ 受信を拒否する発信者番号は、30 件まで登録できます。

・ この機能を使用する場合は、システム登録で次のように設定します。

設定項目		設定値
090 発番号契約		“あり”
135 迷惑 FAX 防止	2. 発番号拒否機能	
	04 指定番号拒否	“あり”
	05 指定番号登録 (01-30)	受信を拒否する相手の発信者番号を登録

● 発番号拒否機能を設定した場合は、受信の状況を通信管理レポート（☛101 ページ）で確認できます（通信管理レポートの相手先欄に”＜　＞”で印字されている内容）。

迷惑 FAX 防止の設定（数字 ID を利用）

数字 ID を利用した迷惑 FAX 防止を利用する場合は、システム登録で次のように設定します .

1 ファンクション ⑦④ セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

システムの登録 (001-137)
Ｎｏ．＝_ （３桁）

3 ①③⑤ セット を押す

・迷惑 FAX 防止が選択されます。

135 迷惑ＦＡＸ防止
１．数字ＩＤ拒否機能
２．発番号拒否機能

4 ①を押す

・数字 ID が選択されます。

数字ＩＤ拒否機能（１－４）
番号入力またはＶ、Λ
を入力してください

5 使い方に合わせて、①～③ を選択する または Ⅴ Λ で選択し、セット を押す

・①：数字 ID 拒否
・②：ID なし時受信
・③：ID 受信時刻印字
・④：ID 番号登録（01-30）

例：「①」

01 数字ＩＤ拒否 設定:1
１．なし ２．あり

6 ②（あり）を押す

・数字IDを利用した迷惑FAX防止機能が設定されます。
例：「②」

01 数字ＩＤ拒否 設定:2
１．なし ２．あり

7 セット クリアー を押す

・手順４の画面に戻ります。

数字ＩＤ拒否機能（１－４）
番号入力またはＶ、Λ
を入力してください

8 手順5で①（数字ID拒否）を選択した場合は、④ を押し、セット を押す

・ID 番号登録が選択されます。
・手順 5 で②または③を選択した場合は、手順 11 に進みます。

ＩＤ番号登録
選択番号（０１－３０）又は
Ｖ、Λを入力してください

9 ⓪①～③⓪ を選択する または Ⅴ Λ で選択する

・ID番号登録が選択されます。

ＩＤ番号登録
01 _

10 受信を拒否する数字 ID を入力する

・まちがえたときは、クリアー を押して、入れ直します。
・20 桁まで登録できます。登録できる文字は、０～９、＋（＊で入力）、スペースです。

ＩＤ番号登録
01 12345678_

11 セット ストップ を押す

・数字 ID を利用した迷惑 FAX 機能が設定されます。

お知らせ

● 迷惑 FAX 防止の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● 受信文書の下部に数字 ID を記載したい場合は、「01 数字 ID 拒否」の設定が必要です。設定内容の詳細については、「● ID 受信時刻印字」（☞73 ページ）

迷惑 FAX 防止の設定（発信者番号を利用）

発信者番号を利用した迷惑 FAX 防止を利用する場合は、システム登録で、発信者番号、迷惑 FAX 防止の順に設定します。

■発番号契約を設定する

お知らせ

- オプションの通信ユニットを装着している場合は、手順 2 のあとに、回線選択の画面が表示されます（オプションの装着状況により、表示される回線種別が異なります）。

  例 :G3 通信ユニットを装着している場合

  090 発番号契約
  1. CH1 2. CH2

  テンキーボタンで回線を選択して セット を押すと、手順 3 の画面が表示されます。
- 発番号契約の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

■迷惑 FAX 防止を設定する

6 ②（あり）を押す

・発信者番号を利用した迷惑 FAX 防止機能が設定されます。
例：「②」

```
01 非通知拒否          設定:2
1. なし      2. あり
```

7 セット クリアーを押す

・手順 4 の画面に戻ります。

```
発番号拒否機能（1－5）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

8 手順 5 で④（指定番号拒否）を選択した場合は、⑤を押し、セット 押す

・指定番号登録 (01-30) が選択されます。
・手順5で①～③を選択した場合は、手順 11 に進みます。

```
指定番号登録(01-30)
選択番号（01－30）又は
V、Λを入力してください
```

9 ⓪①～③⓪を選択する または V Λ で選択する

・指定番号拒否が選択されます。

```
指定番号登録
01 _
```

10 受信を拒否する発信者番号を指定する

・まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。
・20 桁まで登録できます。登録できる文字は、0～9 です。

```
指定番号登録
01  12345678_
```

11 セット ストップを押す

・発信者番号を利用した迷惑FAX 機能が設定されます。

お知らせ

● 迷惑 FAX 防止の設定および変更を途中でやめるときは、ストップを押します。

セレクト通信

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているダイヤル番号の下 4 桁と、相手から送られてきたID 番号の下 4 桁を照合し、一致したときだけ送信または、受信します。

セレクト送信

● あらかじめ、セレクト送信する宛先を登録しておいてください。（☞111 ページ）
● 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

1 原稿をセットする

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 ファンクション ⑧ ③ セット を押す

・セレクト送信を選択します。

セレクト送信　　　　設定：1
　1：オフ　　　2：オン

3 ② セット を押す

・セレクト送信がセットされます。

4 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25～35 ページ、39 ページ）。
・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）。

5 スタート を押す

・１回の通信に限りセレクト送信が開始されます。
・相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ送信します。

お知らせ

● システム登録の「045 セレクト送信」の設定（☞143 ページ）を“あり”にしておけば、常にセレクト送信の状態になります。
● セレクト送信の設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● システム登録の「045 セレクト送信」（☞143 ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト送信設定中です”が表示されます。
● セレクト送信を解除するときは、手順 3 で①を押します。
● 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、送信できません。
● 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、送信できません。
● 手動送信をしたときは、相手をセレクトしないで送信します。
● セレクト受信およびセレクト送信を“あり”にすると、ディスプレイに「セレクト送受信設定中です」が表示されます。

セレクト受信

● あらかじめ、セレクト受信する宛先を登録しておいてください。（☞111 ページ）
● 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

4 ② を押す
・“あり”を選択します。

046 セレクト受信 設定:2
1. なし 2. あり

5 セット ストップ を押す
・セレクト受信が設定されます。
・受信が始まると、相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ受信します。

お知らせ

● セレクト受信の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● セレクト受信を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト受信設定中です”が表示されます。
● セレクト受信を解除するときは、手順 4 で ① を押します。
● 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、受信できません。
● 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、受信できません。
● 手動受信をしたときは、相手をセレクトしないで受信します。
● セレクト受信およびセレクト送信を“あり”にすると、ディスプレイに「セレクト送受信設定中です」が表示されます。

優先通信

● 複数の通信予約をしているときに、至急に送りたい原稿を、現在行っている通信の次に割り込んで通信できるよう通信予約できます。

1 原稿をセットする

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ◯ ⑧ ① セット を押す

```
優先通信              設定: 1
   1：オフ      2：オン
```

3 ② セット を押す

・優先通信が指定されます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大1020宛先まで（UF-A700は最大220宛先まで）指定できます。(☛25～35ページ、39ページ)。

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」(☛37ページ)。

```
メモリー送信       宛先数:0001
P a n a s o n i c
短縮：0 0 1 （3桁）
```

5 を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

```
優先通信          受付 No.001
蓄積頁：0 1           11%
P a n a s o n i c
```

● 優先予約の指定を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。

ワンタイム海外通信

海外の相手と通信していて、通信エラーや画面異常になるときに指定してください。

1 原稿をセットする

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑤ セット を押す

・ワンタイム海外通信を選択します。

```
ワンタイム海外通信    設定：1
   1：オフ    2：オン
```

3 ② セット を押す

・ワンタイム海外通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25～35 ページ、39 ページ）

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）

5

を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

お知らせ

● ワンタイム海外通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定期便タイマー通信

あらかじめ定期便タイマーの指定時刻を登録（5 つまでの時刻）しておけば、定期便タイマー送信をセットした時刻から最も近い登録時刻になると自動的に送信が始まります。

● 定期便タイマーは、他の通信予約を含めて最大 50 件まで指定できます。

● 自局情報の「定期便タイマーの登録」（☞158 ページ）をしておいてください。

1 原稿をセットする

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑥ セット を押す

・定期便タイマー通信を選択します。

```
定期便タイマー通信    設定：1
   1：オフ    2：オン
```

3 ② セット を押す

・定期便タイマー通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25～35 ページ、39 ページ）。

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37ページ）。

5 スタート を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

6 定期便タイマー通信がセットされる

・一番近い登録時刻になると、自動的に定期便タイマー通信を開始します。

お知らせ

● 定期便タイマー通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 指定した定期便タイマー通信を消去するときは、「通信予約の消去」（☞91 ページ）をしてください。

● 指定した定期便タイマー通信の内容を確認するときは、「通信予約の確認」（☞88 ページ）をしてください。

メモリー受信

ファクスを受信したとき、すぐに用紙にプリントしないでメモリーに蓄積しておくことができます。

メモリー受信の設定

お知らせ

● メモリー受信の設定を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。

メモリー受信を設定しているとき

メモリー受信する

・相手からのダイヤルで、自動的に受信が始まります。

7月 1日（金）17:15 05%
通信とコピーができます
受信データが残っています

お知らせ

● メモリーには、A4 標準原稿（A4 サイズ 700 字程度の原稿）で UF-A800 は約 360 枚まで、UF-A700 は約 120 枚まで受信できます。
● 手動受信をしたときでも、原稿はメモリーに保存されます。
● メモリー受信の設定を“あり”にするとシステム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」の変更ができなくなります。（☞ 143 ページ）

メモリー受信の解除

1 ファンクション ○ ⑧ ⑦ セット を押す

メモリー受信　　　　設定：2
1：なし　2：あり　3：ﾌﾟﾘﾝﾄ

2 ① セット を押す

・メモリー受信が解除されます。

お知らせ

- メモリーに受信した原稿が蓄積されているときは、メモリーの内容をプリントしてからメモリー受信を解除します。
- システム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」でパスワードの登録をしているときは、手順 2 のあとにパスワードを入力してください。

メモリー受信のプリント

メモリー受信した原稿をプリントします。

1 メモリー受信をしたとき

7月　1日（金）17:15　05%
通信とコピーができます
受信データが残っています

2 ファンクション ○ ⑧ ⑦ セット を押す

メモリー受信　　　　設定：2
1：なし　2：あり　3：ﾌﾟﾘﾝﾄ

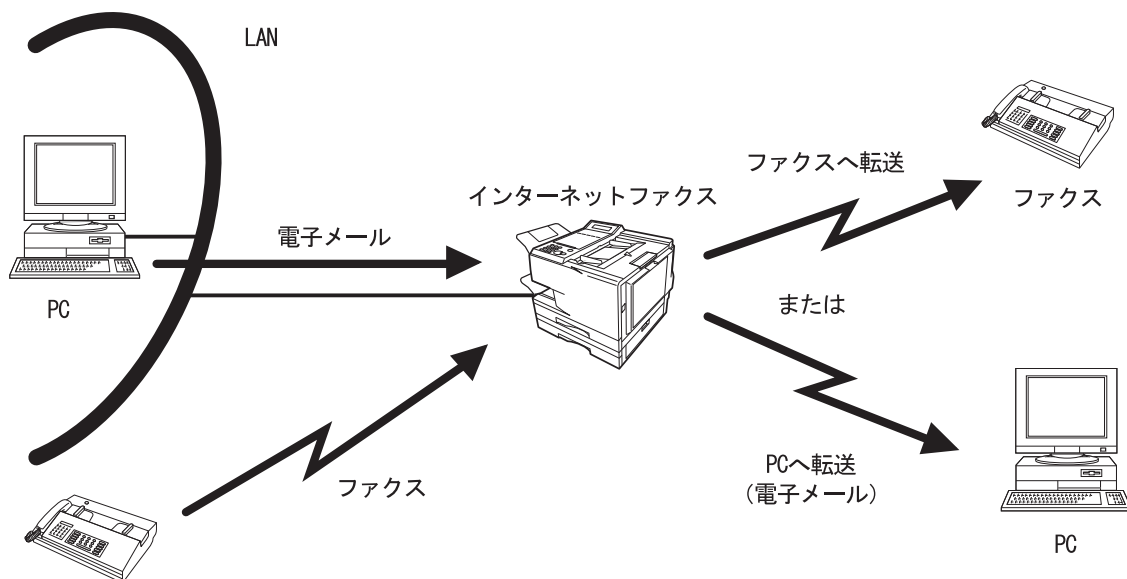
3 ③ セット を押す

・メモリー受信した原稿をプリントします。
・プリントが終わるとメモリーの内容は消去され、
　メモリー受信設定中の画面に戻ります。

お知らせ

- メモリー受信の解除およびプリントの設定を途中でやめるときは ストップ を押してください。
- メモリー受信のプリントで、プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。
- システム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」でパスワードの登録をしているときは、手順 3 のあとにパスワードを入力してください。

メモリー転送

一般回線用ファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信した電子メールが転送できます。
また宛先としては、メールアドレスか電話番号のどちらかが登録できます。

メモリー転送の設定

1 ファンクション ○ ⑦ ④ セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

システムの登録 (001-137)
Ｎｏ．＝_ （３桁）

3 メモリー転送を選ぶ
⓪⑤④ セット を押す

054 メモリー転送 設定：1
1．なし 2．あり

4 “あり”を選ぶ
② を押す

054 メモリー転送 設定：2
1．なし 2．あり

5 セット を押す

054 メモリー転送先の指定
宛先を指定してください

6 宛先を指定する

・短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルで指定できます。
例：「短縮ダイヤル 001」

054 メモリー転送先の指定
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（3 桁）

7 セット を押す

・着信ポートの指定をします。
例：①〜③で指定します「選択画面例」

054 着信ポートの指定
1．外線 2．内線
3．指定なし

8 メモリー転送時間帯の指定をする

054 メモリー転送時間帯の指定
1．なし 2．あり

9 メモリー転送時間帯の指定をしない時は①を押す

・指定する時は②を押して、開始時刻と終了時刻を入力し セット を押します。

054 自端末出力の指定
1．なし 2．あり

10 **自端末出力の指定をしない時は①を押す**

・指定する時は②を押します。

065 正順プリント　　設定：2
1．なし　　2．あり

11 **ストップ を押す**

お知らせ

- メモリー転送の設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 手動受信した原稿は転送せずにプリントします。
- メモリー転送が設定されているときは、待機画面に「メモリー転送通信設定中です」と表示されます。

**メモリー転送をセットしているとき
ファクスまたは電子メールを受信すると**

メモリー転送設定中 → ファクスまたは電子メールを受信する → 受信が終わる → 登録されている転送先へ受信した原稿または電子メールの送信を始める

お知らせ

- メモリー受信中にメモリーがいっぱいになった場合は、メモリーに受信できたページまでを転送します。
- 転送先が話し中などでつながらなかったときは、通信結果レポートと受信した原稿をプリントします。
- メモリー容量が約 98%以上のときは、送信されても呼出音を鳴らすだけで受信できません。インターネット ＦＡＸ オプションをお使いの場合、インターネットからの送信の場合は呼出音は鳴りません。

メモリー転送の解除

1 ファンクション ⑦④ セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
＿

2 **管理者パスワードを入力し、セット を押す**

システムの登録　(001-137)
Ｎｏ．＝＿　　(３桁)

3 **メモリー転送を選ぶ**
⓪⑤④ セット を押す

054 メモリー転送　　設定：2
1．なし　　2．あり

4 **“なし”を選ぶ**
①を押す

054 メモリー転送　　設定：1
1．なし　　2．あり

5 **セット を押す**

065 正順プリント　設定：2
1．なし　　2．あり

6 **ストップ を押す**

お知らせ

- メモリー転送の解除を途中でやめるときは、ストップを押してください。

通信予約の確認と消去

タイマー通信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約の確認

● 通信予約の内容をディスプレイに表示させて確認できます。また、通信予約をレポートにしてプリントすることもできます。

1 ファンクション ⑨ ① セット を押す

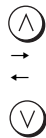
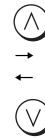
・通信予約の確認を選択します。

2 ② を押す

3 ∨ または ∧ を押す

・∨ または ∧ を押すたびに画面が切り替わり、予約している通信や未通信の内容が表示されます。
・未通信のときには、「再通信待ち」が表示されます。

（例）

4

を押す

・通信予約の確認を終了します。

お知らせ

● 通信予約の確認を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 手順２で①を押すと、通信予約をレポートにしてプリントできます。
● 手順１で「ピピピ」と鳴り、“予約ファイルがありません”と表示されたときは、通信予約されている内容がありません。
● 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● プリントが始まってからストップを押しても、プリントは止まりません。

お知らせ

● 通信の種類には、送信などの通信名のほか、次の内容が表示されます。
- ・タイマー通信予約中（時刻指定中、定期便指定中）
- ・FAX 中（発呼待、通信中）
- ・ダイヤル待ち（再ダイヤル待ち、予約中）

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1 ファンクション ⑨ ② セット を押す
・時間・宛先変更を選択します。

```
時間・宛先変更
受付 No. または　∨　∧
受付 No.=＿　（３桁）
```

2 変更する受付 No. を指定する、または ∨ 、∧ を押して変更するファイルを選択する
・受付 No.（3 桁）を指定してファイルを選ぶこともできます。
・∨ または ∧ を押して、現在予約している通信の内容を表示します。
・受付 No. をまちがえたときは、クリアー を押して、入れ直します。

例：「受付 No.001 を指定」

```
時間・宛先変更
受付 No. または　∨　∧
受付 No.= ０ ０ １（３桁）
```

または

例：「∨ ∧ で選択」

```
メモリー送信　　受付 No.001
時刻指定中
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
```

3 セット を押す
・予約時刻が表示されます。

```
メモリー送信　　受付 No.001
予約時間を指定してください
１０：００
```

4 変更する時刻を入れ、セット を押す
・例：午後 10 時 30 分に変更する場合
・② ② ③ ⓪ セット を押します。
・時刻は 24 時間制で入れます。
・まちがえたときは、クリアー を押して、入れ直します。
・予約時刻を変更しないときは、何も入力しないで セット を押します。

```
メモリー送信　　宛先数 :0002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

5 複数の宛先を指定している場合は、∨ または ∧ を押して変更する宛先を表示する
・宛先を変更しない場合は、手順 8 へ進みます。
・宛先の追加のみの場合は、手順 7 へ進みます。
・指定している宛先が 1 宛先の場合は手順 6 へ進みます。

6 クリアー を押して、表示されている宛先を取り消す
・複数の宛先を取り消すときは、手順 5 からの操作を繰り返します。

```
メモリー送信　　宛先数 :0001
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：０ ０ １（３桁）
```

7 変更または追加する宛先を入れる

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・ 宛先は、すでに指定されているものと合わせて最大 1020 件まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞39 ページ）
・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）
・ 宛先を変更または追加しないときは、何も入れないで手順 8 へ進みます。

8

を押す

・ 通信予約の内容が変更され、待機状態に戻ります。

通信予約の消去

● 予約した通信の内容を消去できます。

1 ファンクション ⑨ ③ セット を押す
・ 通信予約の消去を選択します。

```
通信予約の消去
受付 No. または　∨　∧
受付 No.=＿　　（3 桁）
```

2 消去する受付 No. を指定する、または ∨ 、∧ を押して変更するファイルを選択する

・ 3 桁の受付 No. を指定します。まちがえたときは、クリアー を押して、入れ直します。
・ ∨ または ∧ を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例：「受付 No.001 を指定」

```
通信予約の消去
受付 No. または　∨　∧
受付 No.= 0 0 1（3 桁）
```

または

例：「∨ ∧ で選択」

```
メモリー送信　　　受付 No.001
時刻指定中
P a n a s o n i c
```

3 セット を押す

```
メモリー送信　　　受付 No.001
通信予約の消去を行いますか
1．はい　　　2．いいえ
```

4 ① を押す
・ 指定した受付 No. の通信予約を消去します。
・ 消去しないときは、② を押します。

```
メモリー送信　　　受付 No.001
消去しました
```

● 通信予約の消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☞88 ページ）

便利な機能の使い方

指定通信予約レポートのプリント

受付 No. を指定して通信予約レポートをプリントできます。レポートには、通信を指定した原稿が付加されます。

1 ファンクション ⑨ ④ セット **を押す**

```
指定通信予約レポート
受付 No. または  ∨  ∧
受付 No.= __    （3 桁）
```

2 プリントする受付 No. を指定する、または∨、∧を押してプリントするファイルを選択する

・3 桁の受付 No. を指定します。まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。

・∨または∧を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例

```
メモリー送信        受付 No.001
定期便指定中
総務部
```

3 セット **を押す**

・指定した受付 No. の通信予約レポートをプリントします。

```
指定通信予約レポート
プリントしています
```

お知らせ

● 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。

● 手順 3 で受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください（☞88 ページ）。

未達宛先再通信の指定

未通信となった、最新 10 通信までをメモリーに保持し、受付 No. を指定して、もう一度通信することができます。

● システム登録の「031 未送信ファイル保存」の設定が“あり”になっていないと、未通信の内容はメモリーに保存されません。（☛142 ページ）

■未達宛先再通信の個別指定

● 未通信になった通信から、受付 No. を指定して再通信します。

1 ファンクション ⑨ ⑥ セット **を押す**

未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.= __ （3 桁）

2 **テンキーボタンまたは∨、∧で受付No.を指定する**

・3 桁の受付 No. を指定します。
・まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。
・∨または∧を押すと、未達宛先に予約されている通信の内容が表示されます。
例

未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.= 001 （3 桁）

3 スタート **を押す**

・再通信がセットされます。
・宛先へダイヤルし、再通信を開始します。

受付 No.001 で受け付けました
蓄積頁：03
大阪支店

お知らせ

● 再通信の指定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛88 ページ）
● 未通信が 10 通信以上になると、一番古い通信から消去されます。そのとき、通信結果レポートをプリントしてメモリーから消去された内容をお知らせします。

■未達宛先再通信の全指定

メモリーに保存されている未通信を、すべて再通信します。

1 ファンクション ⑨ ⑥ セット **を押す**

未達宛先再通信
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.= __ （3 桁）

2 ⊛ ⊛ ⊛ セット **を押す**

・未達宛先再通信の全指定をします。

全宛先再送信しますか
1．はい　　2．いいえ

3 ① **を押す**

・未達宛先再通信に登録されている全宛先の再通信がセットされる。

全宛先再通信受け付けました

便利な機能の使い方

受信データの強制出力

システム登録の「066 代行出力」を"なし"にしているときは、相手が送信した原稿サイズに適応する用紙が無くなっていると、受信した原稿はプリントされないでメモリーに保存します。
次の操作をすると、メモリーに保存されている原稿を強制的にプリントすることができます。

■メモリーに受信データが残っているとき

次の内容が表示されます。

```
  7月  1日（金）17:15  20%
通信とコピーができます
受信データが残っています
```

1 ファンクション ⑨⑦ セット を押す

・メモリーに保存されている受信データの情報が表示されます。

```
受付 No. 0 8 0     1 ：強制出力
10-10 13:15     受信頁数：0 1
P a n a s o n i c
```

2 ①を押す

・受信データを強制出力する。

```
受信データの強制出力
プリントしています
```

お知らせ

- 受信データの強制出力の設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
- プリントが始まってからストップを押しても、プリントは止まりません。
- 複数の受信データがあるときは、一番最初に代行受信したものしか選択できません。

手動ファイル転送

代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。

1 ファンクション ⑨⑧ セット を押す

```
手動ファイル転送  宛先数: 0000
宛先を指定してください
```

2 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。（☞25～35 ページ、39 ページ）。

・「ダイヤル再入力と宛先確認のしかた」（☞37 ページ）。

3 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、受信データの転送を始めます。

お知らせ

- 手動ファイル転送の設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- ファンクション登録ボタンに手動ファイル転送の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞125 ページ）

IP電話サービスを使って送信する

ご利用上の留意点

● **プロバイダが提供するIP電話サービスのご契約が必要です。**
ご利用になるプロバイダが、「IP電話対応機器」に対応したIP電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

● **IP電話サービスのサービス内容は各プロバイダごとに異なります。**
- IP電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なりますので、各プロバイダにご確認ください。
- IP電話サービスから発信できる番号も各プロバイダにより異なります。
- 「IP電話対応機器」をご利用のお客さまどうしでも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP電話サービスとして通話することができない場合がありますのでご注意ください。

● **一般加入電話回線を接続しない場合は、110番などについてはつながりません。**
- 110番や118番、119番の電話番号へは、自動的に加入電話回線から発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。
- ご契約されたIP電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、加入電話回線から発信してください。

IP電話サービスから発信する際は、以下の表をよくご確認ください。

設定状況		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例：03-1234-5678 06-1234-5678	IP電話サービスから発信できます。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX *	IP電話サービスから発信できます。
0X0（050以外）	例：携帯電話（090）、PHS（070）、国際電話（010）など	ご契約されたIP電話サービスのサービス内容によります。詳しくは各社の IP 電話サービスのサービス内容をご確認ください。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】 IP電話サービスから発信します。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】 一般加入電話回線から発信してください。
00XY	例：0036などで始まるダイヤル	
0XY0（市外局番以外）	例:0120、0570などで始まるダイヤル	
その他のダイヤル（110、118、119以外）	−	
110、118、119	110、118、119の緊急通話	自動的に一般加入電話回線から発信します。

＊:「184＋電話番号」および「186＋電話番号」を含みます。

● IP電話サービスについては、お使いのIP電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
● オプションのハンドセットユニットまたは外部電話機をお使いになると、IP電話サービスを使って音声通話もできます。

● **IP 電話サービスから発信できない／発信したくないときは**

・ ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合、または IP 電話サービスから発信したくない場合は一般加入電話回線から発信してください。この場合は、システム登録の「124 プレフィクス機能」を“あり”に設定し、一般加入電話回線からの発信にしてください。（☛99 ページ）

● **発信者番号通知についてご確認ください。**

・ IP 電話サービスどうしの通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。（「184 ＋電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。）
・ 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

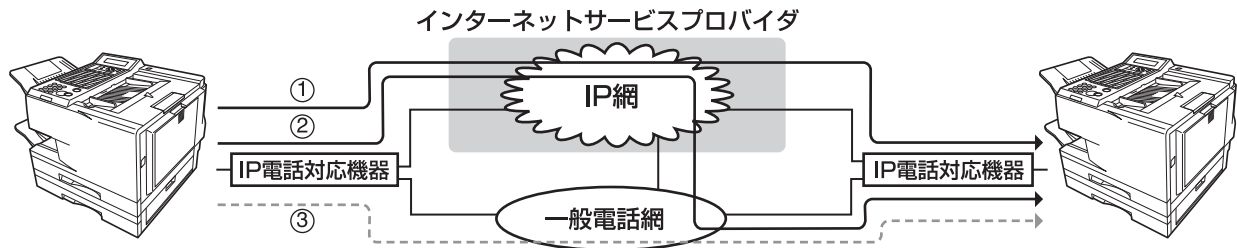
お知らせ

● 下記のような場合には、IP 電話の通話品質が劣化したり、ファクス通信が困難な場合があります。

・ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
・IP 電話対応機器に接続されているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

IP 電話サービスを利用して送信する

IP 電話対応機器を設置しているときは、特別な操作をしなくても IP 電話サービスを利用してファクスを送ったり、電話をかけたりすることができます。また、インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、リルート機能とプレフィクス機能により自動的に一般加入電話回線に切り替えて通信できるように設定することができます。

● リルート機能を使って送信する
システム登録の「123 リルート機能」と「124 プレフィクス機能」を設定することにより、インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合でも、自動的に発信方法を切り替えて通信します。

① ＩＰ電話→ ＩＰ電話 .... ワンタッチ / 短縮ダイヤルに IP 電話番号が登録されている場合
② ＩＰ電話→一般電話
③ 一般電話→一般電話

＜送信の流れ＞
1. IP 電話から IP 電話への送信の送信方法①でファクスを送ります。（ワンタッチ／短縮ダイヤルに IP 電話番号が登録されていない場合は、ご利用できません）
2. 通信エラーにより送信方法①で送ることができなかった場合は、自動的に送信方法②でファクスを送り直します。
3. 通信エラーにより送信方法②でも送ることができなかった場合は、自動的に送信方法③でファクスを送り直します。

●ファクスがどの回線を使って送信されたかを通信管理レポート（☞101 ページ）で確認できます。

[プレフィクス機能]
システム登録の「124 プレフィクス機能」で、プレフィクス番号を入力し、設定を“あり”にしているときご利用になれます。0 ～ 9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、最大 20 桁まで登録できます。(“あり”のときは信号の流れは③となります)

(付与できる番号例)
0000 :「IP 電話対応機器」を使用しているとき、続けてダイヤルすると相手先電話番号へ一般加入電話回線から発信します。

(「0000」は例です。一般加入電話回線への切り替え番号は、各ご契約電話会社へご確認ください)

[リルート機能]
システム登録の「123 リルート機能」が“あり”に設定されてるとき、①～③のいずれかの送信方法で自動的に通信回線を切り替えてダイヤルをし直し、ファクスを送信します。ファクス送信は①の方法で送信を開始し、送信できなかったときは、②、③と順次送信方法を切り替えてファクスを送信します。

システム登録の「124 プレフィクス機能」のプレフィクス番号には、一般加入電話回線への切り替え番号を登録し、“あり”“なし”の設定を“なし”に設定します。

リルート機能を“あり”に設定すると、ワンタッチまたは短縮ダイヤルに 2 つの番号が登録できます。

97 ページの動作は、初めのダイヤル設定に一般電話番号、次の IP ダイヤル登録に IP 電話番号が、登録されていることを前提としています。
初めのダイヤル登録(一般電話番号)のみまたは、直接ダイヤルの場合は②の方法で送信し、送信できなかったときは③の方法に発信方法を切り替えてファクスを送信します。

リルート機能の設定／プレフィクス番号の登録

6 ①（プレフィクス機能を使わない） セット
または
②（プレフィクス機能を使う） セット

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 「124 プレフィクス機能」を“あり”にすると、「123 リルート機能」の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発呼します。
常に、一般加入電話回線からの発信となります。

電話番号／IP 電話番号の登録

システム登録の「123 リルート機能」を“あり”に設定すると、1 つのワンタッチまたは短縮ダイヤルに一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ワンタッチに登録するときは ① を選択する
短縮番号に登録するときは ② を選択する
例：「①」

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください
```

3 例：01 さ を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_                    外線
```

4 電話番号を入力する（最大 52 桁）
例：「396111123」

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
396111123_           外線
```

5 セット を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：01
IP ダイヤルを登録してください
_
```

6 IP 電話番号を入力する（最大 52 桁）
例：「0501234567890」

```
ワンタッチダイヤル登録：01
IP ダイヤルを登録してください
0501234567890_
```

7 セット を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：01
宛先名を登録してください
__
```

8 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 20 桁）
例：「営業部」を入力します（☛146 ページ）。

```
営業部__
  入力モード：かな漢
■
```

9 セット を押す
宛先名が登録されます。宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの、検索文字として表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：え
```

10 検索文字を確認して セット を押す
検索文字が登録されます。
特殊通信機能の登録が選べます。
特殊通信機能の登録をする
（☛116 ページ）

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい      2．いいえ
```

11 ② を押す
続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をしてください。

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください
```

12 ストップ を押す
待機状態に戻ります。

レポートのプリント

通信管理レポートのプリント

送信および受信の結果をレポートにしてプリントします。

1 ファンクション ⑥ ① セット を押す

通信管理レポート
1．通信管理レポートの出力
2．通信管理レポートの確認

2 ① を押す

・通信管理レポートのプリントを開始します。

通信管理レポート
プリントしています

01頁
UF-A800 Ver V00000

通信管理レポート

Panasonic

11年07月01日17時15分

＊ 送 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	001	07-01 15:15	123	00／01	送 信	00:00'15		G3外	停止SW
02	003	07-01 15:23	03-3123-4567	01／01	送 信	00:00'15	10	G3外	良 好

＊ 受 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	料金	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	002	07-01 15:15		01	受 信	00:00'24		G3外	良 好
02	005			01	受 信	00:00'33		G3外	良 好
				01	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信	00:00'22	10	G3外	良 好
					受 信	00:01'06		G3外	良 好
						00:00'50		G3外	

お知らせ

- 通信管理レポートのプリントを指定すると、40通信分の結果をレポートにしてプリントします。
- システム登録の「013 通信管理レポート」（☞142ページ）の設定をすれば、40通信分ごとにレポートを自動出力することができます。
- 通信管理レポートのプリントを途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順2で②を押すと、通信管理レポートの内容をディスプレイに表示させて確認できます。∨ ∧ で画面が切り替わり、送信および受信の結果を確認できます。
- 状況に「良好1」「良好2」「良好3」と表示されたときの結果によって次の送信が行われたことを確認できます。

  「良好1」：IP回線を使って通信完了
  「良好2」：IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了
  「良好3」：PSTN-PSTNを使って通信完了

通信受付レポートのプリント

メモリー通信を受け付けるたびに、受付内容を表すレポートをプリントできます。
システム登録の「014 通信受付レポート」の設定（☛142 ページ）を“あり”に設定する必要があります。

01頁
UF-A800　Ver　V00000

通 信 受 付 レ ポ ー ト

Panasonic

11 年07月01日11時26分

受付番号	受付日時	通信種別	処理状況	指定時刻	パスワード
013	07-0111:26	送　信	時刻指定中	17:00	
	宛先　(0001カ所)				
	直接：(外線　)0334919191				

Panafax

OPENING NEW LINES OF COMMUNICATION.

お知らせ

● プリントした通信受付レポートに送信を指定した原稿を付加します。

通信結果レポートのプリント

通信するたびに、通信結果の内容を表すレポートをプリントすることができます。

■通信結果レポートのプリント

お買い上げ時の設定では、結果レポートは未通信になったときだけプリントされます。

01頁
UF-A800 Ver V00000

通信結果レポート

Panasonic

11年07月01日17時24分

＊＊＊ 未通信があります。＊＊＊

受付番号：012
受付日時：07月01日17時15分
完了日時：07月01日17時24分

お知らせ

- システム登録の「012 通信結果レポート」（☞142 ページ）の設定により、通信結果レポートのプリント方法を選択することができます。
- プリントした通信結果レポートに、送信を指定した原稿を付加します。

リストのプリント

ダイヤルリストのプリント

ワンタッチ・短縮リスト：ダイヤル番号を登録した内容をプリントします。
電話帳リスト：ダイヤル番号を登録した内容を、検索文字の順番にリストにしてプリントします。

1 ファンクション ⑥ ② セット を押す

ダイヤルリスト
1．ワンタッチ・短縮リスト
2．電話帳リスト

2 ①または②を押す

・ダイヤルリストのプリントを開始します。

01頁
UF-A800 Ver V00000

Panasonic
11年07月01日17時15分

ワンタッチ・短縮リスト

ﾜﾝﾀｯﾁ・短縮番号		登録名称／電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
<01>	[ま]	Panasonic					
<02>						1234567	送信(03)
						1234599	受信(02)

01頁
UF-A800 Ver V00000

Panasonic
11年07月01日17時15分

電話帳リスト

■検索文字 【え】

ﾜﾝﾀｯﾁ・短縮番号		登録名称／電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
001	[え]	A商事株式会社		22(02)	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ	1234567	送信(03)
		(外線)0331234567			(代行宛先)	短縮：199	受信(02)

■検索文字 【し】

ﾜﾝﾀｯﾁ・短縮番号		登録名称／電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
003	[し]	C商事株式会社		22(02)	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ	1234567	送信(04)
		(外線)0661234567					

■検索文字 【て】

ﾜﾝﾀｯﾁ・短縮番号		登録名称／電話番号	料金	識別番号	中継指定	指定番号	指定部数
005	[て]	T産業株式会社	180.0秒				
		(外線)0867123456			(代行宛先)	短縮：180	

お知らせ

● ダイヤルリストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタッチリストのプリント

ワンタッチ、ファンクションに登録したグループダイヤル、プログラム、ファンクションの内容をリストにしてプリントします。

2 ①～④で選択する
または∨ ∧で選択し、セットを押す

- ①：グループダイヤルリスト
- ②：プログラムリスト
- ③：ファンクションリスト
- ④：全ワンタッチリスト

ワンタッチリストのプリントを開始します。

お知らせ

- ワンタッチリストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。

システム登録リストのプリント

システム登録で設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ◯ ⑥ ④ セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
＿

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

・システム登録に設定されている内容がプリントされます。
・プリント終了後、待機状態に戻ります。

システム登録リスト
プリントしています

01頁
UF-A800　Ver　V00000

Panasonic

11年07月01日17時15分

システム登録リスト

						現在の設定	（標準設定）
001	原稿濃淡		(1:ふつう	2:こく	3:うすく)	1	1
002	文字サイズ		(1:ふつう	2:小さい	3:細密)	1	1
003	ハーフトーン		(1:なし	2:きれい	3:はやい)	1	1
004	済みスタンプ		(1:なし	2:あり)		2	2
005	送信メモリー優先		(1:なし	2:あり)		2	2
006	ダイヤル切替	外線	(1:PB	2:10pps	3:20pps)	1	1
		内線	(1:PB	2:10pps	3:20pps)	1	1
007	発信元印字		(1:なし	2:原稿外	3:原稿内)	3	3

お知らせ

● システム登録リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

自局情報リストのプリント

自局情報に設定した内容をリストにしてプリントします。

01頁
UF-A800 Ver V00000
Panasonic
11年07月01日17時15分

自 局 情 報 リ ス ト

発信元情報 : Panasonic

外線1数字ID : 0334919191

お知らせ

● 自局情報リストのプリントの設定を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。

F コード通信リストのプリント

F コード通信に設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ◯ ⑥ ⑥ セット を押す

・F コード通信に設定されている内容がプリントされます。

F コード通信リスト
プリントしています

01頁

UF-A800　Ver　V00000

Panasonic

11 年 07 月01日17時15分

F コ ー ド 通 信 リ ス ト

ボックス番号	ボックス名称	サービス名	付加サービス	
01	親展ボックス	親展ボックス	暗証番号	：＊＊＊＊＊
			サブアドレス	：12345678901234567890
			パスワード	：12345678901234567890
			セレクト番号	：短縮：100
			受付ﾚﾎﾟｰﾄ出力	：あり

お知らせ

● F コード通信リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。

ユーザー管理リストのプリント

ユーザー別管理をセットしているとき、設定したユーザーの内容をリストにしてプリントしたり、ユーザーごとの通信管理などのレポートをプリントできます。
ユーザー別管理をしているときファクスを使う（☞140 ページ）の操作のあと使用できます。

1 ファンクション ◯ ⑥ ⑦ セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

ユーザー管理リスト
1．ユーザー設定リスト
2．ユーザー別管理レポート

3 ①または②を押す

・1：ユーザーの設定内容リスト
・2：ユーザーごとの通信管理などのレポート
ユーザー管理リストのプリントを開始します。

01頁
UF-A800　Ver　V00000
Panasonic
11 年 07 月01日17時15分

ユーザー設定リスト

ﾕｰｻﾞｰ番号	ﾕｰｻﾞｰ名称	ボタン番号	パスワード
01	開発1課		＊＊＊＊＊
02	開発2課		＊＊＊＊＊
03	開発3課		＊＊＊＊＊
04	開発4課		＊＊＊＊＊

01頁
UF-A800　Ver　V00000
Panasonic
11 年 07 月03日17時15分

ユーザー別管理レポート

1. 集計期間　:　11年07月01日20時58分　～　11年07月03日17時15分

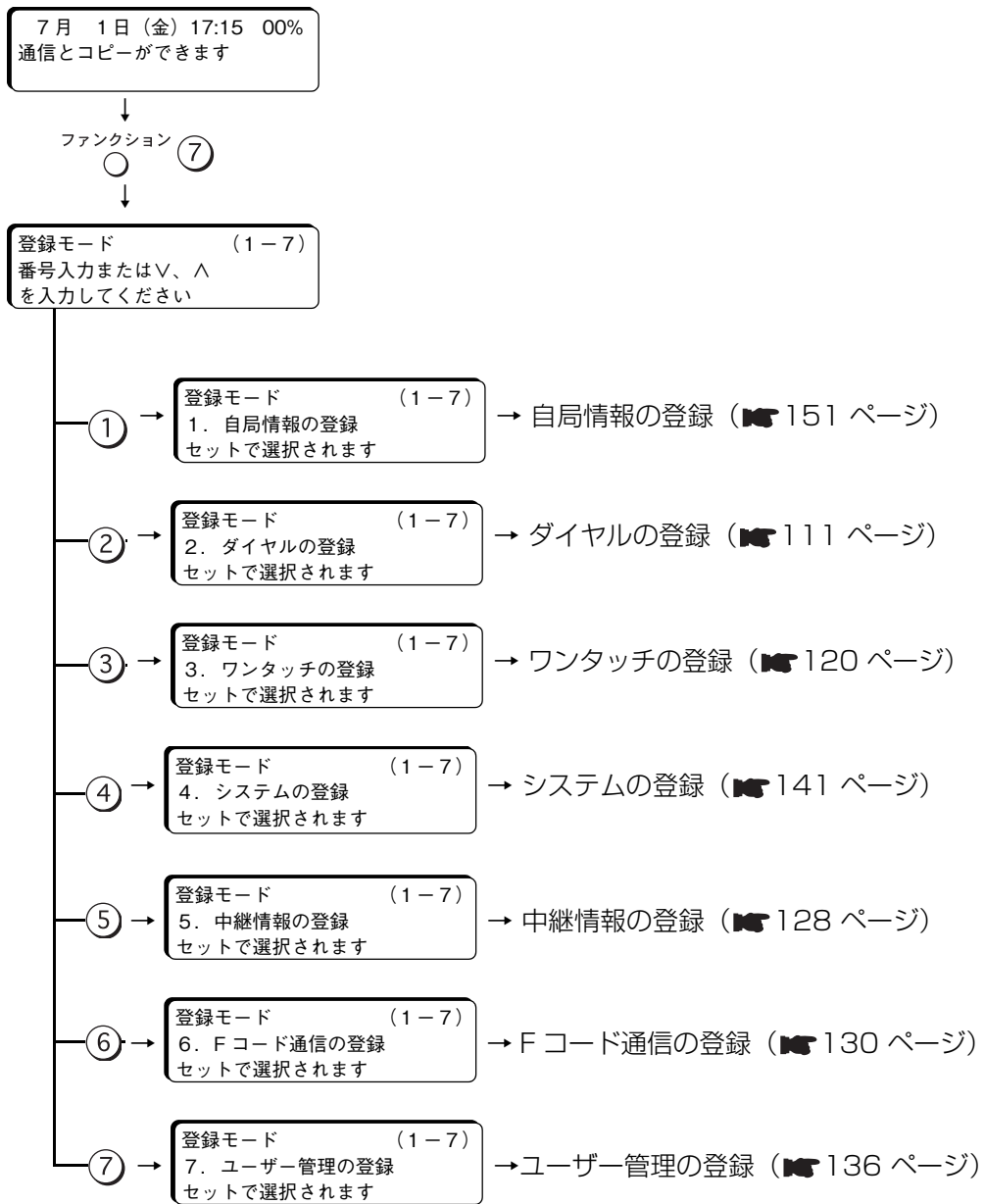
2. 時刻指定

指定時刻

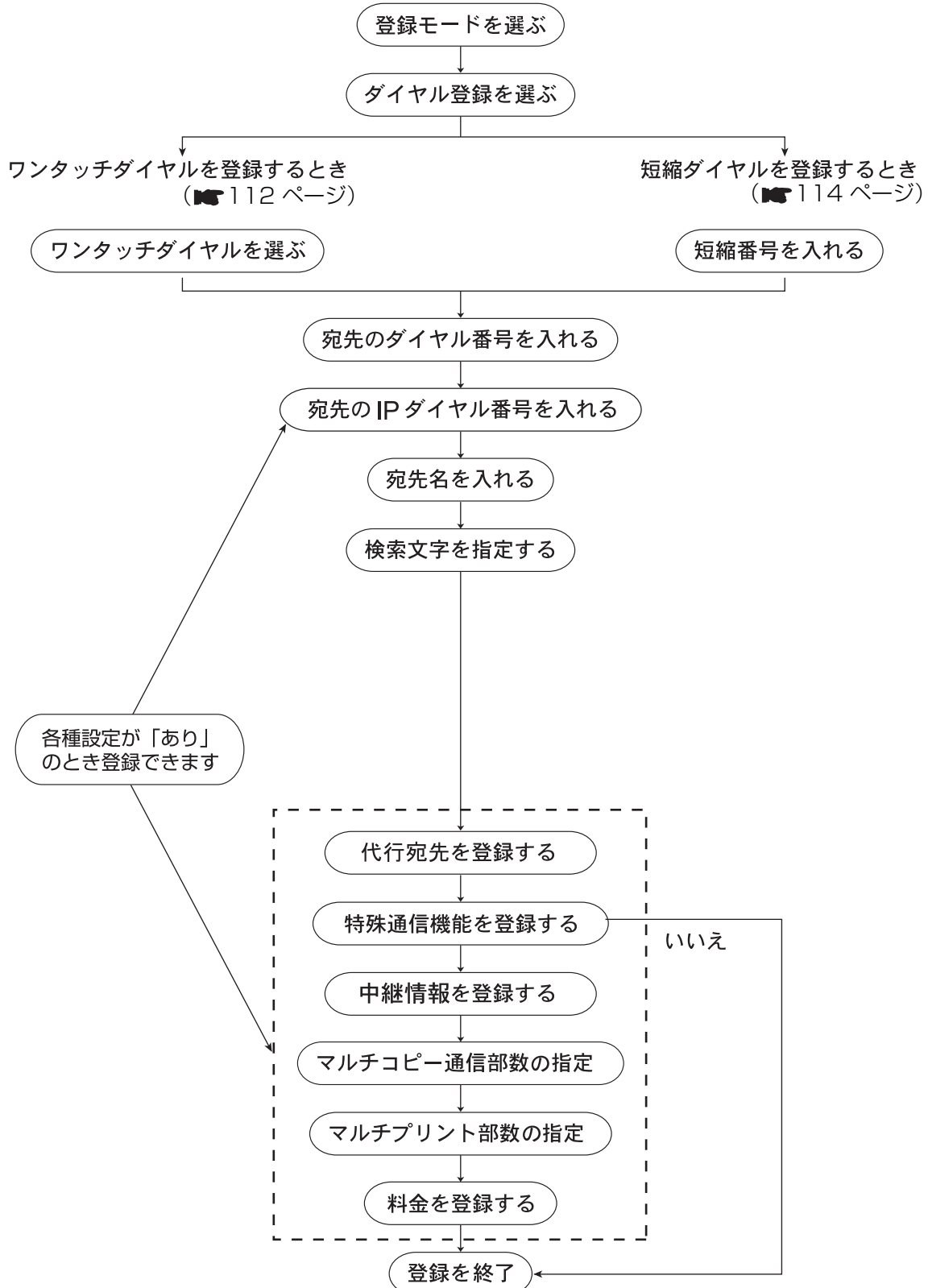
お知らせ

● ユーザー管理リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

登録操作フロー

次のボタン操作をして、それぞれの登録をします。

ダイヤルの登録

ダイヤル登録操作フロー

ダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）や短縮ダイヤル（000 ～ 999）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。

● ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、（ストップ）を押します。

ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット **を押す**

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ①**を押す**

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

3 ワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示される。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、
Ⓥ Ⓐ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_ 外線

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

・まちがえた場合は、< > を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例：「0334952973」

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
0334952973_ 外線

5 セット **を押す**

・ダイヤル番号が登録されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
宛先名を登録してください
_

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・「文字入力のしかた」（☛146 ページ）

東京本社_
入力モード：かな漢
■

7 セット **を押す**

・宛先名が登録されます。
宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：と

8 検索文字を確認して セット **を押す**

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛144 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

代行宛先を登録してください
短縮：__ （3桁）

9 代行宛先を入れて セット **を押す**

・特殊通信機能の登録が選べる。
（☛116 ページ
「特殊通信機能の登録」）

特殊通信機能を登録しますか
1．はい 2．いいえ

10 ②**を押す**

・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。
手順 3 からの操作をします。

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

11

を押す

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（－）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 52 桁です。
- トーンを押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル／ポーズを２回押して約７秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に 50 音以外の文字を登録したときは、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順８でセットを押す前に、ワンタッチダイヤル F1（あ）～F10（こ）、01（さ）～ 38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号を3桁の短縮番号（000～999）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ② を押す

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0000
短縮番号を指定してください
短縮：＿　　（3桁）
```

3 **短縮番号（000～999）を押す**

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。

・まちがえた場合は、∨ ∧ を押し、ほかの短縮番号を選べます。

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
ダイヤルを登録してください
＿　　　　　　　　　外線
```

4 **宛先のダイヤル番号（最大52桁）を入れる**

・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、＜ ＞ を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例：「0334919191」

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
ダイヤルを登録してください
0334919191_　　　　外線
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
＿
```

6 **宛先名（最大20文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（☞146ページ）

```
東京本社＿
　入力モード：かな漢
■
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
検索文字を入力してください
検索文字：と
```

8 **検索文字を確認して セット を押す**

・検索文字が登録されます。

・システム登録の「107 代行宛先通信」（☞144ページ）の設定が"あり"の場合、登録できます。

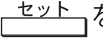
```
代行宛先を登録してください

短縮：＿　　（3桁）
```

9 **代行宛先を入れて セット を押す**

・特殊通信機能の登録が選べます（☞116ページ「特殊通信機能の登録」）。

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい　　　2．いいえ
```

10 ② を押す

・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順3からの操作をしてください。

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0001
短縮番号を指定してください
短縮：＿　　（3桁）
```

11

を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大52桁です。
- トーン を押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- 国際ダイヤル通話をご利用の場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NCC回線をご利用の場合は、NCC回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を２回押して約７秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字を登録したときは、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順８で セット を押す前に、ワンタッチダイヤルF1（あ）〜F10（こ）、01（さ）〜38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

特殊通信機能の登録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに「中継情報」などの特殊通信機能を登録することができます。

- 「中継情報」を登録したいときは、あらかじめ、システム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を"あり"にしておいてください（☞144 ページ）。
- 特殊通信機能について、詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

1 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録の手順 9 までの操作をする（☞112 ページ、114 ページ）

```
特殊通信機能を登録しますか

1．はい　　　2．いいえ
```

2 ①を押す

```
中継情報を登録しますか
1．中継機　　　2．中継機以外
3．いいえ
```

3 中継機の種類を選ぶ

・①：宛先が中継親局のときに選びます。

・②：宛先が中継親局を経由した相手のときに選びます。

・③：のとき→手順 10 へ進みます。

例：「2」

```
中継機識別番号を
登録してください
__　　（2 桁）
```

4 中継機識別番号（2 桁）を指定し、［セット］を押す

・2 桁の識別番号を指定します。

・手順 3 で①を選択した場合、手順 8 へ進みます。

・まちがえたときは、［セット］を押す前に［クリアー］を押して、指定し直します。

```
中継指示宛先の登録
1．短縮　　　2．内線
3．直接
```

5 中継親局からのダイヤル方法を選ぶ

・①：中継親局に登録されている短縮番号を使ってダイヤルします。

→手順 6 へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
短縮番号を指定してください
__　　　　　　（7 桁）
```

・②：中継親局の内線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている中継指示の内線番号へダイヤルします。

→手順 6 へ進みます。

```
中継指示宛先の登録
内線番号を指定してください
__　　　　　　（7 桁）
```

・③：中継親局の外線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている番号をダイヤルします。

→手順 8 へ進みます。

```
2 次中継機識別番号を
登録してください
__　　（2 桁）
```

6 中継親局からダイヤルする番号を指定する

・手順５で①を選んだときは、中継親局に登録されている短縮番号を指定します。

・手順５で②を選んだときは、中継親局からダイヤルする内線番号を指定します。

7 セット を押す

・２次中継機識別番号を指定しないときは、セット を押して手順９へ進みます。

```
２次中継機識別番号を
登録してください
＿　　（２桁）
```

8 ２次中継機識別番号（２桁）を指定します

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「10」

```
２次中継機識別番号を
登録してください
１０　（２桁）
```

9 セット を押す

```
マルチコピー通信部数の指定

部数：０１　（２桁）
```

10 マルチコピー通信部数（最大 99 部）を指定する

・相手先機の出力部数を指定できます。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチコピー通信部数の指定

部数：０３　（２桁）
```

11 セット を押す

```
マルチプリント部数の指定

部数：０１　（２桁）
```

12 マルチプリント部数（最大 99 部）を指定する

・登録した相手からファクスを受信したとき、あらかじめ部数（最大 99 部）を設定しておいて、指定した部数を自動的にプリントできます。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「03」

```
マルチプリント部数の指定

部数：０３　（２桁）
```

13 セット を押す

```
料金登録設定をおこないますか
１．国内料金　２．海外料金
３．いいえ
```

14 料金登録設定をする

・例：「①」

・料金登録をしておくと、通信管理レポートの“料金”の欄に通信料金を印字させることができます。料金登録には、「国内料金」と「海外料金」の２種類があります。

```
通話料金を登録してください

国内：＿　．　（秒／１０円）
```

15 **通話料金を登録する**

・最大 180 秒まで登録できます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「060」
10 円で 60 秒通話できる場合

通話料金を登録してください
国内：０６０.＿　（秒／１０円）

16 セット ストップ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● システム登録の「104 短縮ダイヤル情報」が“なし”になっているときは、中継情報、マルチコピー部数、料金登録を登録することができません。

● マルチプリント部数の指定において、部数プリントをするためには、システム登録の「101 マルチプリント部数」を“短縮／ワンタッチ”に設定する必要があります。

ダイヤルの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

1 ファンクション ⑦ ② セット **を押す**

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 **①または②を押す**

・①：ワンタッチダイヤルを変更する場合

・②：短縮ダイヤルを変更する場合

例：「1」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

3 **変更するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す**

・登録されているダイヤル番号が表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
0334952973　　　外線

4 クリアー **を押す**

・表示されている番号が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☞112 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☞114 ページ）の手順 4 からの操作をします。

ダイヤルの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ◯ ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ①または②を押す

・①：ワンタッチダイヤルを消去する場合
・②：短縮ダイヤルを消去する場合

例：「①」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

3 消去するワンタッチダイヤル（01～50、F1～F10）を押す

・登録されているダイヤル番号が表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
0334952973　外線

4 クリアー を押す

・表示されている番号が消去されます。

5 セット ストップ を押す

・指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・セット を押したあとに、手順3からの操作を繰り返せば、続けてダイヤル番号の消去ができます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤル短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタッチの登録

ワンタッチ（01 ～ 50、F1 ～ F10）にダイヤルを登録して、グループダイヤル、プログラムダイヤルとして、お使いになれます。

グループダイヤルの登録

ワンタッチに、複数の短縮番号やワンタッチを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。

（UF-A700：最大 200 宛先、UF-A800：最大 1000 宛先まで）

● グループダイヤルには、登録済みのワンタッチや短縮番号を入力します。あらかじめ、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録をしておいてください（☞112 ページ、☞114 ページ）。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ① セット を押す

グループダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

2 ワンタッチダイヤル（01 ～ 50, F1 ～ F10）を押す

例：「ワンタッチダイヤル 03」

グループダイヤルの登録
名称を登録してください
_

3 グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる

・「文字入力のしかた」（☞146 ページ）

東京本社_
入力モード：かな漢
■

4 セット を押す

グループダイヤルの登録：0000
宛先を指定してください

5 グループダイヤルに登録するワンタッチ番号、短縮番号（UF-A700：最大 200 宛先、UF-A800：最大 1000 宛先）を指定する

例：「短縮 010」

グループダイヤルの登録：0001
営業部
短縮：０１０（3桁）

6 セット を押す

・手順 5 からの作業を繰り返し、続けてグループダイヤルに宛先を追加できます。

グループダイヤルの登録：0001
宛先を追加してください

7 スタート を押す

グループダイヤルの登録：0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

8 ∨または∧で、すべての宛先を確認する

グループダイヤルの登録：0001
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ　　いいえ：ｸﾘｱｰ

9

を押す

■登録内容の宛先確認／消去

ワンタッチをグループダイヤルとして登録するとき、宛先内容の確認／消去ができます。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ① セット **を押す**

グループダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

2 確認または消去するワンタッチダイヤル（01 ～ 50，F1 ～ F10）を押す
例：「ワンタッチダイヤル 03」

グループダイヤルの登録
ボタン番号：03
グループ　登録済み

3 セット **を押し、グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（146 ページ）
・登録されているグループダイヤル名称は クリアー を押して消去できます。
・グループダイヤル名称を変更しない場合は手順4へ進みます。

4 セット **を押す**

グループダイヤルの登録：0010
宛先を指定してください

5 Ⓥ Ⓐ **を押して、宛先を確認する**

・Ⓥ Ⓐ を押すたびにディスプレイが切り替わります。

グループダイヤルの登録：0010
営業部
短縮：010（3桁）

・宛先を消去しない場合は、手順 7 へ進みます。

6 消去する宛先が表示されたら、 クリアー **を押す**

・表示されている短縮番号が消去されます。

グループダイヤルの登録：0009
企画部
短縮：009（3桁）

7 セット スタート ストップ **を押す**

・宛先確認操作後に登録できます。

グループダイヤルの変更

1 「登録内容の宛先確認／消去」（☞121 ページ）の手順４までの操作をする

2 ∨ ∧ を押して、宛先を確認する

```
グループダイヤルの登録：0010
営業部
短縮：０１０（３桁）
```

3 変更する宛先が表示されたら、クリアー を押す

・変更する宛先が消去されます。

```
グループダイヤルの登録：0009
企画部
短縮：００９（３桁）
```

4 セット を押す

```
グループダイヤルの登録：0009
宛先を追加してください
```

5 変更する宛先を指定する

・続けて、グループダイヤルに宛先を追加できます。
例：「短縮 011」

```
グループダイヤルの登録：0010
東京本社　総務部
短縮：０１１（３桁）
```

6 セット を押す

```
グループダイヤルの登録：0010
宛先を追加してください
```

7 セット を押す

・宛先確認操作後に登録できます。
・グループダイヤルの変更が終わります。

```
グループダイヤルの登録
ボタン（1～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
              を押してください
```

8 ストップ を押す

お知らせ

● グループダイヤルの変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

プログラムダイヤルの登録

ワンタッチに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタンを 1 回押すだけで指定できます。

● プログラムダイヤルの宛先には、登録済みの短縮番号やワンタッチ番号を入力します。あらかじめ、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録をしておいてください
（☞112 ページ、☞114 ページ）。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ② セット を押す

プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
を押してください

2 **登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 50）を押す**

・指定したワンタッチに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示する。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直す。

プログラムダイヤルの登録
名称を登録してください
＿

3 **プログラム名称（最大 20 文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（☞146 ページ）

東京本社＿
入力コード：かな漢
■

4 セット **を押す**

プログラムダイヤルの登録
プログラムが登録できます
操作を指定してください

5 ファンクション **を押して、通信操作を登録する**

・登録する機能を表示させ、各種通信操作を登録します。
・宛先指定などは、通常の通信操作と同じです。各ページを参照してください。

・登録できる通信操作の種類（☞124 ページ）

ファンクション選択　（1－8）
番号入力または∨、∧
を入力してください

6 スタート **を押す**

・宛先確認操作後に登録できます。
・プログラムダイヤルが登録されます。

プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
を押してください

7 **続けて、プログラムダイヤルの登録ができます。手順 2 からの操作を繰り返します。**

8 ストップ **を押す**

お知らせ

● プログラムダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 指定したワンタッチに、すでに登録済みの内容があるときは、その内容が表示されます。

● プログラムダイヤルの登録は、最大 50 件まで指定できます。

各種登録・設定

プログラムダイヤルの変更

1 「ワンタッチの消去」（☞128 ページ）をする

2 「プログラムダイヤルの登録」（☞123 ページ）の操作をして、プログラムダイヤルを登録し直す

登録できる通信操作の種類

プログラムダイヤル	1. タイマー通信	1. 送信
		2. ポーリング受信
		3. 特殊通信
	2. 特殊通信	1. 中継同報指示
		2. 親展通信
		3. ファイル送信
		4. F コード通信
		5. マルチコピー通信
		6. F 網通信
	3. ポーリング	1. ポーリング受信
	8. セレクトモード	1. 優先通信
		2. OMR 送信
		3. セレクト送信
		4. パスワード送信
		5. ワンタイム海外通信
		6. 定期便タイマー通信

ファンクションの登録

ファンクション登録ボタン あ F1 A 〜 こ F10 J によく使う機能を 10 種類まで登録できます。ファンクション登録しておくと、複雑な操作を 1 回の操作で指定できます。
また、ダイヤル番号を登録して、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルとしてもお使いになれます。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ③ セット **を押す**

ファンクションの登録
ボタン（F1〜F10）
を押してください

2 登録するボタン（F1 〜 F10）を押す

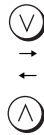
・指定したファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示します。
・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

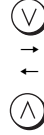
希望項目の番号を選んでください
1．タイマー送信
2．タイマーポーリング受信

3 ∨ または ∧ を押して、登録する機能を表示させる

・∨ ∧ を押すと、ディスプレイは次のように切り替わります。登録する機能を表示させます。
・登録できる機能の種類（☞126 ページ）

希望項目の番号を選んでください
1．タイマー特殊通信
2．中継通信

∨ → ← ∧

希望項目の番号を選んでください
1．親展送信
2．親展ポーリング受信

∨ → ← ∧

希望項目の番号を選んでください
1．ファイル蓄積
2．ファイル送信

4 ① または ② を押す

・登録する機能がディスプレイの 3 段目に表示されます。
・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

5 セット を押す

ファンクションの登録
ボタン（F1〜F10）
を押してください

6 続けて、ファンクションの登録ができます 手順 2 からの操作を繰り返します

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ファンクションの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
●「タイマー通信の指定」または「通信モード／回線の指定」をファンクションに登録する場合、手順 4 で ① または ② を押しただけでは機能は登録されません。以下の操作をしてください。
・「タイマー通信の指定」の場合、手順 4 までの操作をする→時刻指定する→ セット を 2 回押す→ ストップ を押す
・「通信モード／回線の指定」の場合、手順 4 までの操作をする→「外線」または「内線」を選ぶ→ セット を押す→ スタート を押す→ ストップ を押す

各種登録・設定

■登録できる機能の種類

機能名	説明	参照ページ
タイマー送信	あらかじめ、指定しておいた時間に通信を指定することができます。	52 ページ
タイマーポーリング受信	あらかじめ、指定しておいた時間にタイマーポーリング受信をします。	52 ページ
タイマー特殊通信	本機でご利用になれる各種通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。	53 ページ
中継通信	中継親局を経由して、遠方にある複数の宛先へ、経済的に送信を指定できます。	54 ページ 55 ページ
親展送信	ある特定の人に原稿を送信したいとき、中継親局のメモリーに暗証番号をつけて原稿を送信することができます。	56 ページ
親展ポーリング受信	中継親局に蓄積されている親展原稿を、こちらの操作で取り出すことができます。	57 ページ
ファイル蓄積	ファイル送信する原稿を本体のメモリーに蓄積します。	58 ページ
ファイル送信	ファイル蓄積した内容を送信します。	58 ページ
ファイル消去	ファイル蓄積した内容を消去します。	59 ページ
ファイルプリント	ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。	59 ページ
手動ファイル転送	代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。	94 ページ
F コード送信	F コードを付加した送信ができます。	60 ページ
F コード取り出し	相手機に開設されたボックスに登録してある文書を取り出すことができます。	61 ページ
F コード掲示板登録	あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文書を登録することができます。	61 ページ
F コード親展プリント	親展ボックスに登録された文書を取り出すことができます。	62 ページ
マルチコピー通信	送信するとき、受信側でプリントする枚数を指定することができます。	63 ページ
F 網通信	NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を使って通信することができます。	63 ページ
ポーリング受信	相手にセットされているポーリング原稿を、こちらの操作で受信します。	51 ページ
ポーリング送信	相手の操作で自動的に送信したいときに、ポーリング送信をセットします。	50 ページ
通信管理レポートの出力	通信管理レポートをプリントすることができます。	101 ページ
通信管理レポートの確認	通信管理状況を、ディスプレイで確認することができます。	101 ページ
OMR 通信	専用の OMR シートを使って、通信を指定することができます。	64 ページ
パスワード送信	パスワードが一致する相手にだけ、送信することができます。	67 ページ
セレクト送信	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した相手にしか、ファクスを送信しないようにすることができます。	80 ページ
優先通信	至急に送信したい原稿を、現在、行っている通信の次に送信することができます。	82 ページ
ワンタイム海外通信	海外の相手と通信をしていて、通信エラーや画質異常になるときに指定します。	83 ページ
定期便タイマー通信	登録済みの定期便タイマーの指定時刻（最大 5 つ）から、一番近い時刻になると、自動的に通信を始めます。	83 ページ
通信予約の確認	タイマー通信などの通信予約した内容を確認します。	88 ページ
時間・宛先変更	タイマー送信やタイマーポーリング受信の指定時間、宛先を変更できます。	90 ページ
通信予約の消去	通信予約されている内容を消去します。	91 ページ
指定通信予約レポート	通信予約をしている内容があるとき、指定する予約内容をレポートにしてプリントすることができます。	92 ページ
未達宛先再通信	メモリーに蓄積されている未通信の内容を再通信の指定にします。	93 ページ

機能名	説明	参照ページ
受信データの強制出力	装置設定の「代行出力」が“なし”になっているとき、メモリーに蓄積されている受信原稿を強制的にプリントします。	94 ページ
通信先表示の確認	オプションの通信ユニットを増設した場合、同時に通信している通信中の相手や通信枚数をディスプレイで確認します。	―
省エネモード	節電モード、省エネモードの設定ができます。	―
メモリー転送	受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送します。	―
ダイレクト通信	メモリーを使わないで送信をすることができます。	30 ページ
発信元印字 ON/OFF	送信するときに、発信元情報の印字の付加を指定できます。	―
等倍送信	相手側にセットされている記録紙のサイズに関わらず、セットした原稿を縮小しないで送信できます。	―
ハイブリッドダイヤル	ハイブリッドダイヤルの指定ができます。ハイブリッドダイヤルをお使いになるときは、必ず登録してください。	35 ページ
通信モード／回線	回線の指定ができます。	―
親展プリント（＊）	オプションの中継センターユニットをお使いの場合、親展受信した文書をプリントすることができます。	57 ページ
サブアドレス（＊）	オプションの G4G3 通信ユニットを増設した場合、サブアドレス番号を指定するときに使用します。	―
LAN 中継指示	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
インターネット	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
ネットワークスキャナー	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
IP FAX A3 送信	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、（ストップ）を押します。
- ＊印の機能は、UF-A800 でオプション装着時にご利用になれます。

ワンタッチの消去

ワンタッチ（01 ～ 50）とファンクション登録ボタン（F1 ～ F10）に登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ○ ⑦ ③ セット ④ セット **を押す**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（1～50、F1～F10）
                を押してください
```

2 **消去するボタンを押す**
- 消去するワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を選択します。
- 登録されている内容がディスプレイの 3 段目に表示されます。
- まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：01
ダイヤル          登録済み
```

3 セット **を押す**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：01　消去しますか
1．はい　　　2．いいえ
```

4 ① **を押す**
- 指定したボタンの内容が消去されます。
- 登録内容を消去しないときは、② を押します。手順 1 の画面に戻ります。

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：01消去しました
```

5 **続けて、ワンタッチボタンの消去をするときは、手順 2 からの操作を繰り返します**

```
ワンタッチボタンの消去
ボタン（1～50、F1～F10）
                を押してください
```

6 ストップ **を押す**
- 待機状態に戻ります。

お知らせ
- ワンタッチの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

中継情報の登録

中継通信をするために必要な情報を登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ⑤ **を押す**

```
登録モード　　　　（1－7）
5．中継情報の登録
セットで選択されます
```

2 セット **を押す**

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

3 **管理者パスワードを入力し、セット を押す**

```
外線電話番号の登録

_
```

4 ∨ ∧ **を押して、必要な情報を登録する**
（☞129 ページ）

5 ストップ **を押す**
- 必要な情報の登録が終了したとき押します。

お知らせ
- オプションの G4G3 通信ユニット増設時は手順 3 の画面が変わります。

中継情報の登録の種類

中継情報では、次の
各項目が登録できます。

	項目	内容	参照ページ
1	外線電話番号	外線の電話番号を登録します。	155 ページ
2	外線レポート返送先	外線で中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
3	ネットワークパスワード	中継ネットワーク内で使うパスワードを登録します。	—
4	自局中継識別番号	本機の識別番号を登録します。	—
5	内線電話番号	内線の電話番号を登録します。	156 ページ
6	内線レポート返送先	内線で中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
7	中継機宛先	中継親局の電話番号を登録します。	—
8	中継機通話料金登録	中継親局との通話料金を登録します。	—
9	自ユーザー ID	自局のユーザー ID を登録します。	—
10	外線 2,G3 電話番号	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
11	外線 2,G3 レポート返送先	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
12	ISDN2 番号	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
13	ISDN2 レポート返送先	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
14	外線 3,G3 電話番号	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
15	外線 3,G3 レポート返送先	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
16	ISDN3 番号	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
17	ISDN3 レポート返送先	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
18	外線 4,G3 電話番号	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
19	外線 4,G3 レポート返送先	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—
20	ISDN4 番号	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、本機の外線番号を登録します。	—
21	ISDN4 レポート返送先	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時の、中継通信したとき、結果レポートを送る宛先を登録します。	—

※ 10 ～ 21 は、オプションの G3 通信ユニットまたは G4G3 通信ユニット増設時に有効となります。

F コード通信の登録

F コード通信で使うボックスを開設します。
本機では、親展ボックスと掲示板ボックスを開設できます。

親展ボックスの登録

1 ファンクション ⑦ ⑥ セット を押す

```
F コード通信の登録
1. ボックスの登録
2. ボックスの消去
```

2 ①を押す

```
ボックスの登録
1. 親展ボックスの登録
2. 掲示板ボックスの登録
```

3 ①を押す

```
親展ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
_　　（2桁）
```

4 ボックス No.（2 桁：01 ～ 10）を指定する

- まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。
- すでに掲示板ボックスとして登録されているボックス No. を選ぶことはできません。

例：「01」

```
親展ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
0 1　（2桁）
```

5 セット を押す

```
親展ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
_
```

6 ボックス名称（最大 20 文字）を入れる

- 「文字入力のしかた」
  （☛146 ページ）

```
親展ボックス_
　入力モード ：カナ
```

7 セット を押す

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
_
```

8 暗証番号を登録する

- まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「12345678」

```
親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
1 2 3 4 5 6 7 8
```

9 セット を押す

```
親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_
```

10 サブアドレス（最大 20 桁）を登録する

- まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

```
親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890
```

11 セット を押す

```
親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
_
```

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順13 に進みます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「22222333334444455555」

親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555

13 セット を押す

親展ボックスの登録
セレクト番号を登録してください
短縮：＿　（３桁）

14 親展ボックスに受信する相手を登録する

・親展ボックスに受信する相手を選択します。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

・セレクト番号の選び方（☞132 ページ）

例：短縮番号「001」

親展ボックスの登録
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（３桁）

15 セット を押す

親展ボックスの登録
受付レポートを出力しますか
１．はい　　２．いいえ

16 受付レポートの出力を選ぶ

・①：親展ボックスに受信したとき、受付レポートを出力します。

・②：受付レポートを出力しません。

受付レポートを出力した場合

例：「①」

ボックス No. ０１は
親展ボックス
として登録されました

17 続けて、親展ボックスの登録をするときは、手順４からの操作を繰り返します

18

を押す

お知らせ

● 親展ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、親展ボックスに受信した文書をプリント（☞62 ページ）したり、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。

● 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

● 親展ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

● オプションのインターネット FAX ユニットを装着している場合は、手順 16 で①を選択すると、受付レポートの転送先を設定する画面が表示されます。受付レポートをパソコンなどに転送する場合は、次の手順で設定します。

親展ボックスの登録
受付レポートを送信しますか
１．はい　　２．いいえ

テンキーボタンの①を押す

→

親展ボックスの登録
宛先を指定してください

ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルで宛先を指定する

→

親展ボックスの登録
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（３桁）

親展ボックスの変更

1 「親展ボックスの登録」の手順3までの操作をする
（☞130 ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、[セット] を押す

・まちがえたときは、[セット] を押す前に [クリアー] を押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、[セット] を押す

4 「親展ボックスの登録」の手順6からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☞130 ページ）

お知らせ

●掲示板ボックスに登録されているボックスを、親展ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☞135 ページ）をしてから登録し直してください。

セレクト番号の選び方

親展ボックスに受信する相手をセレクトすることができます。

セレクト番号	照合のしかた
任意の短縮番号	指定した短縮番号に登録されている電話番号の下4桁と、相手から送られてくるID番号の下4桁を照合し、一致すると受信を始めます。
00＊	短縮番号「000～009」に登録されている（最大10宛先）電話番号の下4桁と、相手から送られてくるID番号の下4桁を照合し、一致すると受信を始めます。
0＊＊	短縮番号「000～099」に登録されている（最大100宛先）電話番号の下4桁と、相手から送られてくるID番号の下4桁を照合し、一致すると受信を始めます。
＊＊＊	短縮番号「000～999」に登録されている (UF-A700：最大200宛先、A800：最大1000宛先) 電話番号の下4桁と、相手から送られてくるID番号の下4桁を照合し、一致すると受信を始めます。
入力なし	相手をセレクトしないで受信します。

掲示板ボックスの登録

1 ファンクション ⑦ ⑥ セット を押す

F コード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去

2 ①を押す

ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録

3 ②を押す

掲示板ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
__　（2 桁）

4 ボックス No.（2 桁：01 ～ 10）を指定する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。
・すでに親展ボックスとして登録されているボックス No. を選ぶことはできません。

例：「01」

掲示板ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
０１　（2 桁）

5 セット を押す

掲示板ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
_

6 ボックス名称（最大 20 文字）を入れる

・「文字入力のしかた」
（☞146 ページ）

掲示板ボックス__
入力モード ：カナ

7 セット を押す

掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
_

8 暗証番号を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「12345678」

掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
１２３４５６７８

9 セット を押す

掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_

10 サブアドレス（最大 20 桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890

11 セット を押す

掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
_

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。
・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「22222333334444455555」

掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555

13 セット を押す

掲示板ボックスの登録
原稿消去を行いますか
1．はい　　2．いいえ

14 通信後のメモリー保存を選ぶ

・①：掲示板ボックスの内容を送信した後、原稿を消去します。

・②：送信した後、消去しません。

例：「①」

15 続けて、掲示板ボックスの登録ができます。手順４からの操作を繰り返します

16 （ストップ）を押す

お知らせ

- 掲示板ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 掲示板ボックスの登録を途中でやめるときは、（ストップ）を押します。

掲示板ボックスの変更

1 「掲示板ボックスの登録」の手順３までの操作をする（☞133 ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、［セット］を押します

・まちがえたときは、［セット］を押す前に［クリアー］を押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、［セット］を押す

4 「掲示板ボックスの登録」の手順６からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☞133 ページ）

お知らせ

- 親展ボックスに登録されているボックスを、掲示板ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☞135 ページ）をしてから登録し直してください。

通信ボックスの消去

1 ファンクション◯ ⑦ ⑥ セット を押す

F コード通信の登録
１．ボックスの登録
２．ボックスの消去

2 ② を押す

通信ボックスの消去
ボックス No. を指定してください
＿　　（２桁）

3 **ボックス No.（2 桁）を指定する**

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

通信ボックスの消去
ボックス No. を指定してください
０１　（２桁）

4 セット を押す

通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
＿

5 **暗証番号を指定する**

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「12345678」

通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
＊＊＊＊＊＊＊8

6 セット を押す

通信ボックスの消去
ボックス No.01 を消去しますか
１．はい　　２．いいえ

7 **ボックスの内容を消去するときは ① を押す**

・ボックスの内容を消去しないときは、② を押します。手順 3 から指定し直します。

通信ボックスの消去
ボックス No.01 を消去しました

8 **続けて、通信ボックスの消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します**

9 ストップ を押す

お知らせ

- 指定した暗証番号を忘れた場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 通信ボックスの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

各種登録・設定

ユーザー管理の登録

ユーザー別管理をするときに登録します。
管理責任者が登録した管理者パスワードを入力しないと、ユーザーの登録／消去ができません。また、ユーザー No. とパスワードを入力しないとファクスを使うことができなくなるため、部門ごとの管理もしやすくなります。
● 通信中のときは、ユーザー管理の登録はできません。

ユーザー管理の登録

1 ファンクション ○ ⑦ ⑦ [セット] を押す

ユーザー管理の登録
1．ユーザーの登録
2．ユーザーの消去

2 ① を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

3 管理者パスワードを指定する

・まちがえたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。

例：「12345678」

管理者パスワード
パスワードを指定してください
＊＊＊＊＊＊＊8

4 [セット] を押す

ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
_　（2桁）

5 ユーザー No.（01 ～ 30）を指定する

・まちがえたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。

例：「01」

ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
0 1　（2桁）

6 [セット] を押す

ユーザーの登録
パスワードを登録してください
_

7 利用者制限のパスワードを登録する

・まちがえたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。
・パスワードは最大 8 桁です。

例：「56781234」

ユーザーの登録
パスワードを登録してください
5 6 7 8 1 2 3 4

8 セット を押す

ユーザーの登録
ユーザー名称を登録してください
＿

9 ユーザー名（最大 10 文字）を入力する

・「文字入力のしかた」（☛146 ページ）

総務部＿
　入力モード ：かな漢
■

10 セット を押す

ユーザーの登録
ワンタッチに登録しますか
1．はい　　　2．いいえ

11 ワンタッチボタンへの登録を指定する

・ ① : 指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録し、手順 13 へ進みます。

・ ② : 指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録しないで、手順 14 の画面へ進みます。

12 ユーザーを登録するワンタッチダイヤル(01～50、F1 ～ F10）を押す

・指定したワンタッチ、ファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示します。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

ユーザーの登録
ボタン番号：５０
　　　　　　　　未登録

13 セット を押す

・続けて、ユーザーの登録ができます。手順 6 からの操作を繰り返します。

ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
＿　　（２桁）

14 を押す

お知らせ

- ユーザーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- ユーザー No.、利用者制限用パスワードには、数字のみ登録できます。
- 手順 13 で選んだワンタッチ、ファンクション登録ボタンに、すでに登録済みの内容がある場合は、その内容が表示されます。

ユーザーの変更

1 「ユーザーの消去」（☞138 ページ）の操作をする

2 「ユーザー管理の登録」（☞136 ページ）の操作をして、ユーザーの変更をします。

ユーザーの消去

1 ファンクション ◯ ⑦ ⑦ セット を押す

ユーザー管理の登録
1．ユーザーの登録
2．ユーザーの消去

2 ② を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

3 管理者パスワードを指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「12345678」

管理者パスワード
パスワードを指定してください
＊＊＊＊＊＊＊8

4 セット を押す

ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
_　（2桁）

5 消去するユーザー No.（01 ～ 30）を指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
0 1　（2桁）

6 セット を押す

ユーザーの消去
パスワードを指定してください
_

7 利用者制限のパスワードを指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「56781234」

ユーザーの消去
パスワードを指定してください
＊＊＊＊＊＊＊4

8 [セット] を押す

```
ユーザーの消去
ユーザー No.: 0 1 を消去しますか
1. はい        2. いいえ
```

9 ①を押す

・指定したユーザーNo. を消去します。

・消去しない場合は、②を押します。手順 5 の画面に戻ります。

```
ユーザーの消去
ユーザー No.: 0 1 を消去しました
```

→

```
ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
__      （2 桁）
```

10 続けて、ユーザー No. の消去ができます。手順 6 からの操作を繰り返します

11 [ストップ] を押す

お知らせ

● ユーザーの消去を途中でやめるときは、[ストップ]を押します。

ユーザー別管理の設定

ユーザー別管理の機能をお使いになりたいとき“あり”にします。

1 [ファンクション] ⑦ ④ [セット] を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
__
```

2 管理者パスワードを入力し、[セット] を押す

```
システムの登録        (001-137)

No. =__         （3 桁）
```

3 ① ⓪ ⑧ [セット] を押す

```
108 ユーザー別管理      設定：1

1. なし        2. あり
```

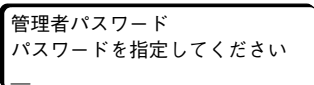
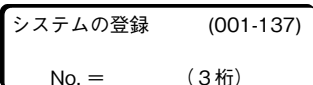
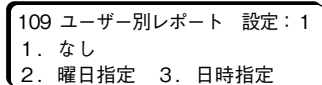
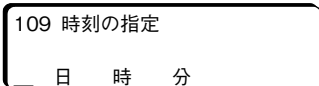
4 ② [セット] を押す

・ユーザー別管理の設定がセットされます。

5 [ストップ] を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ユーザー別管理の設定を途中でやめるときは、[ストップ] を押します。
● ユーザー別管理の設定を“なし”にしたいときは、手順 3 で① [セット] を押します。

ユーザー別管理をしているときファクスを使う

ユーザー別管理の設定（☞139 ページ）のあとに操作できます。

1 ユーザーNo.(01～30) を入力し、セット を押す

・136 ページ手順 5 で指定した No. を入力します。

・まちがえたときは、ストップ を押して、指定し直します。

2 パスワードを入力し、セット を押す

・136 ページ手順 7 で指定したパスワードを入力します。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

3 通信などの操作をする

・通信などの操作が終わると、ユーザー管理設定中の画面に戻ります。

ユーザー別レポートの設定

ユーザー別管理をしているとき、ユーザーNo. で区分けされた部署ごとにユーザー別管理レポートを一定の周期で自動出力させることができます。

4 ② または ③ を押し セット を押す

・「曜日指定」または「日時指定」の周期がセットできます。

例：③「日時指定」

5 日付と時刻を入れる

・例：「毎月 1 日 12 時 00 分」の場合
⓪ ① ① ② ⓪ ⓪ を押す

・時刻は 24 時間制で入れます。

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

6 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ユーザー別レポートの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● ユーザー別レポートの設定を“なし”にしたいときは、手順 3 で ① セット を押します。

システムの登録

システム登録のしかた

1
ファンクション ⑦ を押す

```
登録モード               （1－7）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

2 **④ セット を押す**

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

3 **管理者パスワードを入力し、セット を押す**

```
システムの登録          (001-137)

    No.  =__         （3桁）
```

4 **設定する番号（3 桁）を入れ、セット を押す**

例：「003」

```
003 ハーフトーン        設定：1
 1．なし
 2．きれい     3．はやい
```

・「システム登録一覧表」（☞142 ページ）を参照して、設定番号を選択します。
・設定番号をまちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

5 **設定値を選ぶ**

・「システム登録一覧表」（☞142 ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
003 ハーフトーン        設定：1
 1．なし
 2．きれい     3．はやい
```

6 **セット を押す**

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順 4 からの操作を繰り返します。

```
004 済みスタンプ        設定：2

 1．なし       2．あり
```

7 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- システム登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順 4 の画面を表示しているとき、Ⅴ Λ を押すと、ほかの設定項目が選べます。

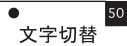
システム登録一覧表

お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説明
001	原稿濃淡	1：ふつう 2：こく 3：うすく	通常使用する原稿の濃さに合わせます。
002	文字サイズ	1：ふつう 2：小さい 3：細密	通常使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
003	ハーフトーン	1：なし 2：きれい 3：はやい	通常使用する原稿に合わせます。
004	済みスタンプ	1：なし 2：あり	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。(メモリー送信時の済スタンプは「028 メモリー済スタンプ」で設定します。)
005	送信メモリー優先	1：なし 2：あり	"なし"にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
006	ダイヤル切替	1：外線 2：内線 + 1：PB 2：10pps 3：20pps	お使いの電話回線に合わせて、ダイヤル種別を選びます。（☞165 ページ）
007	発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。"なし"にすれば、発信元をプリントしません。
009	受信時刻印字	1：なし 2：あり	"あり"にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
010	ブザー音量	1：小さい 2：ふつう 3：大きい	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
012	通信結果レポート	1：ダイレクト結果レポート 2：メモリー結果レポート + 1：なし 2：未通信 3：全通信	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
013	通信管理レポート	1：なし 2：あり	通信管理レポートのプリント方法を設定します。"なし"にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
014	通信受付レポート	1：なし 2：あり	メモリー送信を受け付けたとき、受付番号や宛先などをレポートにしてプリントします。
021	着信呼出回数	1：1回 0:0 回 ～ 9:9 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
026	ポーリング用暗証番号の登録	4 桁のパスワード	ポーリング通信をするときに使う 4 桁のパスワードです。
027	ポーリング送信保存	1：なし 2：あり	"あり"にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
028	メモリー済スタンプ	1：なし 2：あり	"なし"にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。(ダイレクト送信時の済スタンプは「004 済みスタンプ」で設定します。)
031	未送信ファイル保存	1：なし 2：あり	未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。)
034	省エネモード	1：なし 2：節電 3：省エネ	省エネ運転（パネル以外電源断）または節電運転を設定します。タイマーを使って運転時間の指定もできます。(省エネ設定中はディスプレイに「省電力中です」と表示します)（☞145 ページお知らせ)

設定番号	設定項目	設定値	説明
037	メモリー受信暗証番号の登録	8 桁のパスワード	メモリー受信をした文書を、印刷するときのパスワードを設定します。セレクトモードで設定を“あり”にした場合、メモリー受信暗証番号の変更ができなくなります。（☞84 ページ）
043	パスワード送信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☞67 ページ）
044	パスワード受信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☞69 ページ）
045	セレクト送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手にしかファクスを送信しません。
046	セレクト受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。
047	リモート受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
051	遠隔診断	1：なし 2：あり	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
054	メモリー転送	1：なし 2：あり	“あり”にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先、メモリー転送を有効とする着信回線、転送時間帯、受信した原稿の本機でのプリント指定をセットできます。
065	正順プリント	1：なし 2：あり	複数ページの受信やソートコピーをしたときの、プリントする順番を選びます。“なし”にすると、1 枚目のページよりプリントを開始します（この場合、ページ順は逆になります）。（☞42 ページ）
066	代行出力	1：なし 2：あり	“あり”にしていると、受信中に適正サイズの用紙が無くなると、ほかのカセットにセットされている用紙を使ってプリントします。（☞41 ページ）
067	受信 2 in 1 機能	1：なし 2：あり	A5 または B5 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 またはB4サイズの用紙1枚にまとめてプリントします。
068	ダイヤルトーン検知	1：なし 2：あり	“なし”にすると、ダイヤルトーンの検知をしません。
071	親切受信	1：なし 2：あり	相手が自動送信のファクス（ポー・・ポー・・音）の場合、受話器をおろすと自動的に受信に切り替わります。
075	OP ハンドセット	1：なし 2：あり	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
078	回転送信	1：なし 2：あり	A4 原稿を（←▯）の方向にセットし、送信すると 90°回転して（←▭）送ります。
082	クイックメモリー送信	1：なし 2：あり	クイックメモリー送信を設定します。“あり”にすると、ＡＤＦ から1ページ目の原稿をメモリーに読み込んだ時点で送信を開始する機能です。（複数宛先の場合は、クイックメモリー送信となりません。）
083	回転ソート	1：なし 2：あり	A4▭原稿の複数ページの受信やソートコピーで、A4 用紙へプリントするときは、1部プリントするごとに A4 縦、A4 横と交互にプリントします。（この場合は、用紙の設定で A4 縦、横の両用紙をカセットに設定する必要があります）
088	通信モード／回線	1：外線 2：内線	回線選択の初期値を設定します。
090	発番号契約	1：なし 2：あり	発信者番号（ナンバーディスプレイ）を契約しているかどうかを設定します。 オプションの G3 通信ユニット装着時は、回線を選択する画面が最初に表示されます。テンキーボタンで回線を選択します。

設定番号	設定項目	設定値	説明
091	宛先確定操作	1：なし 2：あり	誤送信防止のため、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの宛先を連続して指定できないようにする機能です。“あり”に設定すると、宛先を指定するたびにセットの押下が必要です。
096	NTT ファクシミリ通信網	1：なし 2：SDT 3：Timer	ファクシミリ通信網加入時、第2発信音を検知する場合は2：SDT、しない場合は3：Timerに設定します。
099	メモリー容量	－	オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認します。（メモリーカードは、取り付け時に自動認識しますので設定はありません。）
101	マルチプリント部数	1：なし 2：全受信 3：短縮 / ワンタッチ	マルチプリント部数を指定する設定をします。
102	液晶表示濃度	1:淡い～3～6:濃い	ディスプレイの表示濃度を設定します。
103	発呼宛先表示	1：宛先名 2：ダイヤル	宛先指定したとき、ディスプレイに表示する宛先種類の設定をします。
104	短縮ダイヤル情報	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの付加情報を設定します。
105	メモリーフル時動作	1：中止 2：実行	メモリーフル時の動作を設定します。
106	原稿詰まり時動作	1：中止 2：実行	原稿詰まり時動作を設定します。
107	代行宛先通信	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤル発呼にて相手が話し中のとき、代行宛先に送信するかの設定をします。
108	ユーザー別管理	1：なし 2：あり	ユーザー別管理をするかの設定をします。
109	ユーザー別レポート	1：なし 2：曜日指定 3：日時指定	（日／週）ユーザー別管理レポートの出力条件を設定します。
110	G4F 網発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	G4F 網通信時の発信元印字位置を設定します。
111	G4 リモート発信元印字	1：なし 2：あり	G4 時、受信側で発信元印字をするかの設定します。
112	G4 送信側発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	G4 時、送信側の発信元印字位置を設定します。
113	国際 ISDN	1：なし 2：あり	海外 ISDN を使用して通信を行うかを設定します。
115	発信者番号通知	1：なし 2：あり	ISDN 通信時、相手ディスプレイに電話番号を表示させるかの設定をします。
116	受信時呼び出し	1：なし 2：あり	オプションのハンドセットをお使いで、自動受信が設定されているとき“あり”に設定しておくと、受信した相手が電話の場合呼び出し音を鳴らします。 （☞145 ページ）
117	複数宛先指定	1：なし 2：あり	複数宛先の指定を設定します。
123	リルート機能	1：なし 2：あり	ＩＰ電話を使っての送信機能を使うときに“あり”にします。
124	プレフィクス機能	20 桁までの番号を登録 1：なし 2：あり	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは“あり”にします。付与する番号を指定したあと、設定を行います。
125	宛先確認	1：なし 2：あり	宛先指定時に確認画面を表示しないときは“なし”にします。
134	宛先名敬称付加	1：なし 2：あり	“あり”に設定すると、発信元情報の宛先に「様」が追加されます。

設定番号	設定項目	設定値	説明
135	迷惑ファクス防止	1：数字ID拒否機能 2：発番号拒否機能 1：数字ID拒否機能 ＋ 1：数字ID拒否 2：IDなし時受信 3：ID受信時刻印字 4：ID番号登録 ※1 ＋ 1：なし 2：あり ※2、3 ＋ 1：なし 2：あり ※4 20桁までの番号を登録 （30件まで） 2：発番号拒否機能 ＋ 1：非通知拒否 2：公衆電話拒否 3：通知不可能拒否 4：指定番号拒否 5：指定番号登録 ※1～4 ＋ 1：なし 2：あり ※5 20桁までの発信者番号を登録 （30件まで）	受信したくない相手から着信した場合に、受信を拒否する場合に設定します。 迷惑ファクス防止には、数字 ID を利用する方法（☛77ページ）、発信者番号を利用する方法（☛78ページ）があります。
136	直接ダイヤル制限	1：なし 2：あり	誤送信防止のために、直接ダイヤルを制限できます。
137	直接ダイヤル再入力	1：なし 2：あり	“あり”の場合、誤送信防止のために、直接ダイヤル時に電話番号の再入力画面が表示されます。 「136 直接ダイヤル制限」および「137 直接ダイヤル再入力」が共に“あり”に設定されている場合、本設定は無効となります。

※ 110 ～ 115 は UF-A800 に、オプションの G4G3 通信ユニットをお使いのときに設定します（☛190ページ）。

お知らせ

- システム登録の「034 省エネモード」設定で“省エネ”を選択したとき、本機が次の状態にある場合は省エネ運転になりません。
  - ・タイマー通信が予約されているとき
  - ・メモリー受信またはポーリング送信がセットされているとき
  - ・オプションの G4G3 通信ユニット、G3 通信ユニット（UF-A800 のみ）、またはインターネット ＦＡＸ ユニットをお使いのとき
  - ・F コード掲示板、ファイル蓄積、未達宛先再通信、等がセットされているとき
  - ・原稿がセットされたままのとき
  - ・オプションのハンドセットや外部電話機の受話器が上がっているとき
  - ・ＮＴＴ ファクシミリ通信網を“なし”以外に設定したとき
  - ・着信呼出回数を“0”に設定したとき
- システム登録の「116 受信時呼び出し」の設定が“あり”のときは、受信時呼び出し機能が働き、呼び出し音が鳴った場合、外部電話機の受話器を上げても本機は検知できません。

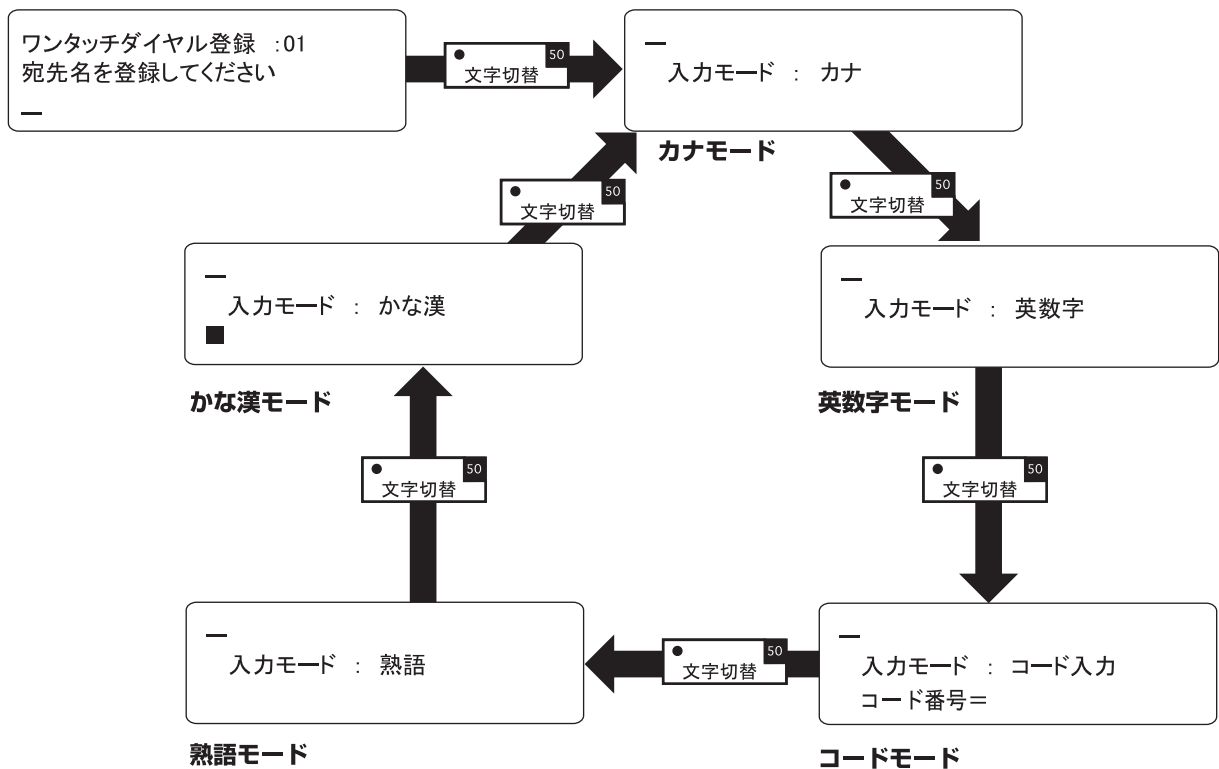
文字入力のしかた

短縮ダイヤルの宛先名や、自局情報の登録などをするときに文字を入力します。

- 文字入力をするときは、宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある文字シートを使って入力してください。
- 文字は［文字切替 50］を使って入力モードを切り替えながら入力します。
- 本機では、ひらがな・かたかな・漢字・英数字・記号が入力できます。

入力モードの切り替え方

文字入力時はワンタッチボタン［文字切替 50］が文字切替ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。初期状態では「かな漢モード」に設定されています.

例:ワンタッチダイヤルの名称登録

お知らせ

- 初期状態では、「かな漢モード」に設定されています。

文字入力のしかた

ひらがな・かたかな・漢字を入力します。
文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
_
```

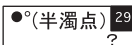
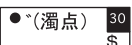
1 文字シートに従って、文字を入力する

・例：「松」を入力する場合

文字シートの［●ま 21 <］［●つ 08 R］を押す。

（∨）、（∧）キーを押し、変換したい文字を表示させる。

・まちがえたときは、［クリアー］を押して、入力し直す。

```
_
入力モード：かな漢　　2/10
松
```

2 ［セット］を押す

・文字を確定する。

```
松_
　入力モード：かな漢
■
```

お知らせ

- ディスプレイ３段目には、漢字が表示されます。
- 濁点、半濁点を入力したいときは、［●°（半濁点）29 ?］［●゛（濁点）30 $］を押します。

各種登録・設定

英数字の入力のしかた

文字入力の画面を表示させる

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
_

1 文字切替 50 を２回押す

・「英数字入力モード」に切り替わる。

_
入力モード：英数字

2 文字シートおよびテンキーボタンに従って、英数字を入力する

・例：「A」を入力する場合 あ F1 A を押す

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直す。

A _
入力モード：英数字

3 セット を押す

・文字を確定する。

コード入力のしかた

区点コード表を参照して、区点コードに対応する文字を入力します。
・「区点コード表」（☞195 ページ）
文字入力の画面を表示させる

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
_

1 文字切替 50 を３回押す

_
入力モード：コード入力
コード番号＝

2 区点コード（4 桁）を入力する

・例：「全」を入力する場合③③②⓪を押す

全_
入力モード：コード入力
コード番号＝

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直す。

3 セット を押す

・文字を確定する。

熟語入力のしかた

熟語一覧表を参照して、ファンクション登録ボタン（●あ F1 A ～ ●こ F10 J）、ワンタッチ（01 ～ 46）に対応する熟語を入力します。

・「熟語一覧表」（☞209 ページ）

文字入力の画面を表示させる

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
＿

3 入力する文字を選ぶ

・例：「東海」を指定する場合③を押す

・まちがえたときは、クリアーを押し熟語を削除して、手順２へ戻り入力し直します。

お知らせ

● ワンタッチの 20、30、45 と 47 ～ 50 には、対応する熟語がありません。

文字の変更／消去

<例>「東京本社総務部」を「東京本社企画部」に変更する

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
東京本社総務部

1 ＜または＞を押す

東京本社総務部＿
入力モード：かな漢
■

2 クリアーを押して、変更する文字を消去する

・カーソルの左側にある文字を1文字ずつ消去する。

・入力されている文字をすべて消去したいときは、カーソルを左端に移動させてから、クリアーを押す。

東京本社務部
入力モード：かな漢
■

クリアー

東京本社部
入力モード：かな漢
■

3 ●き F7 G　●か F6 F　●く F8 H を押す

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

東京本社部
入力モード：かな漢
きかく■

4 ∨または∧を押し、変換する文字を表示させる

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

東京本社部
入力モード：かな漢　1/3
企画

5 セットを押す

・変換した文字がカーソルの前に挿入される。

東京本社企画部
入力モード：かな漢
■

6 セットを押す

自局情報の登録

自局情報では、次の項目が登録できます。

	登録項目	内容	参照ページ
1	時刻の指定	現在の日付けと時刻を登録します。	152ページ
2	発信元情報	原稿を送信するとき、原稿の先端につける、会社名や部署名などの情報を登録します。	153ページ
3	文字 ID（カナ）	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	154ページ
4	外線数字 ID	外線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	155ページ
5	内線数字 ID	内線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	156ページ
6	定時刻タイマー	タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。	157ページ
7	定期便タイマー	定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。	158ページ
8	F コードサブアドレス	サブアドレス通信をするときに使うサブアドレス番号を登録します。	159ページ
9	F コードパスワード	サブアドレス通信をするときに使うパスワードを登録します。	160ページ
10	外線 2 数字 ID	CH2 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
11	ISDN2 基本番号	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
12	ISDN2 ダイヤルイン	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	―
13	ISDN2 数字 ID	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
14	ISDN2 文字 ID（英字）	CH2 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	―
15	外線３数字 ID	CH3 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
16	ISDN3 基本番号	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
17	ISDN3 ダイヤルイン	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	―
18	ISDN3 数字 ID	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
19	ISDN3 文字 ID（英字）	CH3 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	―
20	外線４数字 ID	CH4 にオプションの G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
21	ISDN4 基本番号	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
22	ISDN4 ダイヤルイン	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させるダイヤルイン番号などの情報を登録します。	―
23	ISDN4 数字 ID	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	―
24	ISDN4 文字 ID（英字）	CH4 にオプションの G4G3 通信ユニットを装着時に、相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	―
71	管理者パスワード	管理者パスワード（8桁）を登録します。	―

※ 10 ～ 24 は UF-A800 に、オプションの G3 通信ユニットまたは G4G3 通信ユニットをお使いのときに設定します（☞190 ページ）。
※ オプションが装着されていないと、表示されない項目があります。

日付と時刻の登録

現在の日付と時刻を登録します。

1 ファンクション ◯ ⑦ ① セット を押す

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 Ⅴ または Λ を押して、「時刻の指定」を表示させる

時刻の指定
11年07月01日12時00分

4 日付と時刻を入れる

・例:「2011年07月01日　午後5時15分」の場合
①①⓪⑦⓪①①⑦①⑤を押す。

・時刻は 24 時間制で入れます。

・日付、時刻が 1 桁の場合は、数字の前に⓪を入れます。

・まちがえたときは、< > でカーソルを移動させてから入れ直します。

5 セット を押す

・日付と時刻が登録されます。続けて、「発信元情報の登録」ができます。

（☛153 ページ）

6 を押す

・登録した日時が表示され待機状態に戻ります。

お知らせ

- 時計は、1 か月に 1 分程度ずれることがあります。
- 長時間、電源が切れていると、日時がずれることがあります。最初からセットし直してください。
- 日付と時刻の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の登録

原稿を送信するとき、原稿の先端に会社名や部署名を付けることができます。

お知らせ
● 発信元名称の登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

発信元情報の変更

1 「発信元情報の登録」の手順 3 までの操作をする（☞153 ページ）
- 現在、登録されている発信元情報が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す
- < または > を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する（☞146 ページ）

4 セット ストップ を押す
- 待機状態に戻ります。

各種登録・設定

文字 ID（カナ）の登録

相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

4 文字 ID（最大 16 文字）を入れる

・文字 ID には、最大 16 文字のかたかな、英数字のみが入力できます。

・「文字入力のしかた」（146 ページ）

5 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 文字 ID（カナ）の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

文字 ID（カナ）の変更

1 「文字 ID（カナ）の登録」の手順 3 までの操作をする
（154 ページ）

・現在、登録されている文字 ID（カナ）が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・< または > を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する
（146 ページ）

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

外線数字 ID の登録

外線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「外線数字 ID の登録」を表示させる

外線数字 ＩＤ の登録

4 外線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

- 最大 20 桁の電話番号を入力できます。
- まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

外線数字 ＩＤ の登録
0334919191_

5 セット ストップ を押す

- 待機状態に戻ります。

お知らせ

- 外線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 外線数字 ID には、数字、＋、スペースが登録できます。「＋」を登録するときは、＊ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

外線数字 ID の変更

1 「外線数字IDの登録」の手順3までの操作をする
（☞155 ページ）

- 現在、登録されている外線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

- ＜ または ＞ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

- 待機状態に戻ります。

各種登録・設定

内線数字 ID の登録

内線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「内線数字　ID　の登録」を表示させる

内線数字 ＩＤ の登録
_

4 内線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

- 最大 20 桁の電話番号を入力できます。
- まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

内線数字 ＩＤ の登録
1234567_

5 セット ストップ を押す

- 待機状態に戻ります。

お知らせ

- 内線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 内線数字 ID には、数字、+、スペースが登録できます。「+」を登録するときは、✻ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

内線数字 ID の変更

1 「内線数字IDの登録」の手順3までの操作をする
（☛156 ページ）

- 現在、登録されている内線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

- ＜ または ＞ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

- 待機状態に戻ります。

定時刻タイマーの登録

タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。

1 ファンクション ○ ⑦ ① セット を押す

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「定時刻タイマーの登録」を表示させる

4 タイマー通信の指定時刻を入れる

・例：「午前 10 時」を指定する場合
① ⓪ ⓪ ⓪ を押す

・時刻は 24 時間制で入力します。

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

5 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定時刻タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定時刻タイマーの変更

1 「定時刻タイマーの登録」の手順 3 までの操作をする
（☞157 ページ）

・現在、登録されている定時刻が表示されます。

2 変更する定時刻を入力する

3 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

定期便タイマーの登録

定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「定期便タイマーの登録」を表示させる

定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
__ （1～5）

4 登録番号（1 ～ 5）を指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
1 （1～5）

5 セット を押す

定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
__ ：

6 定期便タイマー通信の時刻を入力する

・例：「午前 10 時」を指定する場合 ① ⓪ ⓪ ⓪ を押します。

・時刻は 24 時間制で入力します。

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
10：00

7 セット を押す

・続けて他の定期便タイマーの登録をするには、手順 3 からの操作を繰り返します。

8 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定期便タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定期便タイマーの変更

1 「定期便タイマーの登録」の手順 3 までの操作をする（☞158 ページ）

2 変更する登録番号（1 ～ 5）を指定し、セット を押す

・現在、登録されている時刻が表示されます。

3 変更する時刻を入力する

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

Fコードサブアドレスの登録（サブアドレス通信）

Fコード通信をするときに使う最大20桁のFコードサブアドレスを登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
＿

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「Fコードサブアドレスの登録」を表示させる

Fコードサブアドレスの登録
＿

4 Fコードサブアドレス（最大20桁）を入れる

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

Fコードサブアドレスの登録
12345678901234567890

5 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● Fコードサブアドレスの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● Fコードサブアドレスには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

Fコードサブアドレスの変更

1 「Fコードサブアドレスの登録」の手順3までの操作をする
（☞159ページ）

・現在、登録されているFコードサブアドレスが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・ < または > を押してカーソルを移動させます。

3 変更するFコードサブアドレスを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

F コードパスワードの登録（サブアドレス通信）

F コード通信をするときに使う最大 20 桁の F コードパスワードを登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「F コードパスワードの登録」を表示させる

F コードパスワードの登録
_

4 F コードパスワード（最大 20 桁）を入れる

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

F コードパスワードの登録
12345678901234567890

5 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● F コードパスワードの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● F コードパスワードには、数字、＊、#、スペースが登録できます。
「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

F コードパスワードの変更

1 「F コードパスワードの登録」の手順 3 までの操作をする
（☞ 160 ページ）

・現在、登録されている F コードパスワードが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・＜ または ＞ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する F コードパスワードを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

管理者パスワードの変更

お買い上げ時、管理者パスワードは、「00000000」に設定されています。
管理者パスワードを変更する場合は、次の手順で操作します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 管理者パスワード（お買い上げ時は「00000000」）を入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「管理者パスワード」を表示させる

管理者パスワード
パスワードを登録してください
＊＊＊＊＊

4 管理者パスワード（8桁）を入れ、セット を押す

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678」

管理者パスワード
もう一度、入力してください
＊＊＊＊＊＊＊8

5 管理者パスワード（8桁）をもう一度入れ、セット を押す

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。
・手順４のパスワードと一致しない場合は、メッセージが表示され、手順４に戻ります。

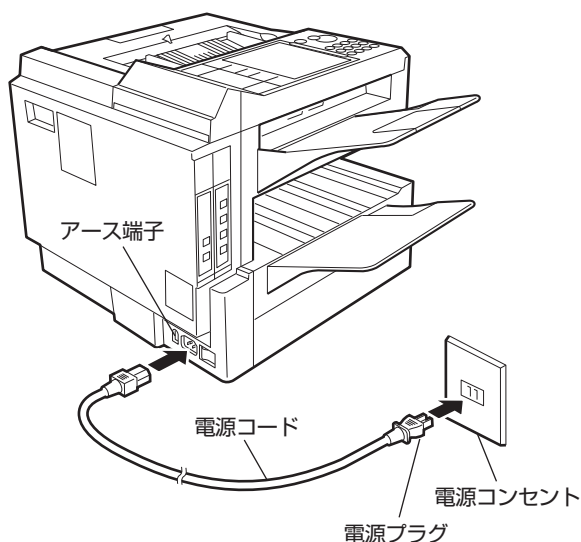
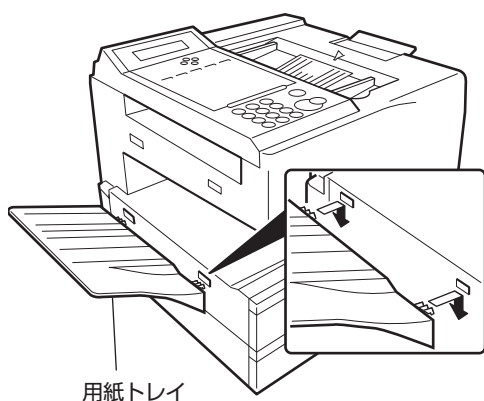
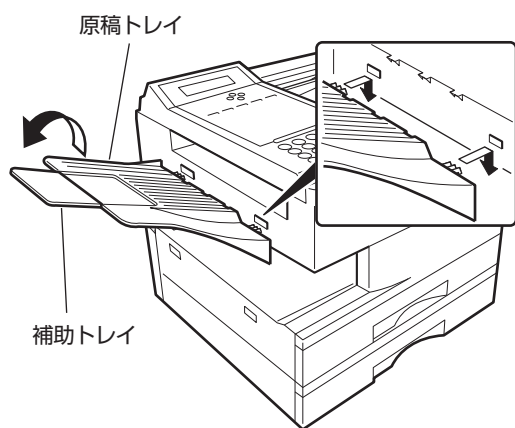
新しいパスワードを
忘れないよう管理してください

6 セット を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 管理者パスワードの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● 管理者パスワードには、英文字（大文字、小文字）、数字、記号（@　.　ｽﾍﾟｰｽ）を登録できます。
「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

取り付け方

原稿トレイの取り付け

1 原稿トレイのツメ（2 か所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる

お知らせ

● B4 サイズ以上の原稿を送信するときは、補助トレイを開いてお使いください。

用紙トレイの取り付け

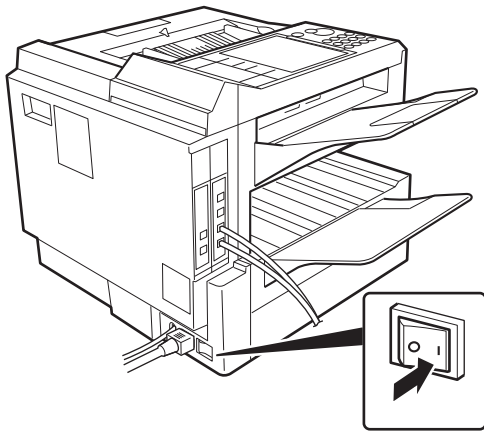
1 用紙トレイのツメ（2 か所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる

電源コードの接続

1 電源コードを本体に取り付け、電源プラグを電源コンセントに差し込む

・電源プラグを、確実に差し込みます。

お知らせ

● 湿気の多い場所では、アース線を取り付けてください。（☛17 ページ）

電源を入れる

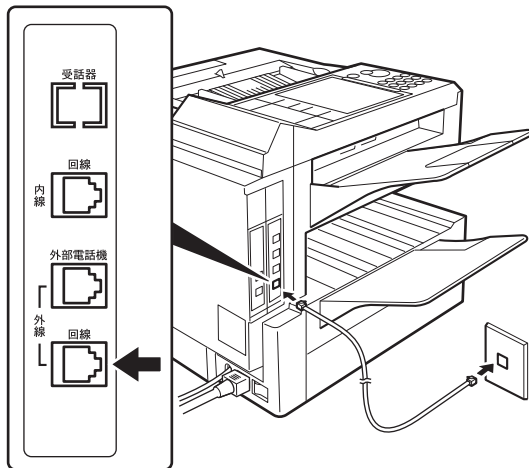
1 電源スイッチの“I”（入）側を押す

電話回線の接続

1 回線コードのモジュラープラグを回線用モジュラージャックに差し込む

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

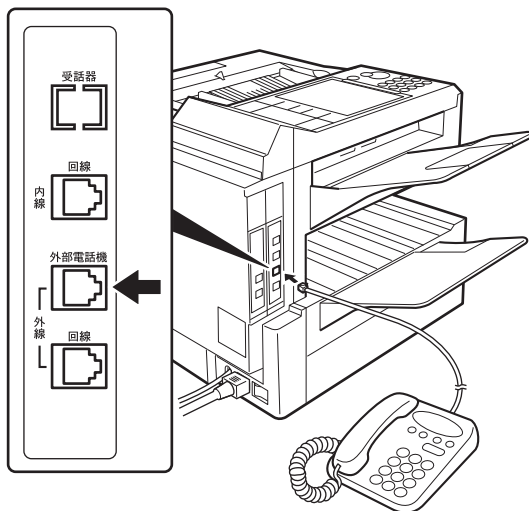
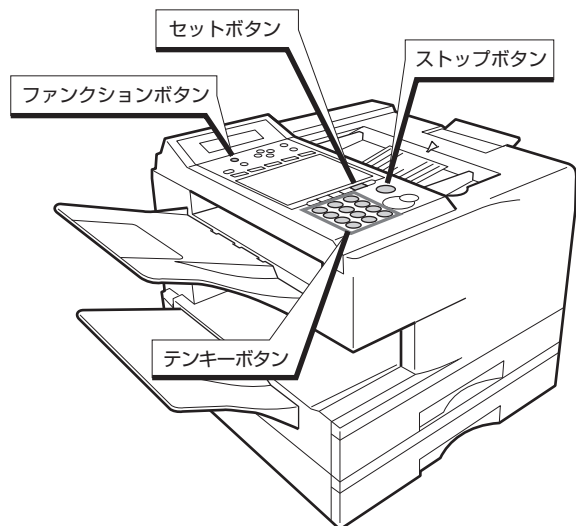
お知らせ

- 社内交換機などの内線を接続するときは、回線コードのモジュラープラグを、内線の回線用モジュラージャックに差し込んでください。
- 電話回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- NTT のピンク電話の回線や、キャッチホンサービスをご利用になることはできません。

外部電話機の接続

1 回線コードのモジュラープラグを外部電話機用モジュラージャックに差し込む

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お知らせ

- 外部電話機の回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 外部電話機を使っているときは、ディスプレイに“受話器が上がっています”が表示されます。

このファクシミリを設置する場所が NTT 電話局から遠距離の場合、宛先によっては通信できないことがあります。このときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

電話回線の設定

電話回線には、プッシュホン式とダイヤル式があります。お使いの電話回線に合わせて、電話回線の種類を設定してください。

1 ファンクション ⑦ ④ セット

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

システムの登録　(001-137)
No.　=＿　（３桁）

3 ⓪ ⓪ ⑥ セット を押す

006 ダイヤル切替
1．外線　2．内線

4 ① または ② を押し、回線を指定する

例：「①を指定したとき」

006 ダイヤル切替外線　設定：1
1．ＰＢ　2．１０ｐｐｓ
3．２０ｐｐｓ

5 ①～③を押す

・お使いの電話回線に合わせて選ぶ。

①：プッシュホン式回線（PB）をお使いの場合

②：回転ダイヤル式回線（10PPS）をお使いの場合

③：回転ダイヤル式回線（20PPS）をお使いの場合

6 セット

・待機状態に戻ります

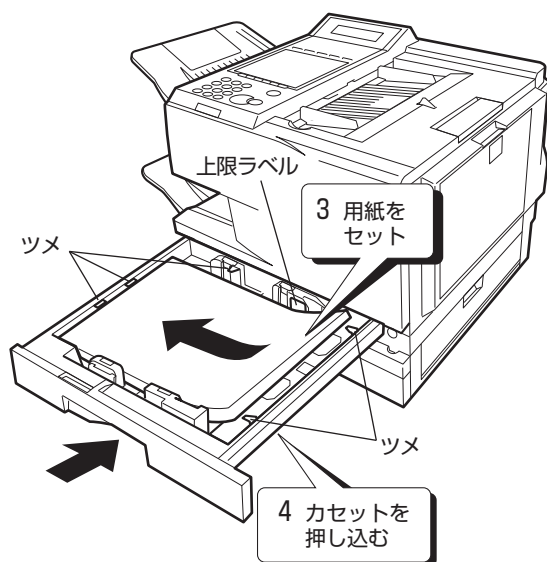
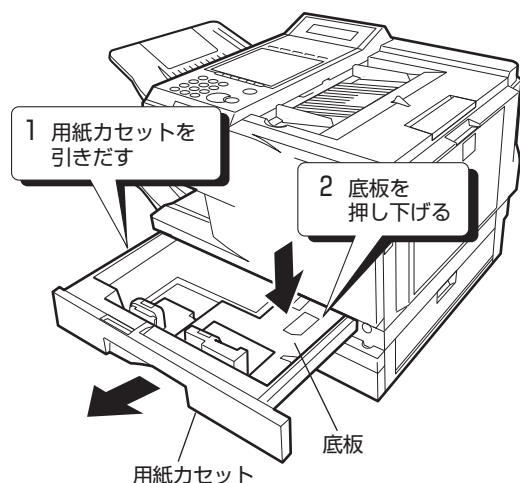
お知らせ

- 電話回線の設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
- 設定をまちがえると、電話がかからなかったり、違う相手にかかることがあります。
- 電話回線の種類が分からない場合は、ご契約の NTT 窓口にお問い合わせください。

消耗品の交換のしかた

用紙の補充

用紙がなくなると、ディスプレイに“カセット■に用紙を補給してください”が表示され、用紙ランプが点灯します（「■」は何段目のカセットかを示しています）。

- 用紙を補充するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙をセットするときには、サイズ検知レバー（☞168 ページ）のサイズ表示が用紙サイズと合っていることを確認してください。合っていないと紙づまりとなります。

1 用紙カセットを止まるまで静かに引き出す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5 か所）の下にセットする

4 用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

- 一度にセットできる枚数は、最大 250 枚です。
- オプションの「増設給紙ユニット 500」に一度にセットできる枚数は、最大 500 枚です。
- 用紙は、用紙上限ラベルの矢印を越えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 折り目、シワのある用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。
- プリント中は、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙カセットにサイズの違う用紙を混在させてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

1 用紙カセットをはずす
2 底板を押し下げる
底板
用紙カセット

用紙カセットのサイズ変更

本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☛168 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A3 サイズの用紙カセットを A4 に変更する場合

1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 緑色のガイドストッパー（2 か所）を引き上げる

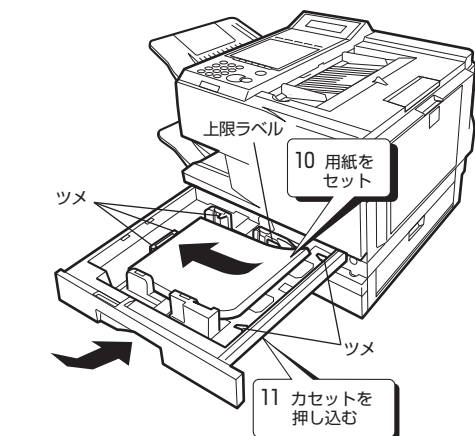
4 ガイド A をスライドさせ、セットする用紙の幅（A4、A5□）に合わせる

5 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

6 ガイド B（緑色）の両側を押して、取り出す

7 ガイド B のツメを用紙カセットの底面の穴（A4）に入れ、セットする

- A3 サイズの場合は、ガイド B を用紙カセットの引き出し側収納部にセットします。

8 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

9 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（A4）に貼り替える

10 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5 か所）の下にセットする

11 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

・用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

● はがきにプリントするときは、手差しトレイにセットします（☞172 ページ）。

増設給紙ユニット 500 の用紙カセットのサイズ変更

本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☞171 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A4□サイズの用紙カセットを B4 に変更する場合

1 用紙カセットを外す

1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 カセット裏面のキャップ（2 か所）を回して取り外し、ばねを取り出す

- 底板解除ボタンを押し、底板をフリーにしてからキャップを外します。

3 指定サイズのばねを用意する

- ばねは用紙カセット左手前の収納部に入っています。（出荷時は A4,A4□用ばね（銀色）が取り付けられています）
- A3、B4 用のばねは銀白色＋赤色マーク。
- A4、A4□用のばねは銀色。
- B5、A5 用のばねは黒色。

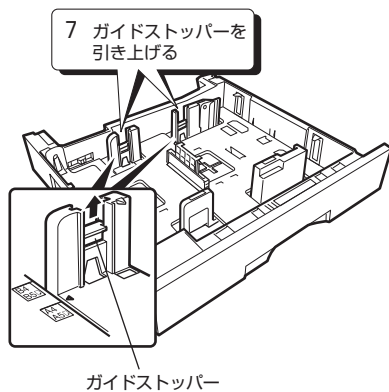
4 ばねを取り外す

- ばねを取り外す際には、交換用ばね収納部のふたの内側にある“ばね抜き工具”を使用します。
- ばねを手で無理に引っ張るとばねを破損する恐れがあるので注意してください。
- キャップの溝とふたの突起（3 か所）を合わせて、強く押し込むとばねがはずれます。

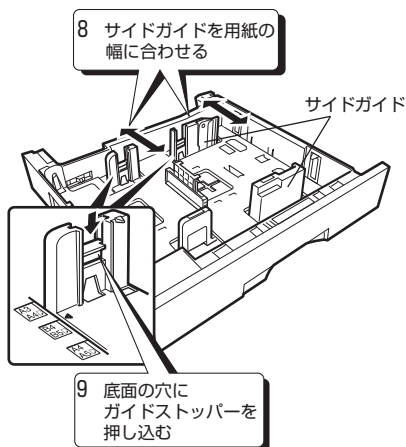
5 ばねを取り付ける

- ばねをキャップに取り付ける際には、ばねがキャップのツメの下に入るようにしっかり押し込みます。
- 使用しないばねは紛失しないようにばね収納部に収納します。

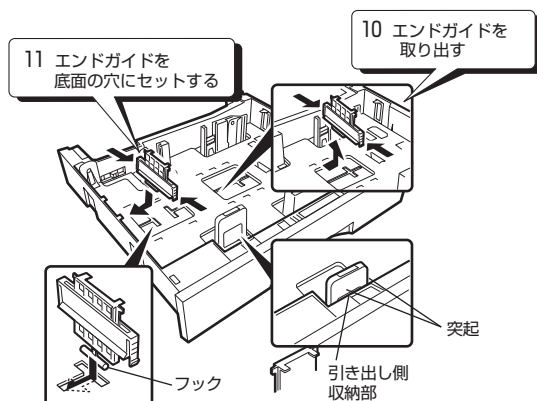
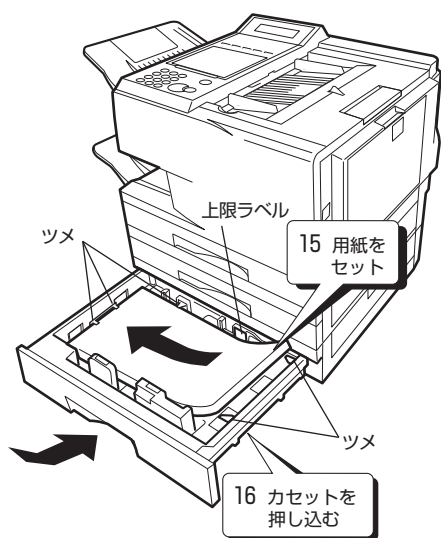
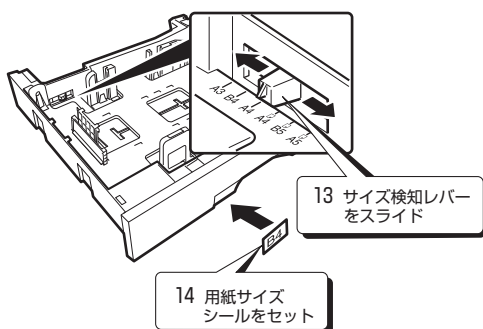
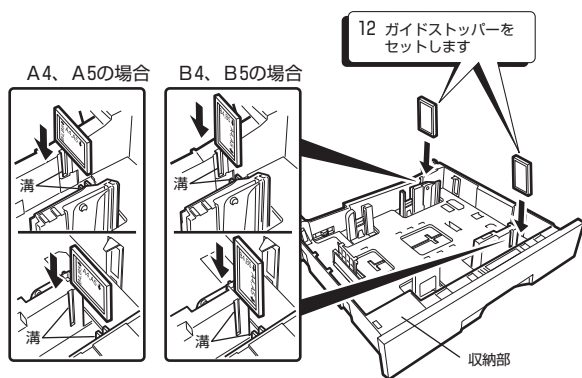
6 ばねを底板の折り曲げ部に合わせて差し込み、キャップを回してセットする

・ばねが折り曲げ部の根元に入るようにセットします。

7 緑色のガイドストッパー（2 か所）を引き上げる

8 サイドガイドをスライドさせ、セットする用紙の幅（B4、B5）に合わせる

9 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

10 エンドガイド（緑色）の両側を押して、取り出す

11 エンドガイドのツメを用紙カセットの底面の穴（B4）に入れ、セットする

・エンドガイド下側のフックを底板の穴に引っ掛けるようにしてセットします。
・A3 サイズの場合は、エンドガイドを用紙カセットの引き出し側収納部に突起の方向に注意して確実にセットします。

12 ガイドストッパーをカセットとサイドガイドの間の溝にセットする

- 用紙サイズを B4、B5、A4、A5 にセットする場合に使用します。A3、A4▯の場合はガイドストッパーを使用しません。（収納部に保管しておいてください）
- B4、B5 の場合には、ガイドストッパーの B4、B5 の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。
- A4、A5 の場合には、ガイドストッパーの A4、A5 の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。

13 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（B4）に合わせる

14 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（B4）に貼り替える

15 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5 か所）の下にセットする

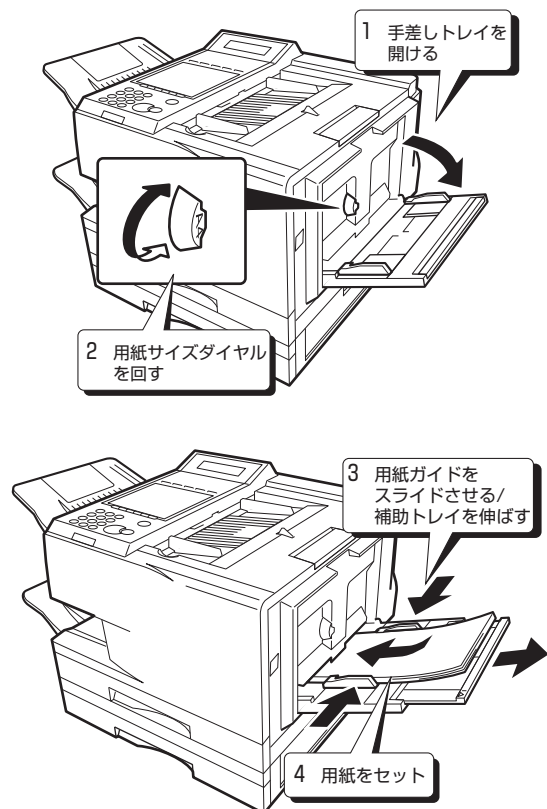
- 用紙は用紙上限ラベルの矢印を超えてセットしないでください。

16 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

手差しトレイへの用紙セット

手差しトレイには、A3、B4、A4、A4、B5、A5）の各サイズの用紙および、はがきがセットできます。
一度にセットできる用紙は最大 30 枚、官製はがきは最大 5 枚です。
・ 用紙サイズダイヤルは「カチッ」と音がするまで回し、必ず正しいサイズ表示に合わせてください。合っていないと紙づまりの原因になります。

例：A4 用紙をセットする場合

1 手差しトレイを開ける

2 用紙サイズダイヤルを回して、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

・「カチッ」と音がするまで回します。

3 用紙ガイドをスライドさせてセットする用紙の幅（A4 ／ A5）に合わせ、手差し補助トレイを伸ばす

4 用紙の四隅をそろえ、印字したい面を上にしてツメの下にセットし、奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

- 用紙がセットされていないと、用紙ランプが点滅し、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。
- 手差しトレイはコピーするときに使用します。
- 用紙の長さが A4 サイズ以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてからセットします。
- セットする用紙の量は、規定の枚数より多くセットしないでください。規定の枚数を超える量をセットすると、紙づまりの原因になります。
- 官製はがき以上の厚いはがきにプリントすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になります。
- 用紙サイズダイヤルは、表示のないところに合わせないでください。表示のないところに合わせると、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。また、コピーするとき、ディスプレイの用紙サイズは「＊＊＊＊」と表示され、用紙は繰り込まれません。
- 用紙は必ず用紙ガイドに合わせて正しくセットしてください。斜めにセットしたり、用紙ガイドに合わせないと、紙曲がりの原因となり、正しくプリントできません。
- 折り目、シワのある用紙、湿った用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。

- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因になります。
- 用紙をセットするときは、印字される面を上にしてセットしてください。
- プリント中には、用紙を追加しないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙がセットされているときは、手差しトレイを閉じないでください。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

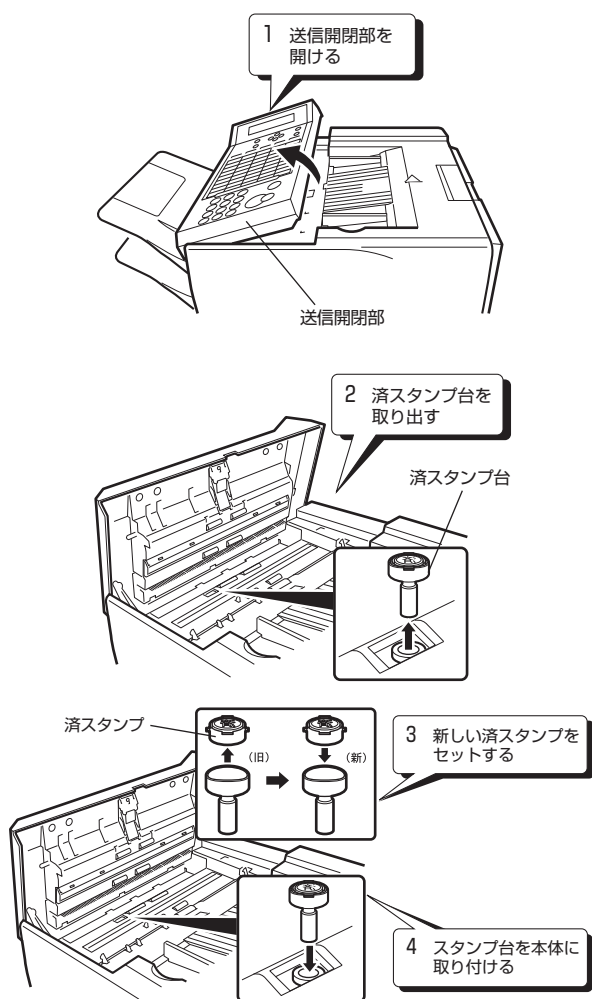
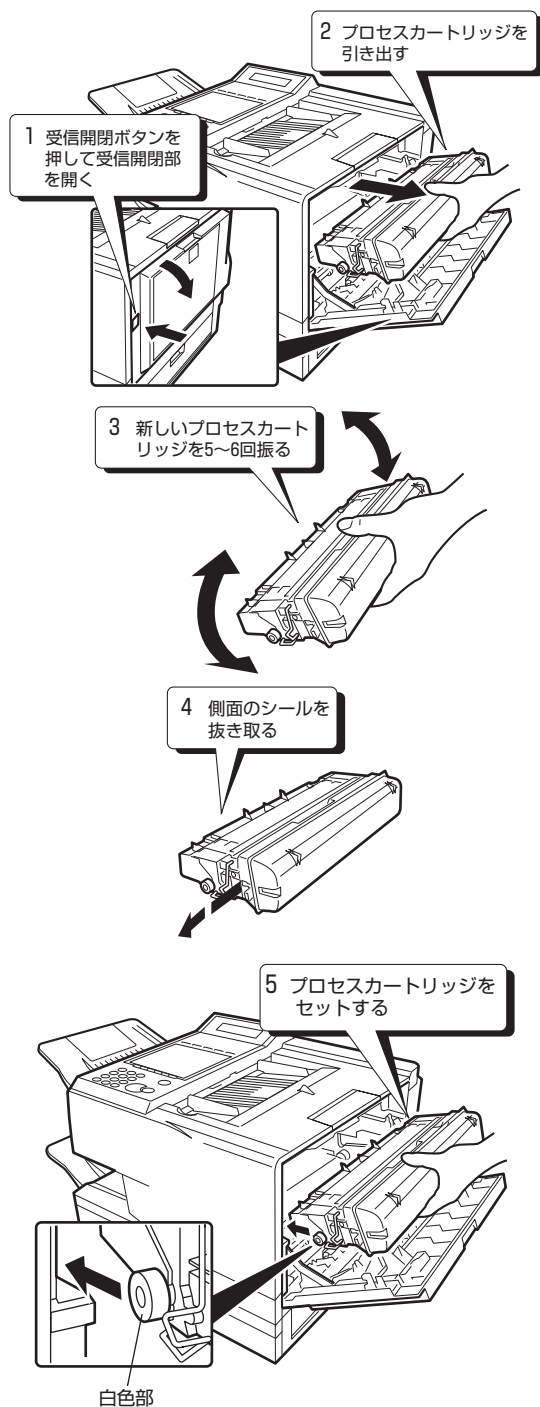
済スタンプの交換

済マークが薄くなってきたら交換します。
・ 済スタンプは当社指定品をご使用ください（品番：UG-4105-2）

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 済スタンプ台を取り出す

3 使用済の済スタンプを取り外し、新しい済スタンプをセットする

4 スタンプ台を本体に取り付ける

プロセスカートリッジの交換

トナーが無くなると、ディスプレイに“トナーがありません”が表示され、トナーランプ が点灯します。プロセスカートリッジを交換してください。

- ・１時間以上電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。プロセスカートリッジの交換は、電源を“｜”（入）のままで行ってください。
- ・トナーの残量が少なくなってくると、トナーランプ が点滅します。早めにプロセスカートリッジを交換してください。
- ・トナーが無いときは、プリントができなくなります。

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、引き抜く

3 新しいプロセスカートリッジを５〜６回振る

4 側面のシールを抜き取る

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

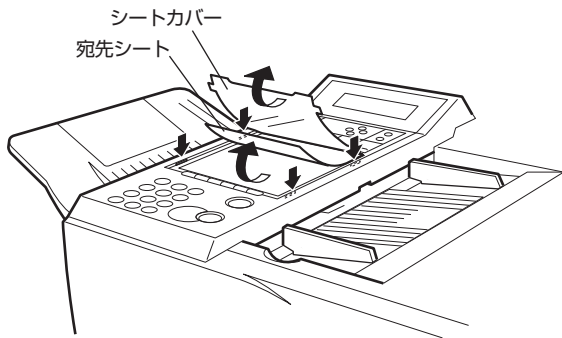
6 受信開閉部を確実に閉める

- ●当社では、環境保護のため使用済みのプロセスカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのプロセスカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳しくは、プロセスカートリッジに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- ●プロセスカートリッジは、当社指定品をご使用ください。（品番：DE-1004）
- ●プロセスカートリッジの交換・回収についてご不明な点は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

お知らせ

- ● プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- ● 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

宛先シートの使い方

ワンタッチダイヤルに登録した宛先やプログラムボタンに登録したプログラム名を宛先シートに記入します。

宛先シートの記入のしかた

1 シートカバーを外す

2 宛先シートを取り出し、登録した宛先を記入する

- H または 2H の鉛筆、またはボールペンで記入します。
- 記入した文字は、消しゴムで消すことができます。

3 宛先シートをセットし、シートカバーを取り付ける

お知らせ

- 鉛筆で記入したときは鉛筆の粉を払ってから、ボールペンで記入したときはインクが乾いてからセットしてください。

宛先シート

F1 あ 通信予約の確認	F2 い 通信予約の消去	F3 う 通信管理の確認	F4 え タイマー通信	F5 お
F6 か	F7 き	F8 く	F9 け	F10 こ
01 さ	02 し	03 す	04 せ	05 そ
06 た	07 ち	08 つ	09 て	10 と
11 な	12 に	13 ぬ	14 ね	15 の
16 は	17 ひ	18 ふ	19 へ	20 ほ
21 ま	22 み	23 む	24 め	25 も
26 や	27 ゆ	28 よ	29	30
31 ら	32 り	33 る	34 れ	35 ろ
36 わ	37 を	38 ん	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50

お手入れのしかた

快適に末永くご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。
お手入れするときは、必ず電源スイッチを“○”（切）にしてください。

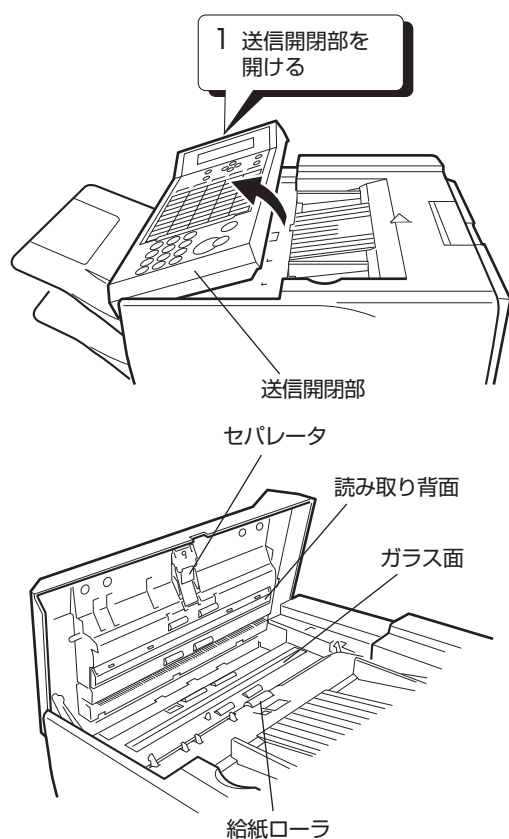
本体のお手入れ

カバーの汚れを取るときは、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。

- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
- 化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 1 時間以上、電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。

読み取り部のお手入れ

相手機の受信記録、コピーした記録が汚れてきたら、清掃してください。
また、原稿がつまったり、給紙が悪くなったときは、セパレータ、給紙ローラを清掃してください。

- 柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってからふきます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 読み取り部（ガラス面）、読み取り背面（白色面）、セパレータ、給紙ローラを拭く

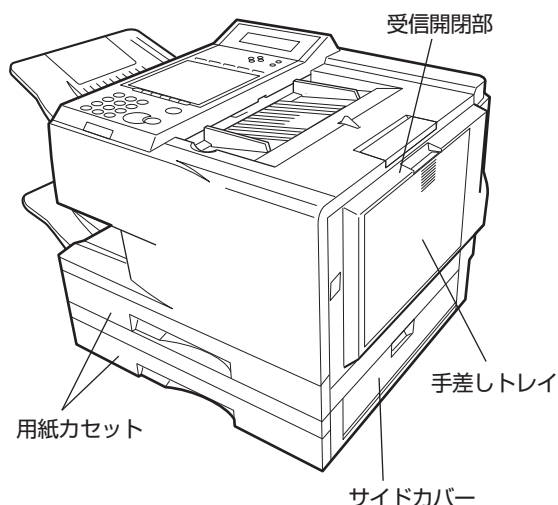
3 送信開閉部を確実に閉める

お知らせ

● 読み取り部（ガラス面）に傷をつけないよう、ご注意ください。

こんなときには

用紙がつまったとき

用紙がつまると、ディスプレイに“用紙を確認してください”とエラーメッセージが表示され、紙づまりランプが点滅します。
次の表を参考にして確認箇所を選び、つまった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	確認箇所
受信開閉部を開けて用紙を確認してください	受信開閉部、手差しトレイ
サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください	用紙カセット、サイドカバー

（上記エラーメッセージ中の「■」は何段目のカセットかを示しています）

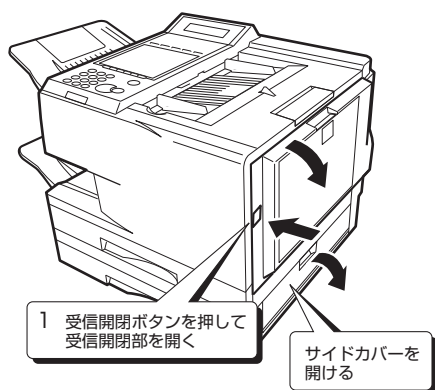
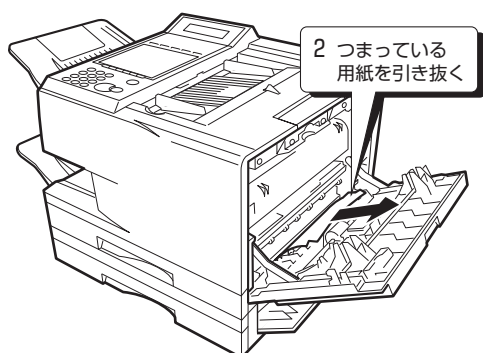
お知らせ

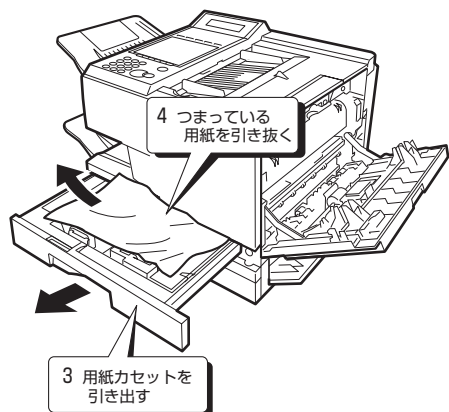
● 用紙を取り除くときは、電源スイッチを“I”（入）のままで行ってください。

オプションの増設給紙ユニットをお使いの場合

増設給紙ユニットで用紙がつまったときは、「サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください」が表示されます。（「■」は何段目のカセットかを示しています。）

次のようにして、つまった用紙を取り除いてください。
1　サイドカバーを開けて、つまった用紙を取り除く
2　増設給紙ユニットの用紙カセットを引き、つまっている用紙を取り除く
3　増設給紙ユニットの用紙カセットを確実にセットする
4　受信開閉部を開けて、つまっている用紙がないことを確認する
5　受信開閉部を確実に閉める

用紙カセットでつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部およびサイドカバーを開ける

2 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

3 用紙カセットを、止まるまで静かに引き出す

4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

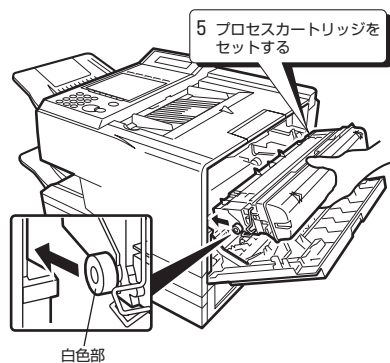
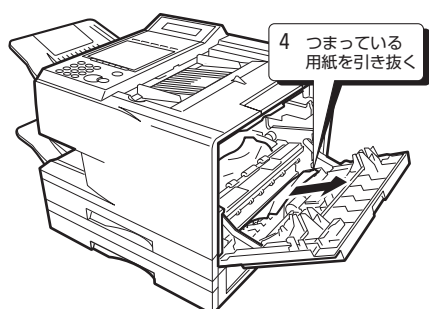
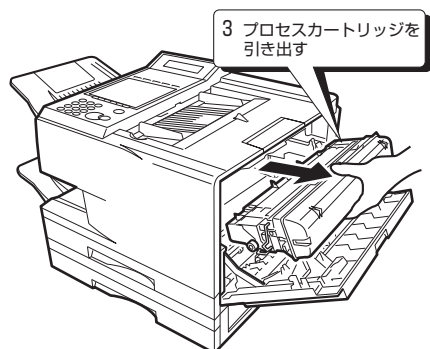
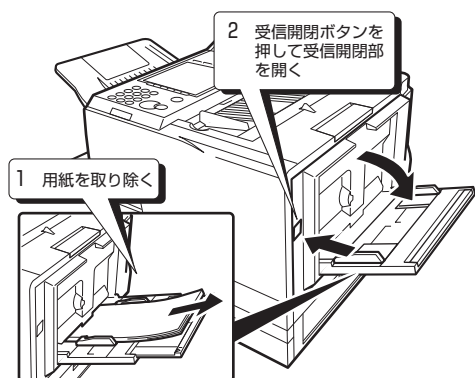
5 用紙カセットを、奥に突き当たるまで確実に押し込む

・カセットは静かにセットしてください。

6 受信開閉部およびサイドカバーを確実に閉める

お知らせ

- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- 用紙カセットを戻す前に、残りの用紙が用紙カセットのツメ（5か所）の下に収まっていることをお確かめください。ツメの上に出ていると、紙づまりの原因となります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

手差しトレイでつまっているとき

1 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

3 プロセスカートリッジを持ち、静かに引き抜く

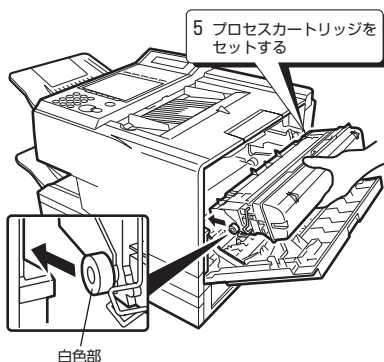
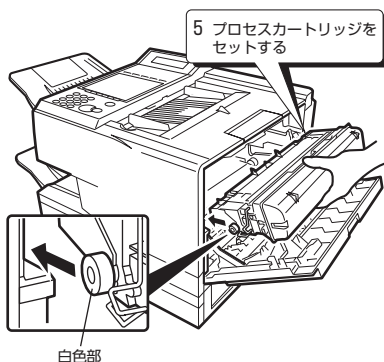
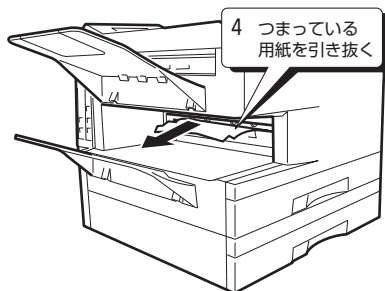
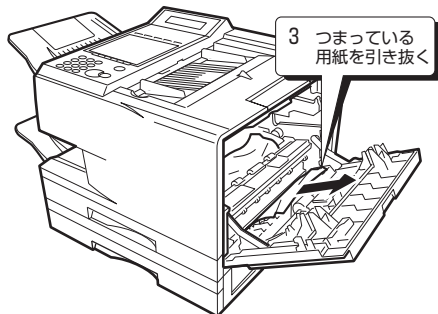
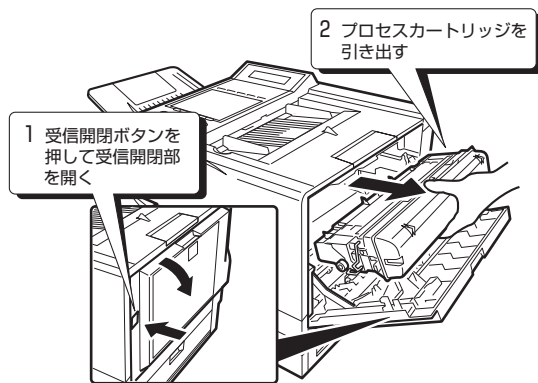
4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、用紙サイズダイヤル（☞172 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

本体内部でつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、静かに引き抜く

3 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

4 同様に、つまっている用紙を矢印の方向に引き抜く

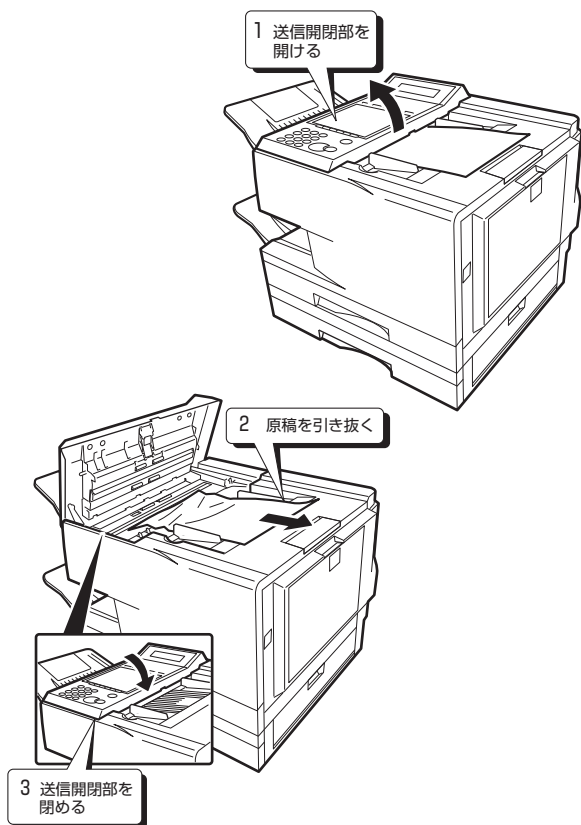
5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、サイズ検知レバー（☞168 ページ、☞171 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

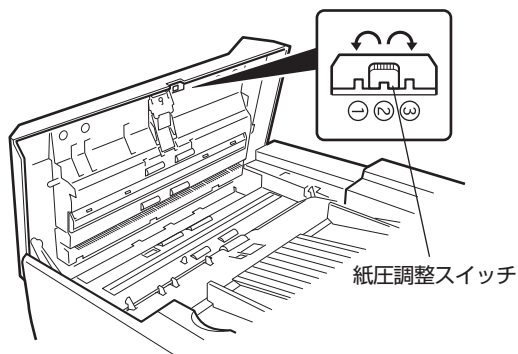
原稿がつまったとき

原稿がつまると、ディスプレイに“送信開閉部を開けて原稿を確認してください”が表示されます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 つまっている原稿を、矢印の方向に引き抜く

3 送信開閉部を確実に閉める

自動給紙圧を調整する

原稿が繰り込まれないとき、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧の調整をしてください。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 紙圧調整スイッチ（青色）をスライドさせて調整する。スイッチの溝が本体の突起にはまる位置で止める

こんなときは	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	
標準位置（通常はここにしておきます）	
2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	

3 送信開閉部を確実に閉める

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときは	原因	対応	参照ページ
原稿が繰り込まれない	送信開閉部が閉まっていない	送信開閉部を閉めてください	16 ページ
	A6 サイズより小さい原稿を送信開閉部にセットしている	キャリアシートを使って原稿をセットしてください	22 ページ
原稿が斜めに繰り込まれる	原稿ガイドを合わせていない	原稿ガイドを合わせてから、原稿をセットしてください	20 ページ
アラーム音が鳴り、“原稿を確認してください”が表示される	送信またはコピーする原稿が長すぎる	原稿の長さを 2000mm 以下にしてから、送信・コピーをしてください。	21 ページ
送信できない	セレクト送信をセットしている	セレクト送信を解除してください	80 ページ
	パスワード送信をセットしている	パスワード送信を解除してください	67 ページ
受信できない	セレクト受信をセットしている	セレクト受信を解除してください	81 ページ
	パスワード受信をセットしている	パスワード受信を解除してください	69 ページ
呼出音が鳴りっぱなしで、受信できない	ファクスが“手動受信”にセットされている	受話器を取り、受信操作をしてください	40 ページ
	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに保存されている原稿をプリントしてください	41 ページ
	電源が“○”（切）になっている	電源を“I”（入）にしてください	164 ページ
受信した原稿がプリントされない	用紙がなくなっている	用紙を補充してください	166 ページ
	用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	166 ページ
	用紙がつまっている	エラーメッセージを確認して、つまった用紙を取り除いてください	177 ページ
メモリーランプ点灯状態で送信できない	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに空きができてから、送信してください	―
		ダイレクト送信してください	30 ページ
	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	―
		ダイレクト送信してください	30 ページ
リモート受信できない	システム登録の「047 リモート受信」が“なし”になっている	「リモート受信」を“あり”にしてください	143 ページ
	ファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	164 ページ
	外部電話機から電話をかけている	外部電話機から電話をかけた場合は、リモート受信はできません	―
タイマー通信や、ポーリング通信などの通信をセットできない	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	―
		予約している通信を取り消してから、通信してください	91 ページ
セレクト通信できない	相手のダイヤル番号を、本機に登録していない	相手のダイヤル番号を登録してください	111 ページ
	相手の ID 番号に、電話番号が登録されていない	相手に、ID 番号には電話番号を登録するように伝えてください	―
ポーリング通信できない	ポーリング通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	―
パスワード通信できない	パスワード通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	―
受信またはコピーしたとき、白紙がプリントされる	原稿の裏表を逆にしてセットしている	原稿の裏表を確認してからセットし直してください	20 ページ

こんなときは	原因	対応	参照ページ
受信またはコピーしたとき、黒い筋や点がプリントされる	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	174 ページ
	読み取り部が汚れている	読み取り部を清掃してください	176 ページ
受信またはコピーしたとき、部分的に欠けていたり、記録が薄くなる	・用紙が湿気を含んでいる ・用紙に折り目やシワがある	新しい包装の用紙と交換してください	166 ページ
	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	174 ページ
送信またはコピーしたとき、両端がプリントされない	有効読み取り画面の外に文字が書かれている	文字は、有効読み取り画面の中に書いてください	21 ページ

お知らせ

● 以上の項目をチェックしても症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主なエラーコード

通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

エラーコード	原因	処置	参照ページ
0212～0402、0404、0407～0410、0416～0456、0459～0571	回線異常または相手機異常	相手に確認して、もう一度通信してください	ー
0403	ポーリング受信時、相手機にポーリング送信の機能がない	ポーリング受信できません	ー
0406	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	セレクト通信時、相手機から送られる ID 番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手に確認して、通信し直してください	ー
0411、0414、0415	ポーリング通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	相手機の異常		
0427	相手からポーリング受信されたとき、本機にポーリング送信がセットされていない	ポーリング送信をセットしてください	50 ページ
0438	迷惑ファクス防止機能で設定されている受信拒否 ID 番号の相手から着信した	受信拒否ID番号に登録されている相手先です	72 ページ
0457	親展通信または中継通信時、相手機に機能がない	親展通信または中継通信はできません	ー
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください	ー
0895 ～ 0899	送信開始時、機器内部チェック処理でエラーが発生	もう一度、通信をやり直してください。	ー

オプションの G4G3 通信ユニット利用時の主なエラーコード。

エラーコード	原因	処置	参照ページ
0901、1901	ISDN 回線に正しく接続されていない	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください	ー
0902、1902 0908、1908	本商品側で通信中に回線が抜けた	ISDN 回線接続を確認し、もう一度操作してください	ー
0926、1926	相手先から応答がないため、通信できない	下記の確認後、もう一度操作してください 1. 回線は正しく切断されているか 2. 相手先の電話番号は正しいか（相手先がファクスでない可能性もあります） 3. 相手先のファクスが通信できる状態になっているか	ー
0970、1970	ISDN 回線から通信を拒否された	ISDN の回線契約を確認し、契約に合った使い方で操作してください	ー
1416	相手先が通信を中止した	相手先に確認して、もう一度送信してください	ー
1432	ポーリング受信時、相手先にポーリング機能がない	ポーリング受信できません	ー
	ポーリング受信時、相手先がポーリング送信をセットしていない	相手先にポーリング送信をセットしてもらってください	ー
1437	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手機に確認して、通信し直してください	ー
	セレクト通信時、相手機から送られてくる ID 番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手機に確認して、通信し直してください	ー
1440	マルチコピー通信時、相手機にマルチコピー通信の能力がない	マルチコピー通信できません	ー

お知らせ

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。
- 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- システム登録の「123 リルート機能」が“あり”のときは、エラーコード先頭の 4 桁目の番号が 3 ～ 5（例：3XXX）となります。（☞ 144 ページ）「3」「4」または「5」が付与される場合は、「IP 電話 -IP 電話発呼」「IP 電話 - 一般電話発呼」または「一般電話 - 一般電話」の場合によって異なります。

主なエラーメッセージ

通信エラーになったときや受信開閉部が開いているときなど、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。
（下記メッセージの「■」は何段目のカセットかを示しています）

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
サイドカバー■を開けて 用紙を確認してください	用紙づまり	サイドカバーを開けて用紙づまりを取り除いてください。	177 ページ
受信開閉部を開けて 用紙を確認してください	・手差しトレイ用紙づまり ・本体内部用紙づまり	受信開閉部を開けて用紙づまりを取り除いてください。	179 ページ 180 ページ
カセットを引き出して 用紙を確認してください	カセット引き出しに伴う用紙づまり	カセットを開けて用紙づまりを取り除いてください。	178 ページ
カセット■に用紙を補給してください	表示されている用紙カセットの用紙切れ	表示カセットへ用紙を補給してください。	166 ページ
手差しトレイに用紙を補給してください	手差しトレイの用紙切れ	手差しトレイへ用紙を補給してください。	172 ページ
用紙サイズが違います カセット■を確認してください	表示カセットの用紙サイズが正しくセットされていない	サイズ検知レバー（緑色）を正しくセットしてください。	168 ページ 171 ページ
用紙サイズが違います 手差しトレイを確認してください	手差しトレイの用紙サイズが正しくセットされていない	用紙サイズダイヤルを正しくセットしてください。	172 ページ
カセット■がありません カセットをセットしてください	表示されている用紙カセットがセットされていない	用紙カセットを確実にセットしてください。	166 ページ
サイドカバー■を閉めてください	表示されているサイドカバーが開いている	サイドカバーを確実に閉めてください。	177 ページ
トナーが少なくなっています カートリッジを交換してください	トナーが少なくなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	174 ページ
トナーがありません カートリッジを交換してください	トナーが無くなっている	プロセスカートリッジを交換してください。	174 ページ
受信開閉部を閉めてください	受信開閉部が開いている	受信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
カートリッジがありません セットしてください	プロセスカートリッジがセットされていません	プロセスカートリッジをセットしてください。	174 ページ
プリンター部確認[XXXX] サービスコールをしてください	プリンター部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	ー
読み取り部確認 [XXXX] サービスコールをしてください	読み取り部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	ー
システム部確認 [XXXX] サービスコールしてください	システム部で故障が発生しました。	お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。	ー
送信開閉部を開けて原稿を確認してください 原稿ジャムが発生しました	・原稿づまり ・原稿の長さが 2000mm を超えている	・原稿づまりを取り除いてください。 ・原稿を 2000mm 以内にして、送信し直してください。	21 ページ 181 ページ
読み込みの定型サイズより長い	回転送信を行いましたが、原稿長が定型サイズ（A4）よりも長い	原稿サイズを A4 と認識しています。原稿長検知センサーがオンするように、しわやカールをなくしてください。	23 ページ

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
送信開閉部を閉めてください	送信開閉部が開いている	送信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
通信エラーがありました	通信エラー	送信し直してください。	—
メモリーが一杯になりました	メモリーが一杯になった	・原稿読み取り中にメモリーが一杯になった場合は、送信できなかったページから送信してください。 ・メモリーに保存されている受信原稿をプリントしてください。	34 ページ 41 ページ
	原稿の読み込み枚数が 255 枚となった	・何度かに分けて送信してください。	30 ページ
相手先が使用中です	自動再ダイヤルしてもつながらない	・もう一度送信してください。	31 ページ
相手先から応答がありません	自動再ダイヤルしてもつながらない	・相手先がファクスでない場合があります。番号を確認してから、もう一度通信してください。	31 ページ

停電のとき

停電になると、電話を受けること以外、ファクスの操作はすべてできなくなります。停電中の電話は外部電話機をご利用ください。

本機に保存されている内容について

停電中は、メモリーに蓄積された原稿を装置内蔵電池で保持します。

内蔵電池を充電してください。
- 停電中でも保存されている内容を保持するために、内蔵電池を充電する必要があります。
- 内蔵電池を充電するため、設置後、約 48 時間の間、電源を"I"（入）にしておいてください。

停電が続くと
- 1 時間以上電源が切れていると、メモリーに蓄積された原稿が消去されます（本機に登録・設定した内容は消去されません）。
- 10 日以上電源が切れていると、本機に設定した時計内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ると、ディスプレイに0月0日が表示されます。この場合は、設定し直してください。

停電が復旧したとき

メモリー内の原稿が消去されたときは、「停電レポート」をプリントして、消去した原稿枚数・受信した宛先・予約した通信の内容をお知らせします。

(UF-A800 の例です)

01頁
UF-A800　Ver　V00000
Panasonic
11年07月01日18時29分

停電レポート

停電日時：07 月 01 日16 時00分

＊＊　下記の通信予約は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付番号	受付日時	相手先／依頼元	通信種別	パスワード	ﾓｰﾄﾞ	宛先数
001	001	07-01 15:30	Panasonic USA	送　信		G3外	001
001	002	07-01 15:31	大阪支店	親展送信	1234	G3外	003

＊＊　下記の受信文書は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付 No.	通信日時	相手先	通信種別	ﾓｰﾄﾞ
001	003	07-01 15:32	ｿｳﾑﾌﾞ	受　信	G3外
001	005	07-01 15:42	ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ	受　信	G3外

チェック＆コール

万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

充電式ニッケル水素電池の取り扱いについて

本機はニッケル水素電池を使用しています。

●ニッケル水素電池の性能が低下してくると、停電中にメモリーの内容を保存する時間が短くなってきます。そのような場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご連絡ください。有償でニッケル水素電池の交換をいたします。

●ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。本機を廃棄する場合、リサイクルしますので廃棄せずお買い上げの販売店または、サービス実施会社までお問い合わせください。二次電池のリサイクルに関しては、以下のホームページを参考にしてください。
（一般社団法人　JBRC のホームページ：http://www.jbrc.net/hp/）

Ni-MH

消耗品・オプション

■消耗品

用紙

良好な記録をしていただくため、できるだけ当社の推奨品をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）

プロセスカートリッジ....................DE-1004

済スタンプ UG-4105-2

■オプション

キャリアシート
- A3...UG-1100A3
- B4...UG-1100B4
- A4...UG-1100A4

増設メモリーキット 64MB UE-410067

パナファクスデスク.........................UE-401006

第 3 給紙ユニット用
- パナファクスデスク UE-401007

増設給紙ユニット 500 ....UE-409068

ハンドセットユニット.....................UE-403146

G4G3 通信ユニット（注 1）.........UE-407028

G3 通信ユニット（注 1）...............UE-407027

中継センターユニット（注 1）.......UE-403183

インターネットFAX　ユニット............UE-404095

72H メモリー
- バックアップ（注 1）...................UE-403157

ポート拡張ユニット（注 1）...........UE-403182

お知らせ

- オプションに関する詳細は、お買い上げの販売会社･販売店にお問い合わせください。
- 上記以外の増設メモリーキットを本装置へ使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、上記増設メモリーキットを指定以外の装置へ使用しても故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- (注 1) は UF-A800 でお使いになれます。

古い電池・電池パックはリサイクルに…

Ni-MH

Ni-Cd

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- 72H メモリーバックアップは、ニカド電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ニカド電池は貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池・電池パック、および使用済み製品から取り外した電池・電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙・発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- 2 次電池のリサイクルに関しては、以下のホームページを参考にしてください。

一般社団法人 JBRC のホームページ
http://www.jbrc.net/hp/

- リサイクル時のお願い
  - ・ 電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
  - ・ ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - ・ 電池パックを分解しないでください。

● オプションの増設メモリーキットを取り付けるとを取り付けると、メモリーに保存できる枚数は次のようになります。

増設メモリーキット	通信用メモリー容量	保存できる枚数	お使いの機種
なし（お買い上げ時）	2MB	約 120 枚	UF-A700
	6MB	約 360 枚	UF-A800
あり（オプション）	66MB	約 1,997 枚	UF-A700
	70MB		UF-A800

・ 保存できる枚数は、A4 標準原稿（A4 サイズ 700 字程度の原稿）を、文字サイズ「ふつう」で読み取ったときの枚数です。原稿によって、枚数は異なります。
・ タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数は少なくなります。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

『取扱説明書（ファクス編）』（本書）の「故障かな？と思ったら」（p.182）でご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	レーザー普通紙ファクシミリ
●品　番	UF-A800 / UF-A700
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 （ただし、消耗品は除く）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 5 年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

● **アフターサービスについて、おわかりにならないとき**
お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています連絡先へお問合わせください。

● **使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。**
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

● **本製品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。**
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● **本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。**
Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

主な仕様

品番	UF-A700、UF-A800
認証機器名	UF-A700、UF-A800
電源	AC100V ± 10V 50/60Hz
消費電力	待機時　：節電モード時：約 15W （省エネモード時：約 1.6W ） [UF-A700] 　　　　　節電モード時：約 21W （省エネモード時：約 1.6W ） [UF-A800] 最大動作時：約 880W 送信時　：約 37W.......... [UF-A700] 　　　　　約 55W.......... [UF-A800] 受信時　：約 830W コピー時　：約 880W
適合回線	G3（注 1）： 電話回線、ファクシミリ通信網（F 網 2 種接続サービス）、 国際ファクシミリサービス（F ポート） G4（注 2）： ISDN 回線
直流抵抗値	212Ω
通信可能機種	G3（国際規格）、G4（注 2）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3（注 1）： 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800 /14400/12000/9600/7200/4800/2400bps G4（注 2）： 64000/56000bps
走査線密度	ファクス　主走査：16dot/mm〔UF-A800〕、16dot/mm 相当〔UF-A700〕 副走査：15.4line/mm（細密）、7.7line/mm（小さい） 3.85line/mm（ふつう） コピー　主走査：16dot/mm〔UF-A800〕、16dot/mm 相当〔UF-A700〕 副走査：15.4line/mm
読み取り方式	CCD イメージセンサーによる固体電子走査
原稿サイズ	A3 ～ A6（最大：幅 297mm ×長さ 2000mm、最小：幅 148mm ×長さ 105mm）
有効読み取り幅	（A3）最大：292mm、（A4）最大：205mm
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（手差しコピー時）
有効記録範囲	用紙の各辺から 4mm を除く範囲
外形寸法	約 523mm（W）× 513mm（D）× 452mm（H）（突起部を除く）
本体質量	約 32kg
使用環境	温度：10 ℃～ 35 ℃　湿度：45%～ 85% （ただし、35 ℃のときは、湿度 70%以下、湿度 85%のときは 30 ℃以下）

- （注 1）一般の電話回線での最高通信速度は 28800bps 程度です。
- （注 2）「G4G3 通信ユニット」オプション追加時です。
- 認定番号は、本体背面に記載しております。

区点コード表

第1水準

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
20〜39	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
40〜59	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60〜79	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
80〜95	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓					
20〜39							∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩						
40〜59			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃											
60〜79	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
80〜95			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯					

03	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19																	０	１	２	３
20〜39	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
40〜59	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
60〜79						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
80〜90	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ									

04	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20〜39	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40〜59	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60〜79	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80〜95	ゐ	ゑ	を	ん																

05	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20〜39	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40〜59	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60〜79	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80〜86	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20～39	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η
40～59	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
60～79																				
80～94																				

07	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20～39	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40～59										а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
60～79	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80～81	ю	я																		

08	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20～39	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40～59																				
60～79																				
80～90																				

16	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		亜(ア)	唖	娃	阿	哀(アイ)	愛	挨	姶(あい)	逢	葵(あおい)	茜(あかね)	穐(あき)	悪(アク)	握	渥	旭(あさひ)	葦(あし)	芦	鯵(あじ)	あ
20	梓(あずさ)	圧(アツ)	斡	扱(あつかい)	宛(あて)	姐(あね)	虻(あぶ)	飴(あめ)	絢(あや)	綾	鮎(あゆ)	或(ある)	粟(あわ)	袷(あわせ)	安(アン)	庵	按	暗	案	闇	
40	鞍	杏(あんず)	以(イ)	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井(い)	亥	域(イキ)	育(イク)	郁	磯(いそ)	一(イチ)	壱	溢(イツ)	逸	
80	稲(いね)	茨(いばら)	芋(いも)	鰯(いわし)	允(イン)	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭						

17	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		院	陰	隠	韻	吋(いんち)	右(ウ)	宇	烏	羽	迂	雨	卯(う)	鵜	窺(うかがい)	丑(うし)	碓(うし)	臼	渦(うず)	嘘(うそ)	う
20	唄(うた)	欝(ウツ)	蔚	鰻(うなぎ)	姥(うば)	厩(うまや)	浦(うら)	瓜(うり)	閏(うるう)	噂(うわさ)	云(ウン)	運	雲	荏(え)	餌	叡(エイ)	営	嬰	影	映	え
40	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液(エキ)	疫	益	駅	悦(エツ)	謁	越	
60	閲	榎(えのき)	厭(エン)	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	
80	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於(オ)	汚	甥(おい)	凹(オウ)	央	奥	往	応						お

18	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡(おか)	沖(おき)	荻(おぎ)	億(オク)	屋	憶	臆	桶(おけ)	
20	牡(おす)	乙(オツ)	俺(おれ)	卸(おろし)	恩(オン)	温	穏	音	下(カ)	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	か
40	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	
60	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊(か)	俄(ガ)	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
80	介(カイ)	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改						

19	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝(かい)	凱(ガイ)	劾	外	咳	害	崖	
20	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬(かいり)	馨(かおり)	蛙(かえる)	垣(かき)	柿	蛎	鈎(かぎ)	劃(カク)	嚇	各	廓	
40	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学(ガク)	岳	楽	額	
60	顎	掛(かけ)	笠(かさ)	樫(かし)	橿	梶(かじ)	鰍(かじか)	潟(かた)	割(カツ)	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且(かつ)	鰹(かつお)	
80	叶(かない)	椛(かば)	樺	鞄(かばん)	株(かぶ)	兜(かぶと)	竃(かま)	蒲	釜	鎌	噛(かみ)	鴨(かも)	栢(かや)	茅	萱						

20	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		粥(かゆ)	刈(かり)	苅	瓦(かわら)	乾(カン)	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	
20	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	
40	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	
60	舘	丸(ガン)	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企(キ)	伎	危	喜	器	き
80	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄						

21	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
20	鬼	亀	偽(ギ)	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬(キク)	菊	鞠	
40	吉(キチ)	吃(キツ)	喫	桔	橘	詰	砧(きぬた)	杵(きね)	黍(きび)	却(キャク)	客	脚	虐(ギャク)	逆	丘(キュウ)	久	仇	休	及	吸	
60	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛(ギュウ)	去(キョ)	居	
80	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁(ギョ)	禦	魚	亨(キョウ)	享	京						

22 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
20〜	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰（キョウ）	凝	尭	暁
40〜	業	局（キョク）	曲	極	玉（ギョク）	桐（きり）	粁（きろ）	僅（キン）	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
60〜	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟（ギン）	銀	九（ク）	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	く
80〜	駒	具（グ）	愚	虞	喰（くい）	空（クウ）	偶（グウ）	寓	遇	隅	串（くし）	櫛	釧（くしろ）	屑（くず）	屈（クツ）					

23 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		掘	窟	沓（くつ）	靴	轡（くつわ）	窪（くぼ）	熊（くま）	隈	粂（くめ）	栗（くり）	繰	桑（くわ）	鍬	勲（クン）	君	薫	訓	群（グン）	軍
20〜	郡	卦（ケ）	袈	祁	係（ケイ）	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	け
40〜	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
60〜	鶏	芸（ゲイ）	迎	鯨	劇（ゲキ）	戟	撃	激	隙	桁（けた）	傑（ケツ）	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月（ゲツ）	件（ケン）
80〜	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲					

24 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
20〜	鹸	元（ゲン）	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎（コ）	個	古	呼	固	こ
40〜	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
60〜	顧	鼓	五（ゴ）	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
80〜	乞（こい）	鯉	交（コイ）	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向					

25 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
20〜	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
40〜	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
60〜	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛（ゴウ）	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹（こうじ）	克（コク）	刻
80〜	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄（ゴク）	漉（こし）	腰	甑（こしき）	忽（コツ）	惚	骨	狛（こま）	込（こみ）					

26 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		此（これ）	頃（ころ）	今（コン）	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些（サ）	さ
20〜	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐（ザ）	座	挫	債（サイ）	催	再	最
40〜	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
60〜	載	際	剤（ザイ）	在	材	罪	財	冴（さえ）	坂（さか）	阪	堺（さかい）	榊（さかき）	肴（さかな）	咲（さき）	崎	埼	碕	鷺（さぎ）	作（サク）	削
80〜	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜（さくら）	鮭（さけ）	笹（ささ）	匙（さじ）	冊（サツ）	刷					

27 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑（ザツ）	皐（さつき）	鯖（さば）	捌（さばき）	錆（さび）	鮫（さめ）	皿（さら）	晒（さらし）	三（サン）	傘	参	山
20〜	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬（ザン）	暫	残	仕（シ）	仔	伺	し
40〜	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
60〜	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
80〜	諮	資	賜	雌	飼	歯	事（ジ）	似	侍	児	字	寺	慈	持	時					

28	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐(しお)	鹿(しか)	式(シキ)	識	鴫(しき)	竺(ジク)
20〜	軸	宍(しし)	雫(しずく)	七(シチ)	叱(シツ)	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実(ジツ)	蔀(しとみ)	篠(しの)	偲(しのひ)	柴(しば)	芝
40〜	屡(しばしば)	蕊(しべ)	縞(しま)	舎(シャ)	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇(ジャ)	邪	借(シャク)	勺
60〜	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若(ジャク)	寂	弱	惹	主(シュ)	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
80〜	腫	趣	酒	首	儒(ジュ)	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚(シュウ)	収	周					

29	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
20〜	輯	週	酋	酬	集	醜	什(ジュウ)	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔(シュク)
40〜	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾(ジュク)	熟	出(シュツ)	術(ジュツ)	述	俊(シュン)	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准(ジュン)	循
60〜	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処(ショ)	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
80〜	署	書	薯	藷	諸	助(ジョ)	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷(ショウ)	償					

30	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
20〜	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
40〜	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
60〜	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上(ジョウ)	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
80〜	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱(ショク)	埴	飾					

31	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱(ジョク)	尻(しり)	伸(シン)	信	侵	唇	娠	寝	審	
20〜	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
40〜	身	辛	進	針	震	人(ジン)	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥(ス)	諏	す
60〜	須	酢(す)	図(ズ)	厨	逗	吹(スイ)	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随(ズイ)	
80〜	瑞	髄	崇(スウ)	嵩	数	枢	趨	雛	据(すえ)	杉(すぎ)	椙	菅(すけ)	頗(すこぶる)	雀(すずめ)	裾(すそ)						

32	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		澄(すみ)	摺(すり)	寸(スン)	世(セ)	瀬(せ)	畝	是	凄(セイ)	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20〜	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税(ゼイ)	
40〜	脆	隻(セキ)	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切(セツ)	拙	
60〜	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶(ゼツ)	舌	蝉(せみ)	仙(セン)	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80〜	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前(ゼン)	善	漸	然	
20〜	全	禅	繕	膳	糎(せんち)	噌(ソ)	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40〜	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧(ソウ)	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60〜	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80〜	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像(ゾウ)	増	憎						

34	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗(ゾク)	属	賊	族	続	
20	卒(ソツ)	袖(そで)	其(それ)	揃(そろい)	存(ゾン)	孫	尊	損	村	遜	他(タ)	多	太	汰	詑	唾(ダ)	堕	妥	惰	打	た
40	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体(タイ)	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛(たい)	代(ダイ)	台	大	第	醍	題	鷹(たか)	滝(たき)	瀧	卓(タク)	啄	
80	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁(ダク)	諾	茸(たけ)	凧(たこ)	蛸	只(たた)						

35	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		叩(たたき)	但(ただし)	達(タツ)	辰	奪(ダツ)	脱	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚(たな)	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰	丹(タン)	単	嘆	坦	
20	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(ダン)	団	壇	弾	断	
40	暖	檀	段	男	談	値(チ)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築(チク)	ち
60	畜	竹	筑	蓄	逐	秩(チツ)	窒	茶(チャ)	嫡(チャク)	着	中(チュウ)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80	註	酎	鋳	駐	樗(チョ)	瀦	猪	苧	著	貯	丁(チョウ)	兆	凋	喋	寵						

36	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	
20	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(チョク)	捗	直	朕(チン)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(ツ)	墜(ツイ)	椎	つ
40	槌	追	鎚	痛(ツウ)	通	塚(つか)	栂(つが)	掴(つか・む)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つ・ける)	柘(つけ)	辻(つじ)	蔦(つた)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60	嬬(つま)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	釣	鶴(つる)	亭(テイ)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て
80	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		邸	鄭	釘	鼎	泥(デイ)	摘(テキ)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺(デキ)	哲(テツ)	徹	撤	轍	迭	
20	鉄	典(テン)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(デン)	殿	澱	田	電	兎(ト)	吐	と
40	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ド)	度	土	奴	
60	怒	倒(トウ)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(ドウ)	動	同	堂	導	
20	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒(ドク)	
40	独	読	栃(とち)	橡	凸(トツ)	突	椴(とど)	届(とどけ)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60	頓	呑(ドン)	曇	鈍	奈(ナ)	那	内(ナイ)	乍(なかい)	凪(なぎ)	薙	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(ナツ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(な・れる)	縄(なわ)	畷(なわて)	南(ナン)	楠	な
80	軟	難	汝(なんじ)	二(ニ)	尼	弐	迩	匂(におい)	賑(にぎわい)	肉(ニク)	虹(にじ)	廿(にしゅう)	日(ニチ)	乳(ニュウ)	入						に

39	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		如(ニョ)	尿(ニョウ)	韮(にら)	任(ニン)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ネ)	祢	寧(ネイ)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ネツ)	年(ネン)	念	捻	撚	燃	ぬね
20	粘	乃(ノ)	廼	之(の)	埜	嚢(ノウ)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(ハ)	把	播	覇	杷	のは
40	波	派	琶	破	婆(バ)	罵	芭	馬	俳(ハイ)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60	倍(バイ)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這(は・う)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩	伯(ハク)	剥	博	拍	
80	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(バク)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

40	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		函(はこ)	箱	硲(はざま)	箸(はし)	肇(はしめ)	筈(はず)	櫨(はぜ)	幡(はた)	肌	畑	畠	八(ハチ)	鉢	溌(ハツ)	発	醗	髪	伐(バツ)	罰	
20	抜	筏	閥	鳩(はと)	噺(はなし)	塙(はなわ)	蛤(はまぐり)	隼(はやぶさ)	伴(ハン)	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	
40	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽(バン)	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪(ヒ)	ひ
60	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
80	誹	費	避	非	飛	樋(ひ)	簸	備(ビ)	尾	微	枇	毘	琵	眉	美						

41	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		鼻	柊(ひいらぎ)	稗(ひえ)	匹(ヒキ)	疋	髭(ひげ)	彦(ひこ)	膝(ひざ)	菱(ひし)	肘(ひじ)	弼(ひつ)	必	畢	筆	逼	桧(ひのき)	姫(ひめ)	媛	紐(ひも)	
20	百(ヒャク)	謬(ビュウ)	俵(ヒョウ)	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟(ビョウ)	描	病	秒	苗	錨	鋲(びょう)	蒜(ひる)	
40	蛭	鰭(ひれ)	品(ヒン)	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏(ビン)	瓶	不(フ)	付	埠	夫	婦	富	冨	布	ふ
60	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮(ブ)	撫	
80	武	舞	葡	蕪	部	封(フウ)	楓	風	葺(ふ・く)	蕗	伏(フク)	副	復	幅	服						

42	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		福	腹	複	覆	淵(ふち)	弗(フツ)	払	沸	仏(ブツ)	物	鮒(ふな)	分(フン)	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	
20	粉	糞	紛	雰	文(ブン)	聞	丙(ヘイ)	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米(ベイ)	頁(ページ)	へ
40	僻(ヘキ)	壁	癖	碧	別(ベツ)	瞥	蔑	箆(へら)	偏(ヘン)	変	片	篇	編	辺	返	遍	便(ベン)	勉	娩	弁	
60	鞭	保(ホ)	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂(ほ)	募(ボ)	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣(ホウ)	ほ
80	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋						

43	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏(ボウ)	
20	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
40	鉾	防	吠(ほえ)	頬(ほお)	北(ホク)	僕(ボク)	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦(ぼたん)	勃(ボツ)	没	殆(ほとん・ど)	堀(ほり)	幌(ほろ)	奔(ホン)	
60	本	翻	凡(ボン)	盆	摩(マ)	磨	魔	麻	埋(マイ)	妹	昧	枚	毎	哩(まいる)	槙(まき)	幕(マク)	膜	枕(まくら)	鮪(まぐろ)	柾(まさ)	ま
80	鱒(ます)	桝	亦(また)	俣	又	抹(マツ)	末	沫	迄(まで)	侭(まま)	繭(まゆ)	麿(まろ)	万(マン)	慢	満						

44	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		漫	蔓	味(ミ)	未	魅	巳(み)	箕	岬(みさき)	密(ミツ)	蜜	湊(みなと)	蓑(みの)	稔(みのり)	脈(ミャク)	妙(ミョウ)	粍(みり)	民(ミン)	眠	務(ム)	みむ
20	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋(むく)	婿(むこ)	娘(むすめ)	冥(メイ)	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪(めい)	牝(めす)	滅(メツ)	め
40	免(メン)	棉	綿	緬	面	麺	摸(モ)	模	茂	妄(モウ)	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲(もうけ)	木(モク)	黙	も
60	目	杢(もく)	勿(モチ)	餅(もち)	尤(もっとも)	戻(もどり)	籾(もみ)	貰(もら・う)	問(モン)	悶	紋	門	匁(もんめ)	也(ヤ)	冶	夜	爺	耶	野	弥(や)	や
80	矢	厄(ヤク)	役	約	薬	訳	躍	靖(やす)	柳(やなぎ)	薮(やぶ)	鑓(やり)	愉(ユ)	愈	油	癒						ゆ

45	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		諭	輸	唯(ユイ)	佑(ユウ)	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	
20	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕(ゆう)	予(ヨ)	余	与	誉	輿	預	傭(ヨウ)	幼	妖	容	庸	よ
40	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	
60	養	慾(ヨク)	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀(よど)	羅(ラ)	螺	裸	来(ライ)	莱	頼	雷	洛(ラク)	絡	落	酪	ら
80	乱(ラン)	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利(リ)	吏	履	李	梨	理	璃						り

46 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		痢	裏	裡	里	離	陸(リク)	律(リツ)	率	立	葎	掠(リャク)	略	劉(リュウ)	流	溜	琉	留	硫	粒	
20〜	隆	竜	龍	侶(リョ)	慮	旅	虜	了(リョウ)	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	
40〜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力(リョク)	緑	倫(リン)	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	る れ
60〜	瑠(ル)	塁(ルイ)	涙	累	類	令(レイ)	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	
80〜	齢	暦(レキ)	歴	列(レツ)	劣	烈	裂	廉	恋(レン)	憐	漣	煉	簾	練	聯						

47 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		蓮	連	錬	呂(ロ)	魯	櫓	炉	賂	路	露	労(ロウ)	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	ろ
20〜	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六(ロク)	麓	禄	肋	録	論(ロン)	倭(ワ)	和	話	歪(ワイ)	賄	脇(わき)	惑(ワク)	わ
40〜	枠(わく)	鷲(わし)	亙(わたり)	亘	鰐(わに)	詫(わび)	藁(わら)	蕨(わらび)	椀(ワン)	湾	碗	腕									
60〜																					
80〜																					

第2水準

48 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
20〜	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
40〜	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
60〜	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
80〜	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲					

49 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
20〜	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
40〜	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
60〜	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
80〜	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨					

50 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
20〜	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
40〜	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
60〜	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
80〜	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨					

51 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
20〜	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
40〜	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
60〜	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
80〜	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉					

52 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
20〜	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
40〜	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
60〜	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
80〜	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩					

53 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
20〜	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
40〜	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
60〜	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
80〜	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓					

54 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
20〜	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
40〜	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
60〜	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
80〜	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏					

55 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
20〜	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
40〜	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
60〜	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
80〜	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚					

56 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
20〜	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
40〜	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
60〜	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
80〜	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛					

57 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
20〜	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
40〜	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
60〜	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
80〜	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼					

58 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
20〜	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
40〜	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
60〜	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
80〜	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼					

59 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
20〜	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
40〜	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
60〜	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
80〜	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍					

60 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
20〜	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
40〜	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
60〜	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
80〜	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣					

61 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
20〜	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
40〜	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
60〜	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
80〜	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾					

62 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
20〜	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
40〜	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
60〜	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
80〜	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					

63	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
20～	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
40～	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
60～	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
80～	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼					

64	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
20～	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
40～	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
60～	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
80～	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

65	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
20～	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
40～	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
60～	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
80～	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰					

66	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
20～	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
40～	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
60～	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
80～	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬					

67	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
20～	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
40～	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
60～	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
80～	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐					

68	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
20～	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
40～	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
60～	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
80～	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆					

69	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
20〜	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
40〜	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
60〜	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
80〜	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺					

70	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
20〜	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
40〜	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
60〜	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
80〜	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋					

71	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
20〜	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
40〜	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
60〜	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
80〜	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙					

72	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
20〜	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
40〜	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
60〜	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
80〜	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

73	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
20〜	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
40〜	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
60〜	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
80〜	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

74	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
20〜	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
40〜	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
60〜	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
80〜	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞					

75	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
20〜	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
40〜	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
60〜	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
80〜	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫					

76	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
20〜	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
40〜	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
60〜	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
80〜	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊					

77	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
20〜	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
40〜	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
60〜	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
80〜	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸					

78	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
20〜	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
40〜	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
60〜	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
80〜	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮					

79	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
20〜	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
40〜	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊
60〜	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
80〜	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞					

80	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
20〜	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
40〜	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
60〜	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
80〜	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰					

81	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
20～	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
40～	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
60～	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
80～	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷					

82	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
20～	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
40～	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
60～	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
80～	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

83	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
20～	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
40～	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
60～	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
80～	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠					

84	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		堯	槇	遙	瑤	凜	熙													
20～																				
40～																				
60～																				
80～																				

熟語一覧表

使用することの多い地名（都道府県名）、職場部署名などをあらかじめ登録してあります。
文字入力は、ファンクション登録ボタン（●あ F1 A ～ ●こ F10 J）またはワンタッチ（01 ～ 46）を押して行います。

F1

1 東北　2 関東
3 東海　4 北陸　（熟語）

F2

1 中部　2 関西
3 近畿　4 中国　（熟語）

F3

1 山陽　2 山陰
3 四国　4 九州　（熟語）

F4

1 北海道　2 秋田
3 青森　4 岩手　（熟語）

F5

1 宮城　2 山形
3 福島　4 茨城　（熟語）

F6

1 群馬　2 栃木
3 山梨　4　（熟語）

F7

1 東京　2 神奈川
3 千葉　4 埼玉　（熟語）

F8

1 新潟　2 富山
3 石川　4 福井　（熟語）

F9

1 長野　2 岐阜
3 愛知　4 静岡　（熟語）

F10

1 京都　2 奈良
3 滋賀　4 三重　（熟語）

01

1 大阪　2 兵庫
3 和歌山　4 鳥取　（熟語）

02

1 岡山　2 広島
3 山口　4 島根　（熟語）

03

1 香川　2 徳島
3 高知　4 愛媛　（熟語）

04

1 福岡　2 大分
3 佐賀　4 長崎　（熟語）

05

1 熊本　2 宮崎
3 鹿児島　4 沖縄　（熟語）

06

1 旭川　2 釧路
3 帯広　4 函館　（熟語）

07

1 札幌　2 盛岡
3 仙台　4 郡山　（熟語）

08

1 前橋　2 高崎
3 水戸　4 宇都宮（熟語）

09

1 横浜　2 川崎
3 小田原　4 成田　（熟語）

10

1 甲府　2 松本
3　4　（熟語）

11

1 名古屋　2 豊橋
3 金沢　4　（熟語）

12

1 津　2 大津
3　4　（熟語）

13

1 神戸　2 姫路
3 徳山　4　（熟語）

14

1 松江　2 高松
3 松山　4　（熟語）

15

1 博多　2 小倉
3 下関　4 那覇（熟語）

16

1 都　2 道
3 府　4 県　（熟語）

17

1 区　2 市
3 郡　4 町　（熟語）

18

1 村　2 地方
3　4　（熟語）

19

1 日本　2 東洋
3 国　4　（熟語）

20

1　2
3　4　（熟語）

21

1 株式　2 有限
3 相互　4 会社　（熟語）

22

1 銀行　2 保険
3 役所　4　（熟語）

23

1 物産　2 商事
3 商会　4 貿易　（熟語）

24

1 産業　2 工業
3 製作所　4　（熟語）

25

1 化学　2 化成
3　4　（熟語）

26

1 電気　2 電機
3 通信　4 機械　（熟語）

27

1 運輸　2 運送
3 輸送　4 配送　（熟語）

28

1 物流　2 倉庫
3 工場　4　（熟語）

29

1 会館　2 商店
3　4　（熟語）

30

1　2
3　4　（熟語）

31

1 本社　2 支社
3 本店　4 支店　（熟語）

32

1 営業所　2 事務所
3 出張所　4 駐在　（熟語）

33

1 部長　2 室長
3 課長　4 係長　（熟語）

34

1 東　2 西
3 南　4 北　（熟語）

35

1 事業部　2 本部
3 中央　4　（熟語）

36

1 部　2 室
3 課　4 係　（熟語）

37

1 人事　2 総務
3 管理　4　（熟語）

38

1 経理　2 会計
3 財務　4 業務　（熟語）

39

1 営業　2 販売
3 計画　4 通信　（熟語）

40

1 常務　2 取締役
3 理事　4 担当　（熟語）

41

1 企画　2 渉外
3 広報　4 宣伝　（熟語）

42

1 購買　2 資材
3 製造　4　（熟語）

43

1 研究　2 開発
3 技術　4 商品　（熟語）

44

1 相談役　2 会長
3 社長　4 専務　（熟語）

46

1 様　2 殿
3 御中　4 気付　（熟語）

索引

◆す

◆せ

◆そ

◆た

◆ち

◆つ

◆て

◆と

◆な

◆に

◆は

◆ひ

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ） 受付：9時〜17時30分 （土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・ パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 UF-A800 UF-A700
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

X0811-1023(01)
PNQX5062ZB
February 2013
Published in Japan